

# HUAWEI Mate10 Pro

## 取扱説明書



# 目次

## 一部機能の紹介

ヒント	1
スマートライフ	2
カメラのヒント	3
その他の機能	5

## ご使用になる前に

はじめに	8
新しい端末の設定	8
SmartCharge: より安全な急速充電	9
ヘルプの参照	10

## ジェスチャーと操作

指関節を使用した端末の操作	14
スクリーンショットとスクリーン録画	15

## ホーム画面

ナビゲーションバー	21
素早い切り替え	22
通知とステータスバー	23
画面ロックとロック解除	26
シンプルモード(簡易モード)	28
ホーム画面の管理	29

## 連絡先

名刺の管理	33
連絡先の検索	35
連絡先の管理	36
サードパーティ製アプリの連絡先を統合	37

## 発信

基本的な通話機能	39
迷惑電話のブロック: 煩わしい電話を安全にブロック	41

## メール

メールの種類について	42
フォルダー一覧モード/スレッド一覧モードについて	42
S!メール/SMS を送信する	46
S!メールでデコレメールを送信する	52
S!メール/SMS を受信/返信する	54
S!メール/SMS を管理する	61
S!メール/SMS 作成時の操作	90
S!メール/SMS 設定	100

## カメラ

基本的なカメラ機能	108
ワイドアパーチャ	111
パノラマ	112
3D パノラマ	113
プロモード	116
ビューティー加工	120
モノクロ	121
ライトペインティングモード	122
コマ抜きを使用して長時間の撮影を圧縮する	126
カスタマイズされた撮影モードで新たな可能性を発見	126

## ギャラリー

ハイライト	128
写真の管理	130

## 端末管理

ワンタップ最適化の使用	134
モバイルデータ通信量の管理	134
消費電力の最適化	135
ウイルススキャンによる端末の保護	136

## カレンダー

カレンダー	137
-------	-----

## 時計

時計の使用	139
-------	-----

## メモ帳

メモ帳	141
-----	-----

## ツール

スマートリモコン	142
音声レコーダーを使用した音声メモの作成	143

## デバイス接続

Bluetooth	145
NFC	147
投影	149
マルチスクリーン表示	153
USB デバイスの接続	155
Huawei Share でのファイル転送	157

## セキュリティとプライバシー

指紋	158
位置情報の保護	160

	目次
アプリロックを使用して重要なアプリをロック	161
その他のセキュリティ設定	161
<b>バックアップと復元</b>	
バックアップと復元	163
<b>Wi-Fi とネットワーク</b>	
Wi-Fi	165
モバイルネットワーク	167
他の端末とのモバイルネットワークの共有	168
<b>アプリと通知</b>	
ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン	170
アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する	170
<b>サウンドと表示</b>	
通知の鳴動制限モードの設定	171
サウンドの設定	171
目の疲れを軽減する視力保護モードの有効化	172
画面設定の変更	173
<b>ストレージ</b>	
ストレージクリーナー	175
<b>スマートアシスタント</b>	
ユーザー補助	176
<b>システム</b>	
ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー	177
言語と入力方法	177
一般設定	177

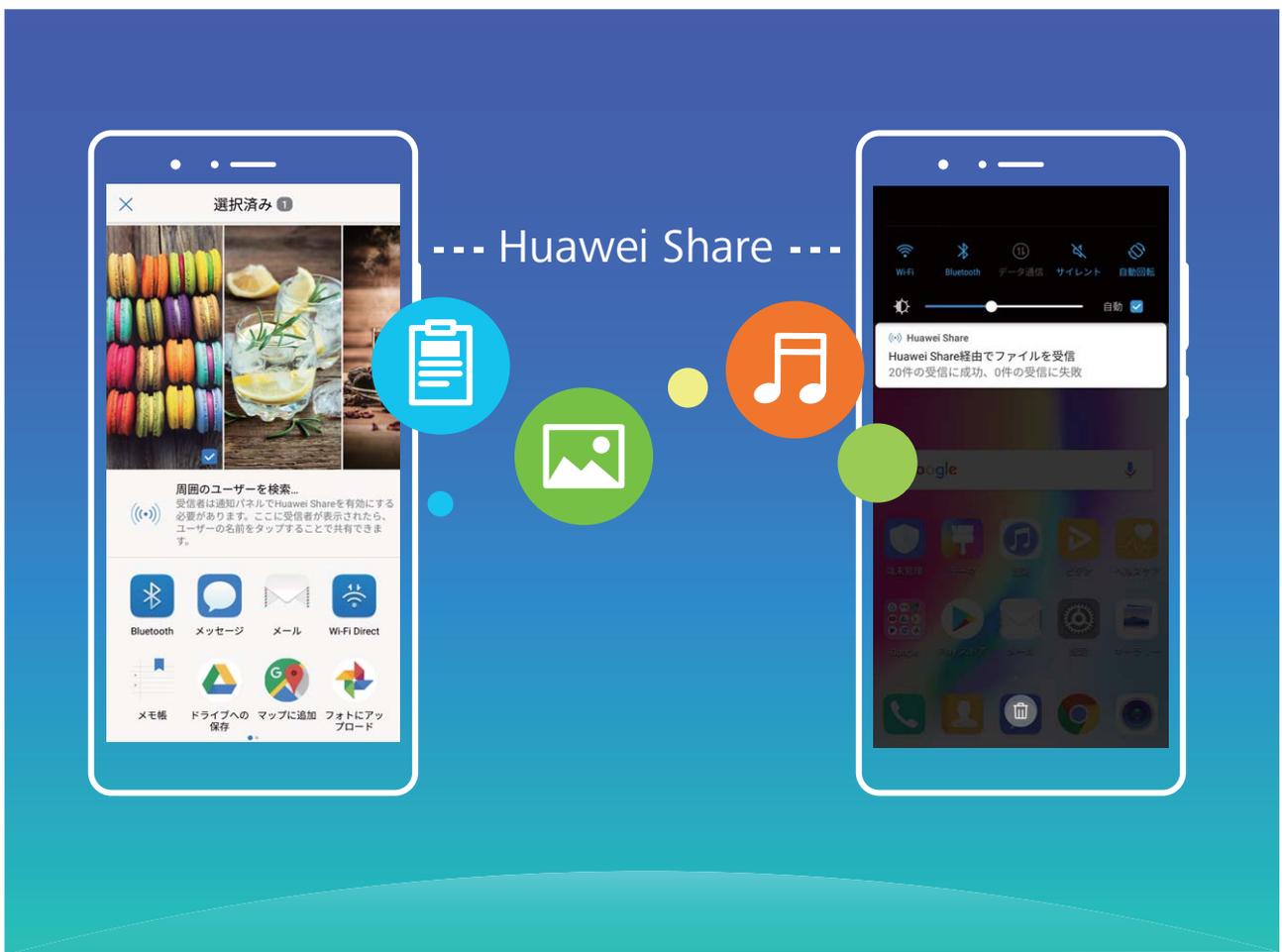
# 一部機能の紹介

## ヒント

### Huawei Share でのファイル転送

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真、ビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- ① Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが自動的に有効になります。



**Huawei Shareを使用したファイルの送信:** 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択して、共有をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

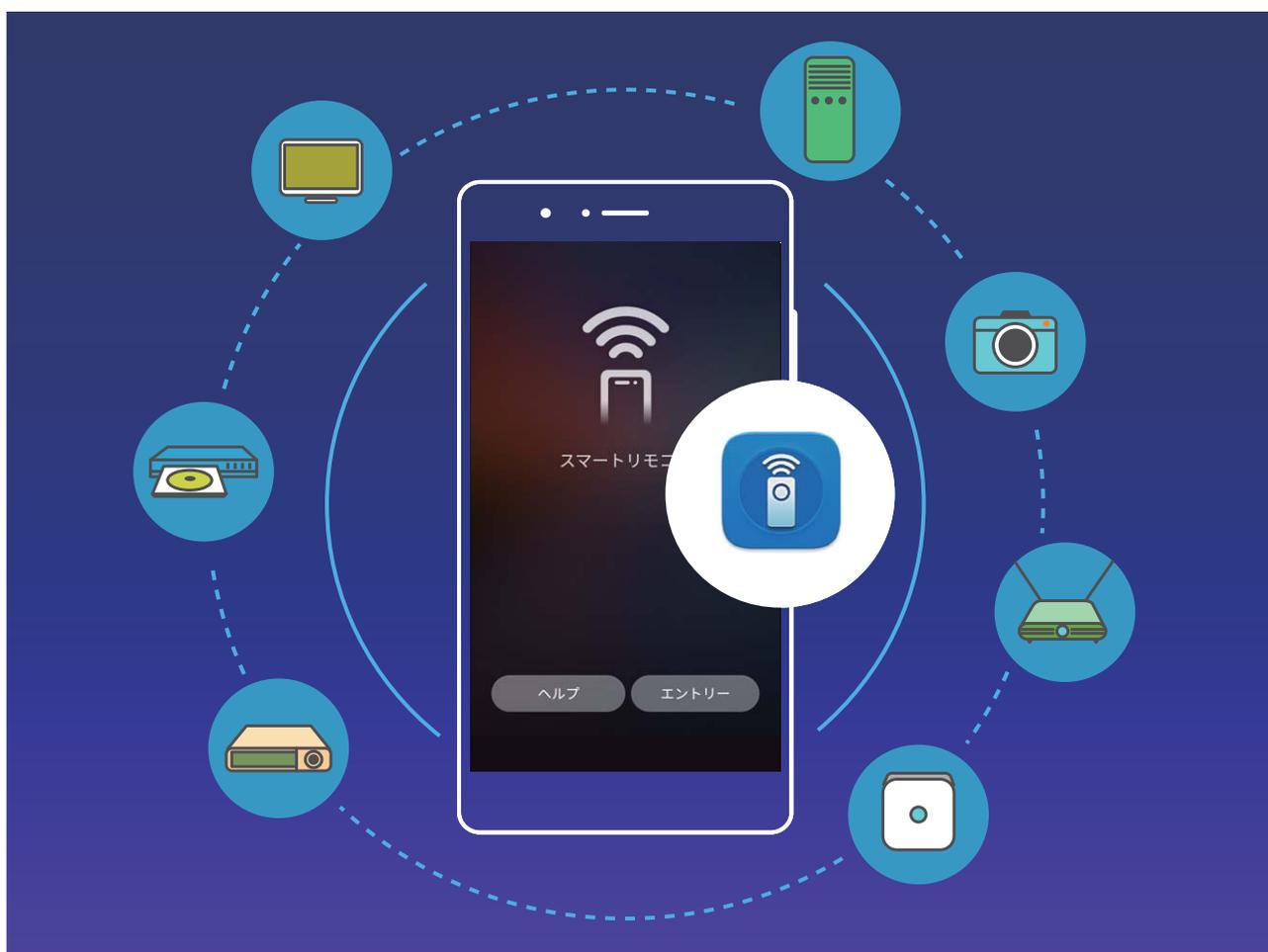
**Huawei Shareを使用したファイルの受信:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、(📶) をタップして、Huawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、承諾をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

## スマートライフ

### スマートリモコン: 端末から家電機器を操作

スマートリモコンを使うと、端末から家電機器を操作できます。1台の端末でさまざまな家電機器(TV、冷暖房、セットトップボックス、DVDプレイヤー、カメラ、プロジェクター、ネットワークSTBなど)を簡単に操作できます。

- スマートリモコンは、赤外線リモコンが付属している家電機器に対して使用できます。Bluetoothなど、赤外線以外のリモコンを使用する機器では機能しません。
- ビデオ通話中、バックグラウンドで着信中、サードパーティアプリからの音声メッセージ送信中、またはイヤホンの使用中には、リモコンは機能しません。
- 赤外線コードに関する業界統一規格はありません。このため、スマートリモコンでは一部の家電製品を操作できない場合があります。



- 端末を汎用リモコンとして使用する: スマートリモコンに家電機器を追加すると、リモコンがどこにあるかを気にする必要がなくなります。好みに合わせてリモコンボタンをカスタマイズし、リモコンを使いやすくすることができます。
- 端末をカメラのリモコンとして使用する: 端末をカメラのリモコンとして使用することで、グループ写真をうまく撮影できます。スマートリモコンを使用すると、自然な表情を捉えた最高の1枚を撮影できます。

## VoLTE:通話とデータ通信を同時に実行

VoLTE(Voice over LTE)では、通話とデータ通信サービスの両方を同じ4Gネットワーク上で実現できるため、通話中でもインターネットを使用できます。また、VoLTEにより通話確立までの時間が短縮し、より高品質の音声およびビデオ通話を利用できます。

## ツインアプリ:1度に2つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思っただけではありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

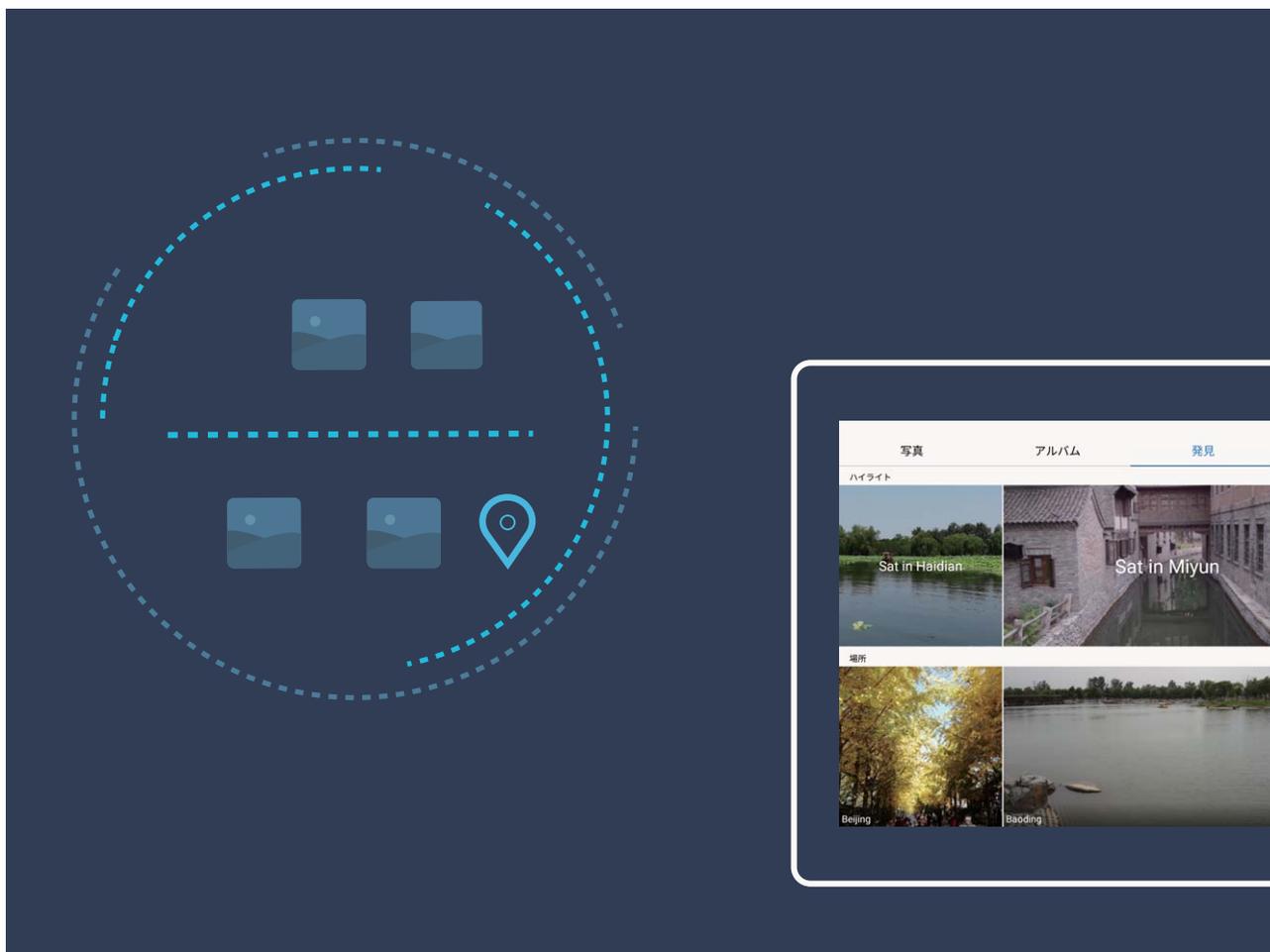
ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることで素早くツインアプリ機能を無効にできます。

## カメラのヒント

### ハイライト:写真からパーソナライズしたビデオを作成

ハイライトでは、位置情報に基づいて写真から短いビデオクリップを作成します。アニメーション効果を追加したり、様々なバックグラウンドミュージックを選択することができます。

-  ● ハイライトでは、写真の地理情報に基づいて自動的にビデオを作成します。この機能を使用するには、**カメラ** を開き、**設定** に移動して **GPSタグ** が有効になっていることを確認します。
- **端末** がインターネットに接続されていることを確認します。
- ハイライトアルバムは、端末の充電中、画面がオフになっていて、かつ、バッテリーが10%以上充電されているときに自動的に作成されます。アルバム作成には時間がかかる場合があります。ギャラリーに十分な数の写真またはビデオがない場合、ハイライトアルバムは作成されません。



## ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

ポートレートモードでは、さまざまなビューティー設定を行い、カスタムビューティー設定を保存する情報データベースを作成できます。

- i 夜間や暗所でセルフィーを撮影する場合、端末は周囲の光が暗いことを検出し、自動的に夜間撮影モードが有効になるので、セルフィーの画質が向上します。このモードのスイッチはありません。周囲の光が暗いことを検出すると、このモードが自動的に有効になります。このモードが有効になると、端末に通知が表示されます。
- **ポートレートモード**: ポートレートモードを有効にすると、フレーム内のすべての人物にビューティー効果が自動的に適用されます。
- **パーフェクトセルフィー**: パーフェクトセルフィーを有効にすると、カスタムビューティープランが作成されます。ビューティーレベルが高いほど、効果が大きくなります。

## 3D パノラマ: 動きのある 3D 写真を撮影する

3Dパノラマを使用すると、臨場感のあるパノラマ写真になります。端末を傾げるか、写真をドラッグすると、3D効果が適用されます。

3Dパノラマは、端末にプリインストールされているカメラモードです。3Dパノラマを使用することで、被写体、人物、風景を動きのあるパノラマ写真に収めることができます。



### モノクロ:光と影の美しさを追求

世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムーディで独特な雰囲気を加えることができます。

 **カメラ** を開いて画面を右にスワイプします。**モノクロ** をタップしてから  をタップしてモノクロで写真を撮影します。

## その他の機能

### Wi-Fi+:スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する**: 現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータネットワークから自動的に選択して接続します。
- **Wi-Fiの自動オン/オフ**: 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークによっては、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン/オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価**: 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

## メモリのクリーンアップによるパフォーマンス向上

メモリのクリーンアップを使用すると、キャッシュ、大容量ファイルや不要なファイル、未使用のアプリファイルをすばやく削除して、システムパフォーマンスを向上させ、端末を最高の状態に保つことができます。

システムのパフォーマンスが低下したり、ストレージの空き容量が少なくなると、端末管理アプリからクリーンアップの通知が表示されます。画面の指示に従って、端末のメモリをクリーンアップし、ストレージの空き容量を確保することができます。

**クリーンアップ**: 端末の使用に影響を与えずに、不要なファイルとシステムキャッシュをスキャンしてメモリと内部ストレージの空き容量をすばやく確保できます。

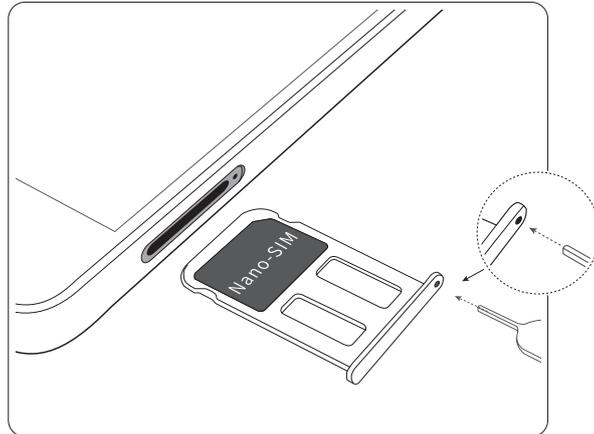
**ディープクリーンアップ**: 大容量のファイル、ビデオ、画像、アプリの残存ファイル、音楽ファイル、不要なインストールパッケージ、未使用ファイル、サイズが大きいファイルなどをスキャンし、そのスキャン結果

に基づいてクリーンアップが推奨されます。これにより、重要なファイルを誤って削除することなく、ストレージの空き容量を確保できます。

# 新しい端末

## はじめに

以下の図の説明に従って本機をセットアップしてください。



- **i** 本機の電源がオンのときにSIMカードを挿入したり、取り外したりしないでください。
  - カードが正しく挿入されていることおよびカードトレイが本機に真っ直ぐに挿入されていることを確認してください。
- **⊘** カード取り出しピンを使用するときは、怪我をしたり、本機を傷付けないように注意してください。お子様が誤って飲み込んだり、怪我をしたりしないよう、カード取り出しピンはお子様の手が届かない場所に置いてください。
- **⚠** 切断または改造したSIMカードは、認識されず、カードトレイ(スロット)に損傷を与える可能性があるため、使用しないでください。

## 新しい端末の設定

### インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

#### Wi-Fi ネットワークへの接続

- 1 ステータスバーを下にスワイプして、通知パネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

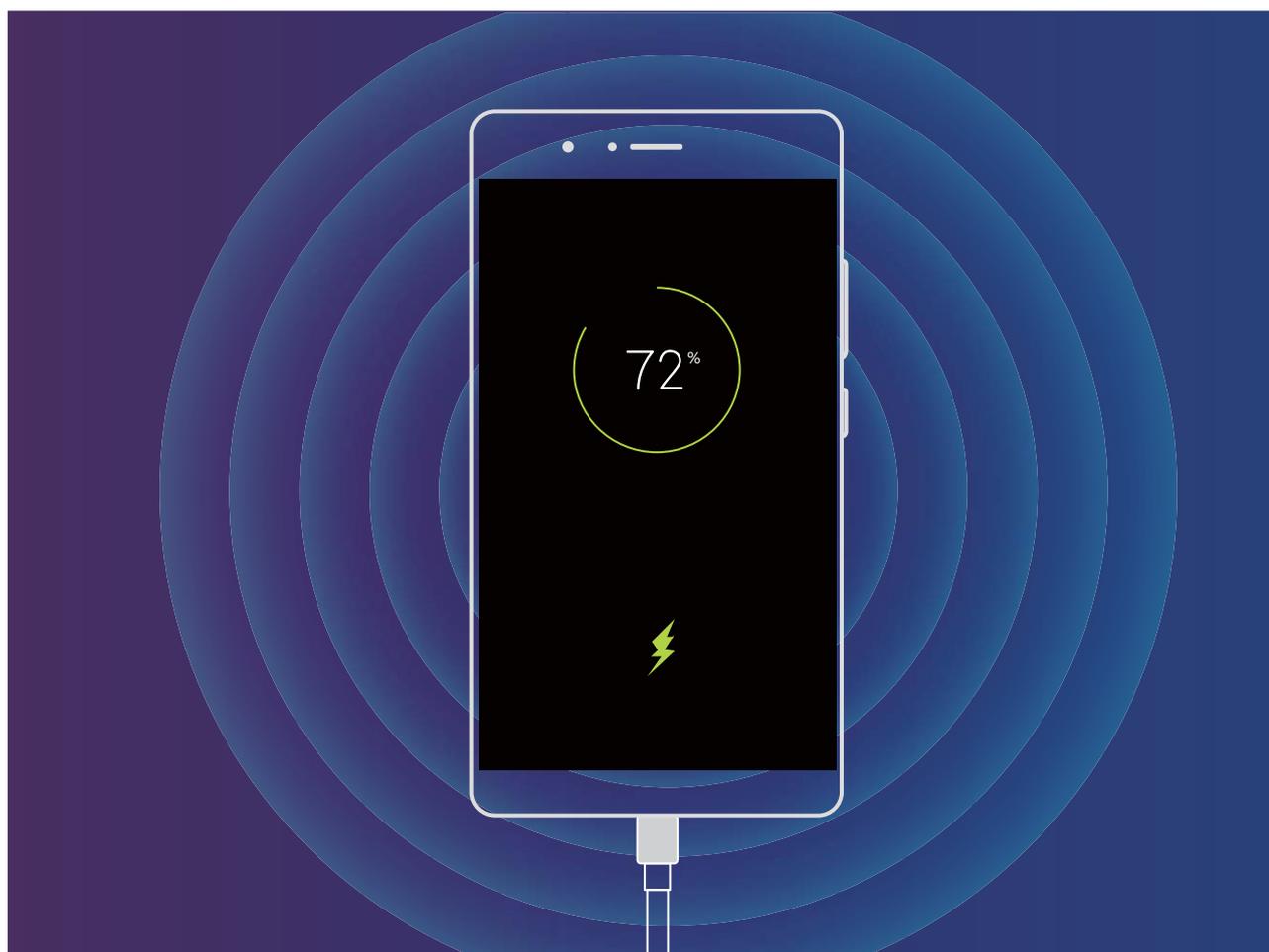
## モバイルデータ通信経由での接続

- ① モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
  - 2 ① をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
    - ② インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。

## SmartCharge: より安全な急速充電

SmartChargeは充電電圧と充電電流をインテリジェントに調整することで、よりスマートで安全な急速充電を実現します。

- ⚠ 端末を充電する際は、必ず製品付属の充電器とUSBケーブルを使用してください。サードパーティ製の充電器やUSBケーブルを使用すると、再起動が繰り返し発生したり、充電時間が長くなったり、端末の温度が上昇したり、場合によっては、端末のバッテリーが損傷、または爆発することもあります。



## ヘルプの参照

### セキュリティ関連機能の一覧

製品を安心してお使いいただくために、端末にはさまざまなセキュリティ関連機能が備わっています。

ロック画面モードとパスワード	プライバシーを守るために、画面のロックパスワードを設定して、画面をロックします。
指紋によるロック解除	パスワードの代わりに指紋を使用することで、端末のセキュリティがさらに強化されます。また、指紋を使用すると画面のロック解除、Safeボックスへのアクセス、ロックしたアプリへのアクセス、セキュアな支払いなどのセキュリティ操作が簡単になります。
SIMカードのロック	SIMカードのロック機能では、PINコードを使用してSIMカードをロックします。端末の電源を入れたときやSIMカードを別の端末に挿入したときに、毎回PINコードを入力してロックを解除する必要があります。これにより、たとえ端末が紛失しても、銀行口座が不正使用されたりIDが盗まれたりするのを防止することができます。
悪意のあるウェブサイトの識別	悪意のあるウェブサイトの識別機能をオンにすると、SMSメッセージのリンク先が有害サイトかどうかを自動識別し、安全に関する警告を出して、被害を未然に防ぐことができます。
迷惑フィルタ	端末管理にある迷惑フィルタ機能を使用し、ブラックリスト、スマートブロックなどのセキュリティ機能を設定することで、迷惑電話によるセールスや詐欺などの標的になるのを防ぎ、より安心して端末をお使いいただけます。
アプリロック	アプリロック機能を有効にすると、特定のアプリを暗号化でき、そのアプリにアクセスするにはパスワードが必要になります。これにより、他のユーザーが無断で端末の重要な機能を使用するのを防止できます。
ウイルススキャン	端末管理にはウイルススキャン機能もあります。さまざまな新旧ウイルスやトロイの木馬をスキャンして削除することで、端末を安全に保ちます。

### 防水防塵

本端末は管理された試験において、防水防塵の認定を受けています。防水防塵性能の等級は国際規格IEC 60529に基づくIP67、IPX7、IPX5です。防水防塵性能は、永続的に維持されるものではなく、経年劣化により、耐性が低下する可能性があります。本端末は濡れた状態で充電しないでください。

水による損傷を防ぐために、以下のことは行わないでください。

- シャワーを浴びる際や水泳、セーリング、サーフィンを行う際に本端末を携帯するなど、本端末に水圧をかけたり、本端末を水の流れが速い場所で使用すること。
- サウナ、温泉、浴室など、高温・多湿の環境で本端末を使用すること。
- 塩水、アルコールや糖分を含む飲料、化粧用ローション、洗浄剤など、純水以外の液体を本端末にかけること。

- 意図的に本端末を水没させたり、損傷を引き起こすおそれのある場所に置くこと。
- 本端末が濡れた状態で付属品に接続したり、充電すること。
- 本端末に衝撃を与えたり、正規の修理担当者以外の人物が分解すること。
- カードトレイが正しく挿入されていない状態で本端末を使用すること。

**本端末が濡れてしまった場合、以下の点に従ってください。**

- 本端末を乾かす際は、電子レンジやドライヤーなどの熱風を使用しないでください。また、綿棒やティッシュペーパーなどを充電ポートやスピーカー穴に突っ込んだりしないでください。
- 本端末に付いた水分を完全に拭き取り、湿気のない風通しのよい場所に置いてください。本端末を扇風機の前に置き、充電ポートやスピーカー穴に対して冷風をあててください。これにより、本端末の乾きがはやくなります。
- 本端末を水の中に落としてしまった場合や、マイク、受話口、スピーカーが濡れた場合には、通話時の音声クリアに聞こえなくなるおそれがあります。この問題を解決するには、上記を参照して措置を講じてください。
- 本端末が濡れた場合、本端末を付属品に接続しないでください。清潔な柔らかい布（カメラレンズ用の布など）を使用して、本端末に付いた水分を拭き取ってください。すぐに充電したりせず、本端末が十分に乾いたことを確認してから充電または付属品への接続を行ってください。対応方法が不明な場合、本端末をお近くのソフトバンクショップに持って行き、サポートを受けてください。
- 本端末の表面には、撥油（耐油）層が形成されています。ただし、撥油層は経年劣化します。掃除や、腐食性の物質により、撥油層の撥油力が低下し、本端末が損傷する場合があります。
- また、撥油層が形成されている場合でも、特定の状況では、本端末が損傷する場合があります。

## 法律上の注意事項

Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2018. All rights reserved.

本書は、Huawei Technologies Co., Ltd. およびその関連会社（以下「Huawei」）の書面による事前の同意なくいかなる形式や方法でも、複製または転載することはできません。

本書に記載されている製品には、Huawei およびライセンス許諾者の著作権のあるソフトウェアが含まれている場合があります。いかなる方法によっても上記ソフトウェアを複製、配布、変更、逆コンパイル、逆アセンブル、暗号解読、抽出、リバースエンジニアリング、貸借、譲渡またはサブライセンス許諾を行ってはなりません。ただし、そのような制限が適用法により禁止されている場合、またはそのような行為が各著作権保持者により承認されている場合を除きます。

## 商標と許可



HUAWEI、HUAWEI



と は Huawei Technologies Co., Ltd の商標または登録商標です。

Android™ は Google LLC の商標です。

Bluetooth® およびそのロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。Huawei Technologies Co., Ltd によるこの商標の使用はライセンス供与されています。

Qualcomm® aptX™  および Qualcomm® aptX™ HD  はQualcomm Inc. (NASDAQ: QCOM)の登録商標です。

本書内に記載されるその他の商標、製品、サービスおよび会社名は、それぞれの権利者に帰属します。

## 注意

本書に記載されている製品とその付属機器の一部の機能は、インストールされているソフトウェア、ローカルネットワークの機能と設定などに依存するため、現地のネットワーク事業者またはネットワークサービスプロバイダによって有効にできない場合や制限されていることがあります。

そのため、本書に記載される説明は、購入された製品またはその付属品と完全に一致しない場合があります。

Huawei は、事前通知または法的責任を負うことなく、本書に記載されている情報や仕様を変更または修正する権限を有しています。

## 他社製ソフトウェアに関する記述

Huaweiは、本製品に付属されている他社製ソフトウェアおよびアプリケーションの知的財産権を所有していません。そのため、Huaweiは他社製のソフトウェアおよびアプリケーションに対して、いかなる保証もいたしません。また、Huawei は、他社製のソフトウェアおよびアプリケーションを使用するお客様にサポートを提供すること、及び他社製の当該ソフトウェアおよびアプリケーションの機能や性能に関して一切の責任を負いません。

他社製のソフトウェアおよびアプリケーションサービスは、事前の予告なく中断または終了されることがあります。また Huawei はいかなるコンテンツやサービスの可用性を保証いたしません。他社のサービスプロバイダは、Huawei の管理下でないネットワークや送信ツールを使ってサービスやコンテンツを提供します。Huawei は他社のサービスプロバイダが提供するサービスや、他社のコンテンツやサービスの中断や終了に関する補償を行ったり、責任を負わないことを、適用法が許容する最大範囲まで行使します。

Huawei は、本製品にインストールされているソフトウェアの合法性、品質などに関して、あるいは他社がアップロードまたはダウンロードしたテキスト、画像、ビデオ、ソフトウェアなどいかなる形式の制作物に対しても責任を負いません。お客様は、ソフトウェアのインストールや他社の制作物のアップロードまたはダウンロードに起因する、任意またはすべての結果(ソフトウェアと本製品の非互換性など)に対してリスクを負うものとします。

本製品はオープンソースのAndroid™プラットフォームを使用しています。Huawei は、このプラットフォームに対して変更を加えています。そのため、本製品は標準の Android プラットフォームがサポートしている機能をすべてサポートしているとは限りません。また、他社製のソフトウェアと互換性がない場合があります。Huawei はこうした互換性に対していかなる保証や表明も行わず、明示的に一切の責任を負いません。

## 免責事項

本書の内容は現状のままで提供されます。適用法により必要とされる場合を除き、本書の正確性、信頼性、内容に関して、販売性、特定目的との適合性などを含む(ただしこれらに限定されない)明示または非明示の保証を行いません。

Huaweiは適用法が許容する最大範囲まで、特殊な損傷、故意による損傷、間接的または誘発的損傷、あるいは利益、業務、収益、データ、信用、または予定していた利益の損失に対する責任を負いません。

本書に記載されている製品の使用に起因して生じるHuaweiの最大責任範囲(この制限は、適用法が当該制限を禁止する範囲まで、個人的な負傷に対する責任には適用されない)は、お客様が本製品に支払った購入代金を上限とします。

## 輸出入規制

お客様は輸出入に関して、該当するすべての法律および規制に従い、ソフトウェアや技術情報など、本書に記載されている製品の輸出、再輸出、または輸入に必要な全ての公的許可やライセンスを取得する責任を負うものとします。

## ヘルプの取得

付属のクイックスタートガイドをお読みください。

法的情報を確認するには、**設定 > システム > 端末情報 > 法律情報** をタップしてください。

詳細については、<http://consumer.huawei.com/jp/>を参照してください。

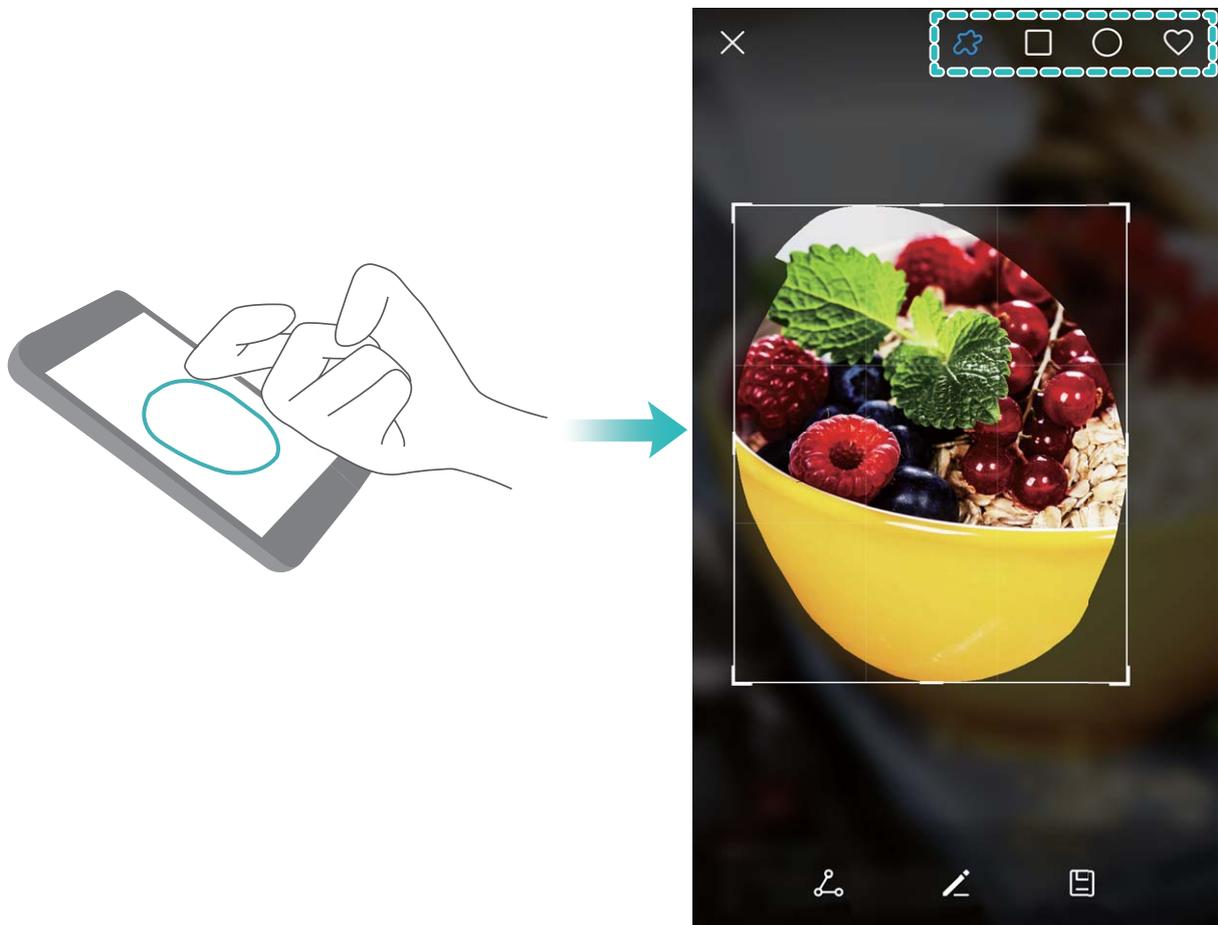
# ジェスチャーと操作

## 指関節を使用した端末の操作

指関節を使用すると、素早くスクリーンショットを撮影したり、アプリを開いたり、画面分割モードに移行したりできます。

**通常のスクリーンショットの撮影:** 指関節で画面を2回ノックすると、通常のスクリーンショットを撮影できます。

**部分スクリーンショットの撮影:** 指関節で画面をノックして長押しし、画面に青い点が表示されるまで待つてから、指関節をドラッグしてスクリーンショットの外枠を描きます。指関節を離すと、選択した領域のスクリーンショットを撮影できます。画面の右上にあるアイコンをタップすると、スクリーンショットの形を変更できます。



**スクロールスクリーンショットの撮影:** 指関節で画面をノックして長押しし、画面に青い点が表示されるまで待つてから、指関節で「S」という文字を描きます。画面が自動的にページの下までスクロールし、ページ全体のスクリーンショットが取得されます。

**文字の描画によるアプリの起動:** 指関節で画面をノックして文字を描くと、紐付けられているアプリを開きます。🔊 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **モーションコントロール** > **描画** に移動し、**描画** を有効にします。

**画面分割モードへの移行:** 指関節で画面をノックしてから画面中央を横にスライドさせると、画面分割モードが有効になります。

## スクリーンショットとスクリーン録画

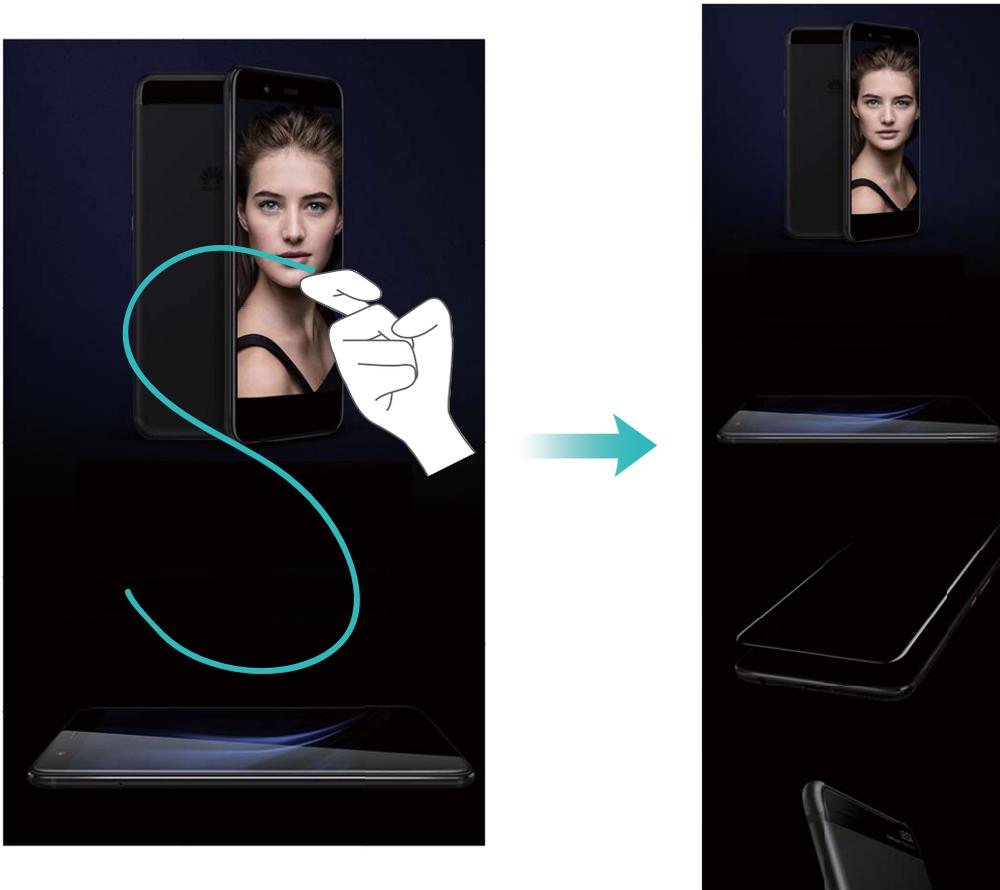
### スクロールスクリーンショットによるページ全体のキャプチャ取得

長い記事やチャット履歴をキャプチャするのに何度もスクリーンショットを撮影するのは面倒なものです。端末のスクロールスクリーンショット機能を使用すると、ページの下までスクロールしたスクリーンショットを撮影できるため、1回のスクリーンショットで複数ページのすべての情報をキャプチャできます。

**ショートカットを使用したスクロールスクリーンショットの撮影:** ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いてから  をタップし、スクロールスクリーンショットを撮影します。スクリーンショットの撮影から3秒以内に  をタップすると、画面が自動的に下までスクロールし、スクリーンショットの撮影を続けます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。



**指関節を使用したスクロールスクリーンショットの撮影:** 指関節で画面をタップして、画面に指関節をつけたまま「S」という文字を描きます。画面が自動的に下にスクロールして、スクリーンショットが撮影されます。スクロール中にスクロール領域をタップすると、スクリーンショットの撮影が終了します。



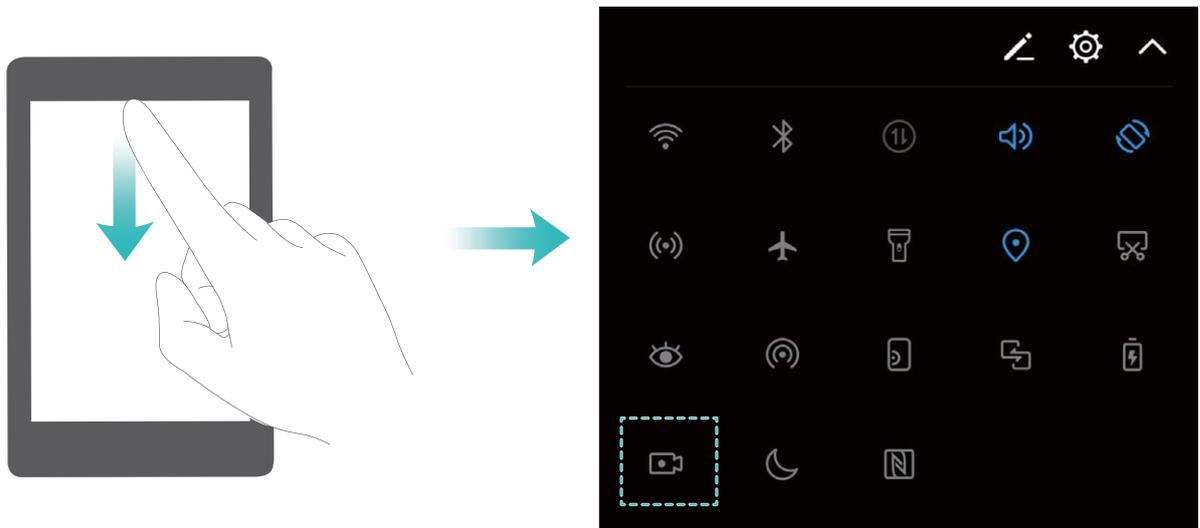
スクリーンショットの撮影後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。

### 画面上のシーンの録画

端末でチュートリアル動画を作成したり、白熱のゲームシーンを録画したりしたいときには、画面録画が便利です。

 発着信により、画面録画は終了します。

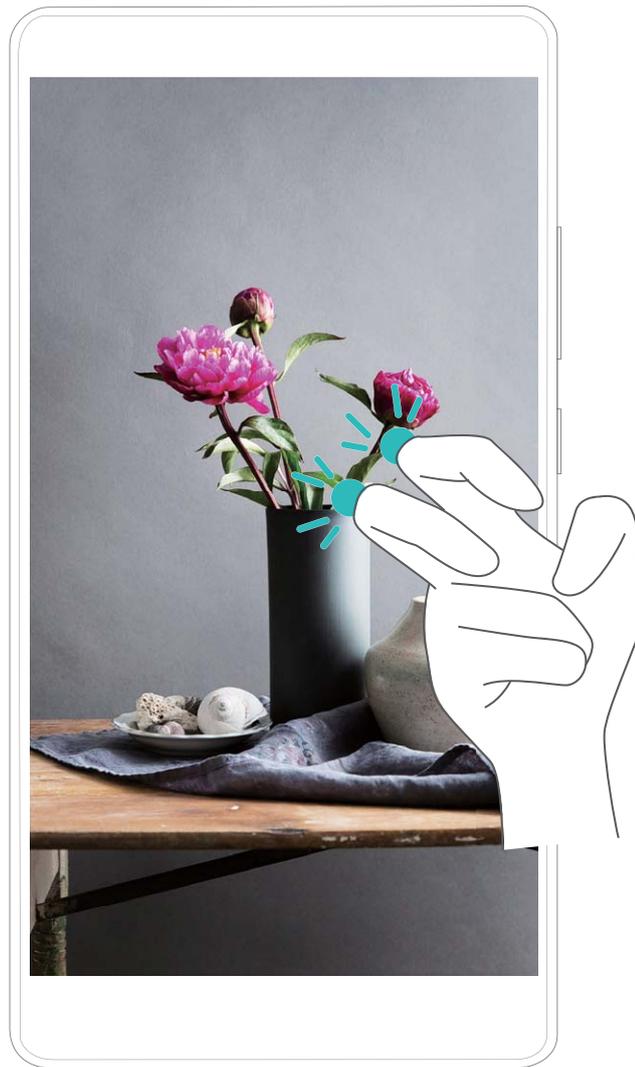
**ショートカットによる録画の開始:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、 をタップして画面の録画を開始します。録画を終了するには、画面の左上の  をタップします。



**コンボキーによる録画の開始:**電源ボタンと音量アップボタンを同時に押すと、録画が始まります。録画を終了するには、再度電源ボタンと音量アップボタンを同時に押します。



**指関節による録画の開始:**2つの指関節で続けて軽く2回画面をタップすると、録画が始まります。録画を終了するには、再度指関節で続けて2回画面をタップします。



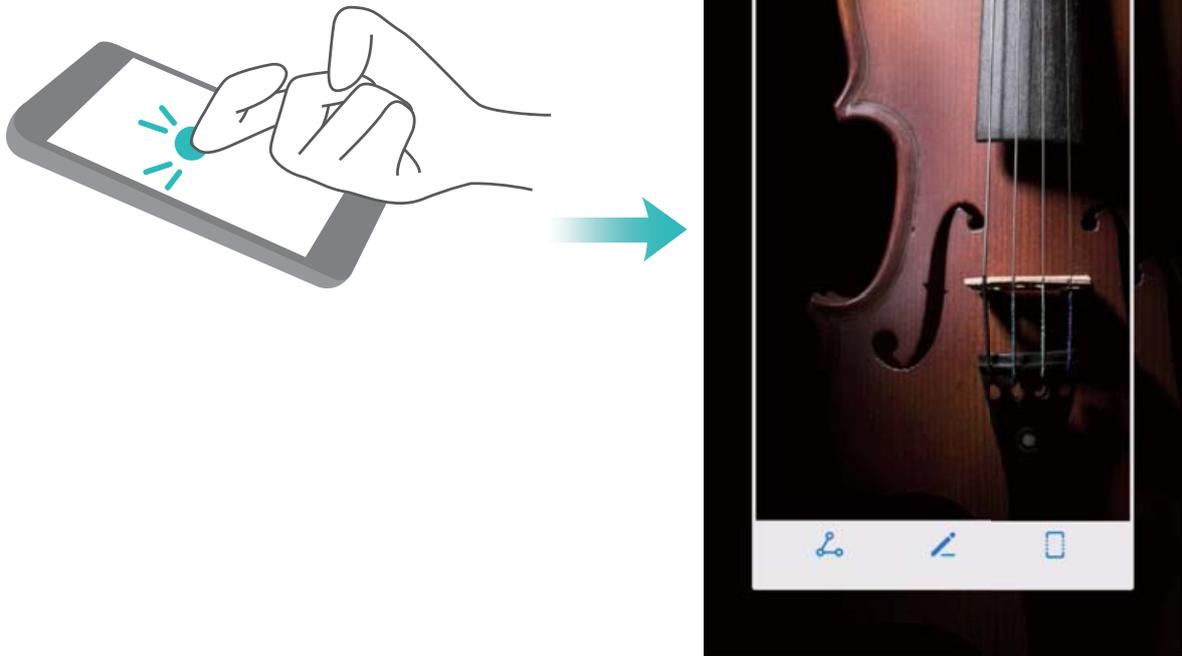
録画した画面は **ギャラリー** で確認できます。

### 画面全体のスクリーンショットの撮影

**キーの組み合わせによるスクリーンショットの撮影**: 電源ボタンと音量ダウンボタンを同時に長押しすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

**ショートカットスイッチによるスクリーンショットの撮影**: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開いてから  をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。

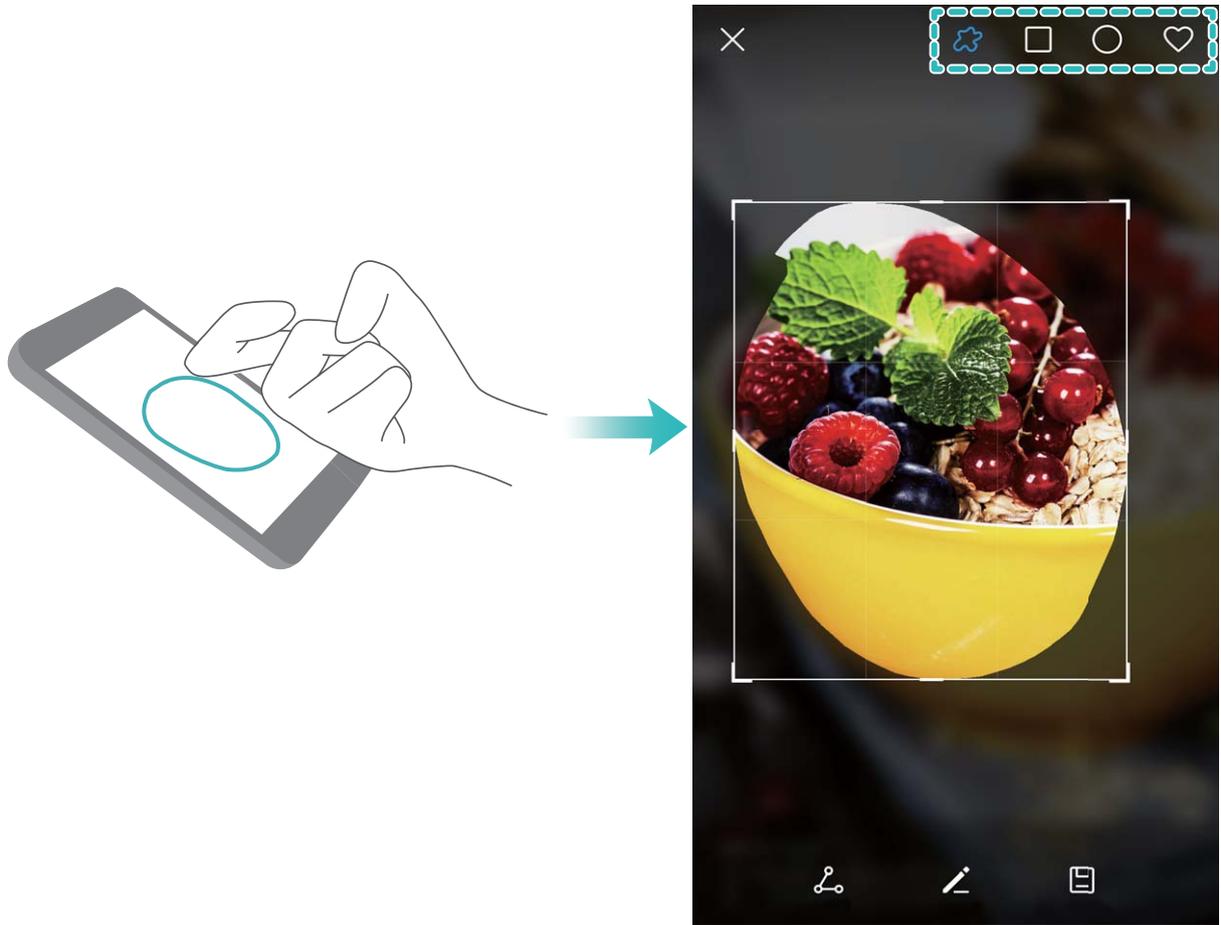
**指関節によるスクリーンショットの撮影**: 指関節で続けて軽く2回画面をタップすると、画面全体のスクリーンショットを撮影できます。



スクリーンショットの撮影後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。

### 部分スクリーンショットの撮影

1つの指関節で画面をノックして、画面に指関節をつけたままキャプチャしたい部分の外枠を描きます。画面に指関節の動きが表示され、選択した領域のスクリーンショットが撮影されます。画面上部にあるアイコンをタップして、プリセットされているスクリーンショットの形状からお好きなものを選択してから、 をタップして画像を保存することもできます。



スクリーンショットの撮影後に  または  をタップすると、スクリーンショットを編集または共有できます。デフォルトでは、スクリーンショットは **ギャラリー** に保存されます。

# ホーム画面

## ナビゲーションバー

### ナビゲーションバーレイアウトの設定

ナビゲーションバーを使用すると、簡単にホーム画面にアクセスしたり、前のページに戻ったり、アプリを終了したり、最近使用したアプリを表示したりすることができます。

ナビゲーションバーレイアウトを設定するには、 **設定** に移動してから **システム** > **システムナビゲーション** > **ナビゲーションバー** に移動し、ナビゲーションキーの組み合わせを選択した後に使用頻度に応じて **ナビゲーションバー** を有効／無効にします。



-  **戻るキー**: タップすると前のページに戻るか、アプリを終了します。テキスト入力中にタップすると、画面のキーボードが閉じます。
-  **ホームキー**: タップすると、ホーム画面に戻ります。長押しすると、Googleアシスタント機能が起動します。
-  **履歴キー**: タップすると最近使用したアプリの一覧が表示されます。長押しすると、画面分割モードが有効になります。
-  **下方スワイプ通知キー**: タップすると通知パネルが開きます。

### 履歴キーを使用したバックグラウンドアプリの簡単な管理

多数のバックグラウンドアプリを実行していると、電力消費量が増えてしまいます。最近使用したアプリに簡単に切り替えたい場合、履歴キーを使用してみてください。履歴キーを使用すると、最近使用したアプリにすぐに切り替えることができます。このキーを使ってバックグラウンドアプリを閉じ、端末の処理速度を上げることもできます。

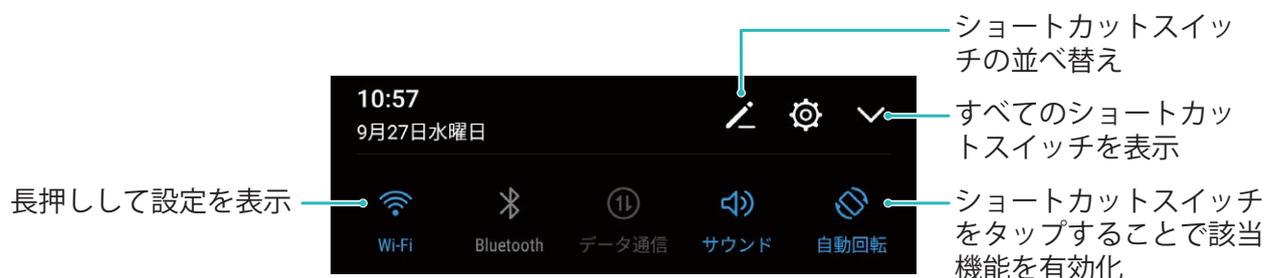
- をタップします。最近使用したバックグラウンドアプリの表示、切り替え、終了、ロックができます。

- **最近使用したアプリの表示**: 最近使用したアプリが画面に表示され、上下にスワイプすると確認できます。
- **最近使用したアプリへの切り替え**: 画面を上下にスワイプして使用したいアプリを見つけ、アプリタブをタップします。
- **アプリの終了**: アプリタブを左右にスワイプするか、アプリタブの右上の ✕ をタップすると、該当するアプリを終了できます。
- **すべてのアプリの終了**:  をタップするとすべてのアプリを終了できます。
- **アプリのロック**: アプリを終了せずにバックグラウンドで実行させておきたい場合、アプリをロックすることができます。アプリをロックすると、終了できなくなります。アプリタブの右上の  をタップすると、アプリが終了できなくなります。アプリのロックを解除したい場合、アプリタブの右上の  をタップします。

## 素早い切り替え

### ショートカットスイッチを使用してよく使う機能を素早く有効化

モバイルデータ通信またはWi-Fiを素早く有効／無効にしたい場合があります。ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、該当のショートカットスイッチをタップすると、該当する機能を有効／無効にできます。スイッチアイコンを長押しすると、該当する機能の設定ページに移動できます。



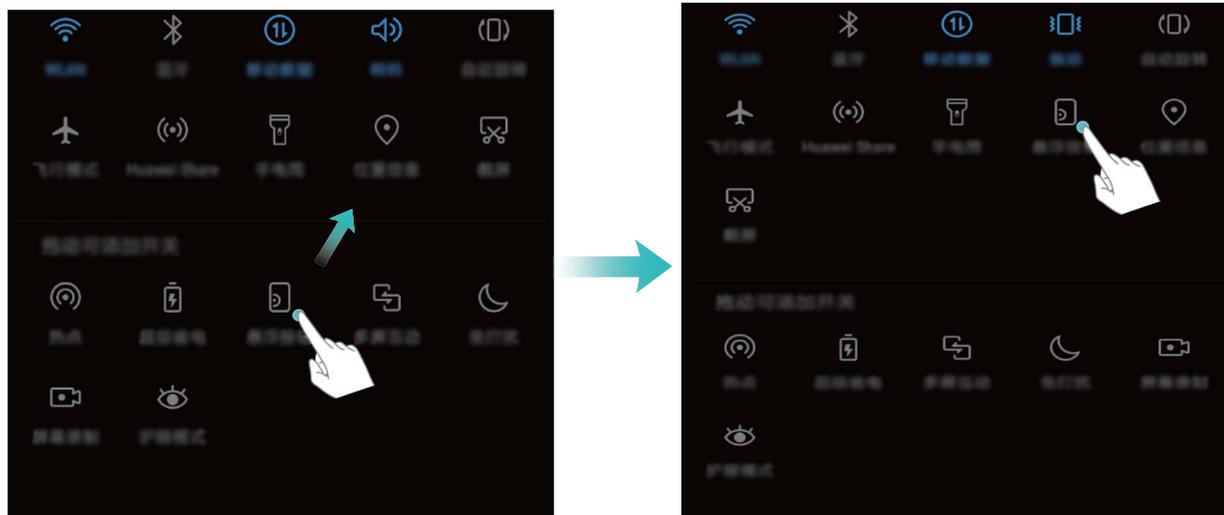
### ショートカットスイッチの位置を好みに合わせて調整

ショートカットスイッチの位置を調整して、よく使用するものを上のほうに置くことができます。

ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。ショートカットパネルから以下の操作を行うことができます。

**ショートカットスイッチの並べ替え**: ショートカットスイッチを長押ししてからアイコンを好みの位置にドラッグします。

**ショートカットスイッチの追加**: パネルの非表示領域から表示されている領域にショートカットスイッチをドラッグして、戻る をタップします。



ショートカットスイッチの削除: パネルの表示されている領域から非表示領域にショートカットスイッチをドラッグして、戻る をタップします。



## 通知とステータスバー

### ステータスバーのアイコン

ステータスバーを使用すると、接続情報や電池残量、新しい通知を確認できます。

**ステータスアイコン:** ステータスアイコンは、ネットワーク接続状況、電波強度、電池残量、時間など、端末のステータスに関する情報を表示します。

**i** ステータスアイコンは地域や通信事業者により異なります。

	電波強度		電波なし
	ヘッドセット接続		HSPA+による接続
	LTEによる接続		3Gによる接続

	HSPAによる接続		NFC有効
	2Gによる接続		Wi-Fi接続
	機内モード有効		GPSからの位置データの受信
	ローミング		サイレントモード有効
	Bluetooth有効		充電中
	Wi-Fiネットワーク利用可		電池残量わずか
	バイブモード有効		SIMカードなし
	アラーム設定済み		満充電

**通知アイコン:**新しいメッセージまたは通知を受信すると、通知アイコンがステータスバーの左側に表示されます。

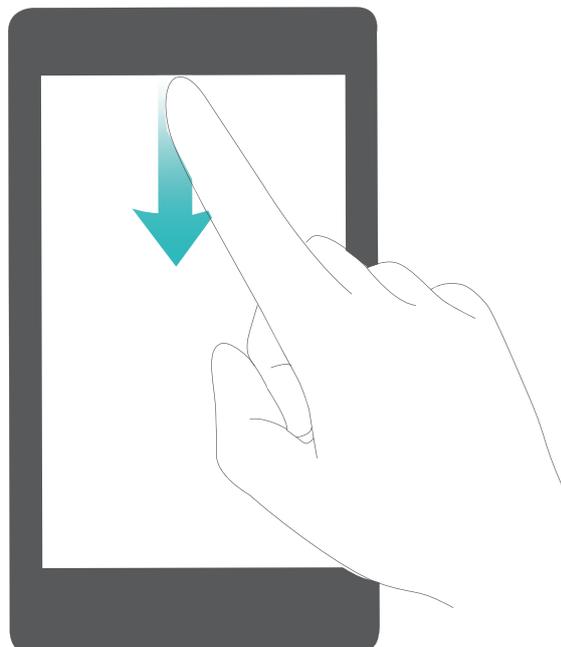
	不在着信		新規メール
	データのダウンロード中		新規ボイスメール
	今後の予定		データのアップロード中
	データの同期中		端末メモリがいっぱい
	ログインエラーまたは同期エラー		同期失敗
	VPN接続		その他の通知

## 通知パネルを開いて重要な情報を確認

重要な通知は見落とさず確認したいものです。端末のステータスバーから、リアルタイムの通知情報と端末の動作状態を表示できます。

通知リマインダーがある場合、画面を点灯してステータスバーを下にスワイプすると、通知を表示できます。通知とステータスバーの設定には次のようにしてアクセスします。

- **画面がロックされている場合の通知とステータスバーの設定へのアクセス:** 画面を点灯してステータスバーを下にスワイプします。⚙️ をタップし、パスワードを入力して **アプリと通知 > 通知とステータスバー** に移動します。



- 画面がロック解除されている場合の通知とステータスバーの設定へのアクセス:  **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知とステータスバー** に移動します。

### わずらわしいアプリ通知の無効化

受け取るアプリ通知が多すぎると、わずらわしく感じる場合があります。アプリ通知を無効にすると快適になります。

-  **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知管理** に移動します。ここから、すべてのアプリ通知を無効にできます。アプリの設定で、特定のアプリの通知を無効にすることもできます。



## 好みに応じた通知のカスタマイズ

通知リマインダーを自分の好みに合わせてカスタマイズできます。

 **設定** に移動してから **アプリと通知** > **通知とステータスバー** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- **通知による画面点灯の有効化**:通知で画面を点灯 を有効にします。端末画面が消灯状態の場合、通知を受け取ると画面が点灯します。
- **通知ランプの点滅の設定**:LED通知 を有効にすると、新しい通知を受け取ったときに通知ランプが点滅します。
- **ステータスバーでの詳細情報の表示**:好みに応じて、**通信事業者名を表示** と **通信速度を表示** を有効にできます。**通知方法** を設定して **電池残量表示位置** の表示方法を選択することもできます。

## 画面ロックとロック解除

### マガジンロック画面の設定

マガジンロック画面では、端末のロック画面を解除するたびにロック画面に新しい画像が表示されるので、いつも同じ背景が表示されて飽きることがありません。

マガジンロック画面のショートカットパネルを表示するには、ロック画面の下から上にスワイプします。

**カバーの登録**:  をタップして、お好きなマガジンタイプを登録リストに追加します。

独自の画像をカバーとして追加:  をタップします。  をタップして、追加する画像を選択し、 をタップします。

## ロック画面パスワードによるプライバシー保護

プライベートな写真、連絡先情報、バンキングアプリなど、端末には保護する必要がある情報が多数保存されています。ロック画面パスワードを設定すると、端末をロック解除するために常にパスワードが必要になります。ロック画面パスワードにより、端末を紛失してしまった場合や、不正なユーザーがアクセスした場合でも、個人情報を保護できます。

**ロック画面パスワードの設定:**  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **画面ロックとパスワード** に移動し、ロック画面パスワードのいずれかのタイプを設定します。

- **PINの設定:** PIN番号は、一連の数字です。PIN入力による端末のロック解除は、簡単でシンプルです。安全性を高めるには、長いランダムな数字の組み合わせをPINとして使用します。 **画面のロック** > **PIN** に移動して、画面の指示に従ってPINを設定し、**OK** をタップします。
- **パターンの設定:** 事前に設定したパターンを画面に描くことで端末のロックを解除します。安全性を高めるには、重複する線を含むパターンを使用します。 **画面のロック** > **パターン** に移動し、同じパターンを2回描きます。4つ以上の点を結ぶパターンにする必要があります。
- **パスワードの設定:** 数字、文字、特殊文字からなるパスワードは、PINやパターンよりも安全です。安全性を高めるには、数字、文字、特殊文字を含む8文字以上のパスワードを使用してください。パスワードを忘れて端末のロックを解除できないことがないように、パスワードを覚えておいてください。 **画面のロック** > **パスワード** に移動して、画面の指示に従ってパスワードを設定し、**OK** をタップします。
- **スマートバンドによる端末のロック解除:** スマートバンドによるロック解除に対応している端末では、バンドを端末から80 cm以内に近づけると、画面が点灯します。画面をスワイプするとすぐに端末のロックが解除されます。 **スマートロック解除** をタップし、画面の指示に従って設定を行います。
- **指紋による端末のロック解除:** 指紋によるロック解除では、端末を安全かつ簡単にロック解除できます。ロック画面パスワードの設定後に、ポップアップ表示されるダイアログボックスの **登録** をタップし、画面の指示に従って指紋を登録します。
- **セキュリティ上の理由から、ロック画面パスワードは無効にしないでください:** ロック画面パスワードにより、端末への不正なアクセスを防止できます。端末を安全に保護するため、画面ロック方法として **なし** は選択しないでください。
- 画面ロックパスワードを入力しない状態が3日間続くと、端末のロックを解除するためにパスワードを入力する必要があります。

## 画面をロックして端末をすぐに保護する

一定時間端末を使用しないと、画面が消灯し、ロックされます。画面が点灯している間は端末を使用でき、画面のロックを解除する必要はありません。プライバシーを保護し、誤った入力を防止するため、端末を使用していないときには画面をロックしてください。

- **ロック画面パスワードを設定することで、プライバシーを保護できます。** 端末をロックする方法を次に示します。

**電源ボタンで画面を瞬時にロックする:** いつでも電源ボタンを押せば画面がロックします。

**ワンタップ画面ロックで画面をロックする:**ホーム画面で2本の指をピンチインすると、編集画面が表示されます。**ウィジェット > 画面ロック** をタップし、ホーム画面に **画面ロック** ウィジェットを追加します。これにより、電源ボタンの劣化を軽減できます。ホーム画面編集モードを終了したら、**画面ロック** ウィジェットをタップすると画面がすぐにロックされます。画面をこの方法でロックするには、まず、**画面ロック** ウィジェットがあるホーム画面ページに切り替えます。

また、各自の好みに合わせてロック画面スタイルをカスタマイズできます。

**ロック画面スタイルの変更:**端末では、デフォルトでマガジンロック画面が使用されます。 **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー > 画面ロックとパスワード > ロック画面スタイル** に移動して、適切なロック画面スタイルを選択します。

-  **ロック画面の署名としてカスタムメッセージを設定する:**ロック画面に**署名を表示** をタップすると、画面が点灯するたびに、ロック画面にカスタムメッセージが表示されます。

## シンプルモード(簡易モード)

ホーム画面にアプリのアイコンや小さな文字が詰まっていると、見づらく感じることもあります。アイコンや文字が大きく表示され、レイアウトがわかりやすいシンプルモードを使えば、操作が簡単になります。

 **設定** を開いて **システム > シンプルモード** に移動し、適用をタップします。

シンプルモードでは、以下の操作を行うことができます。

- **ホーム画面のアイコンの編集:**アイコンのいずれかを長押ししてホーム画面編集モードにしてから、必要に応じてアプリのアイコンを追加または削除します。
- **シンプルモードの終了:**シンプルモードを終了するには、**標準モード** をタップします。



## ホーム画面の管理

### ホーム画面のアイコンの管理

アプリのアイコンが散在してホーム画面が雑然としていませんか？ホーム画面のアイコンを移動または削除することができます。あるいは、アクセスしやすいようにアイコンをフォルダに整理することもできます。

**ホーム画面のアイコンの移動:** ホーム画面でアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを画面上の任意の位置までドラッグします。

**アプリの削除:** ホーム画面で、アンインストールするアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを  までドラッグします。画面の指示に従ってアプリを削除します。

**i** システムを正常に動作させるために、プリインストールされているシステムアプリの一部はアンインストールできないようになっています。

**アプリのアイコンを格納するフォルダの作成:** ホーム画面でアプリを長押しし、端末が振動したらアプリを別のアプリの上までドラッグします。2つのアプリが新しいフォルダ内に格納されます。



**フォルダの削除:** フォルダを開いて **+** をタップし、すべてのアプリを選択解除してから **OK** をタップします。フォルダが自動的に削除されて、フォルダ内にあったすべてのアプリがホーム画面に移動します。

**フォルダ名の変更:** フォルダを開いてフォルダ名をタップし、新しい名前を入力します。

**フォルダ内のアプリのアイコンの追加または削除:** フォルダを開いて **+** をタップし、必要に応じてアプリを選択または選択解除してから **OK** をタップします。選択したアプリは自動的にフォルダに追加され、選択解除したアプリはフォルダから削除されます。

- i** アプリをフォルダから削除する別の方法として、フォルダ内の削除対象のアプリを長押しし、端末が振動したらアプリをホーム画面までドラッグすることもできます。

## ホーム画面の管理

ホーム画面にアイコンが溢れていませんか？ホーム画面に新しいページを追加して、そのページを好きなようにカスタマイズすることができます。

ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。以下の操作が可能です。

- **新しいホーム画面ページの追加:** 新しいホーム画面ページを追加するには、画面の左右どちらかにある **+** をタップします。
- **空のホーム画面ページの削除:** 空白画面にある **×** をタップして、そのページを削除します。
  - i** ホーム画面ページ上にアプリのアイコンまたはウィジェットがある場合、そのページを削除することはできません。

- **ホーム画面ページの並べ替え**: 並べ替えるホーム画面ページを長押ししてから、任意の位置までドラッグします。
- **デフォルトのホーム画面ページの設定**: ホーム画面の上部にある  をタップすると、そのホーム画面ページがデフォルトのホーム画面ページとして設定されます。

## ホーム画面の壁紙の設定

お気に入りの画像をホーム画面の壁紙として設定しませんか？壁紙をカスタマイズして、ホーム画面を際立たせることができます。

 **設定** に移動してから **画面 > 壁紙** に移動します。以下の操作を行うことができます。

- **画像をホーム画面の壁紙として設定する**: **壁紙に設定** をタップします。**詳細** または **ギャラリー** でお気に入りの画像を選択してから、画面の指示に従って **ロック画面**、**ホーム画面**、または **両方** を選択します。
- **壁紙をランダムに切り替える**: ホーム画面の壁紙をランダムに変更を有効にして、**間隔** および **表示するアルバム** を設定します。

**ギャラリーの画像を壁紙として設定する**:  **ギャラリー** を開き、お気に入りの画像を開いてから、**⋮** > **登録 > 壁紙** に移動して、その写真をホーム画面の壁紙として設定します。

## ホーム画面のウィジェットの管理

ワンタッチのロック画面、メモブラウザ、スケジュール帳などのウィジェットを、素早くホーム画面に追加することができます。ホーム画面を使いやすく整理するために、追加したウィジェットをホーム画面上で移動したり、削除したりすることもできます。

**ウィジェットの追加**: ホーム画面上の何もない領域を長押しすると、ホーム画面編集モードになります。**ウィジェット** をタップし、ウィジェットを選択してホーム画面上の何もない領域までドラッグします。



- ① ホーム画面上にウィジェットを配置するのに十分なスペースがあることを確認してください。スペースが足りない場合は、新しいホーム画面ページを追加するか、現在のホーム画面ページ上でウィジェットを配置できるスペースを確保してください。

**ウィジェットの削除:** ホーム画面から削除するウィジェットを長押しすると、端末が振動します。ウィジェットを画面上部にある **削除** までドラッグします。

**ウィジェットの移動:** メイン画面上で移動するウィジェットを長押しし、端末が振動したら、ウィジェットをメイン画面の任意の位置までドラッグします。

## アプリドローワーを使用したアプリの格納

ホーム画面上の1か所にアプリをまとめて格納すると、すっきりとしたホーム画面になります。ホーム画面でアプリドローワーを有効にすると、すべてのアプリをそこに格納して、ホーム画面のスペースを確保できます。

ⓘ **設定** を開いて **画面 > ホーム画面のスタイル** に移動し、標準のホーム画面へ戻すには、**標準** を選択します。

- ① **アプリドローワー内のアプリのアイコンをホーム画面に追加する:** アプリドローワーを有効にした後、ホーム画面で  をタップして、アプリのリストを表示します。アプリのリストで、追加するアプリアイコンを長押しして、ホーム画面上の任意の位置までドラッグします。

# 連絡先

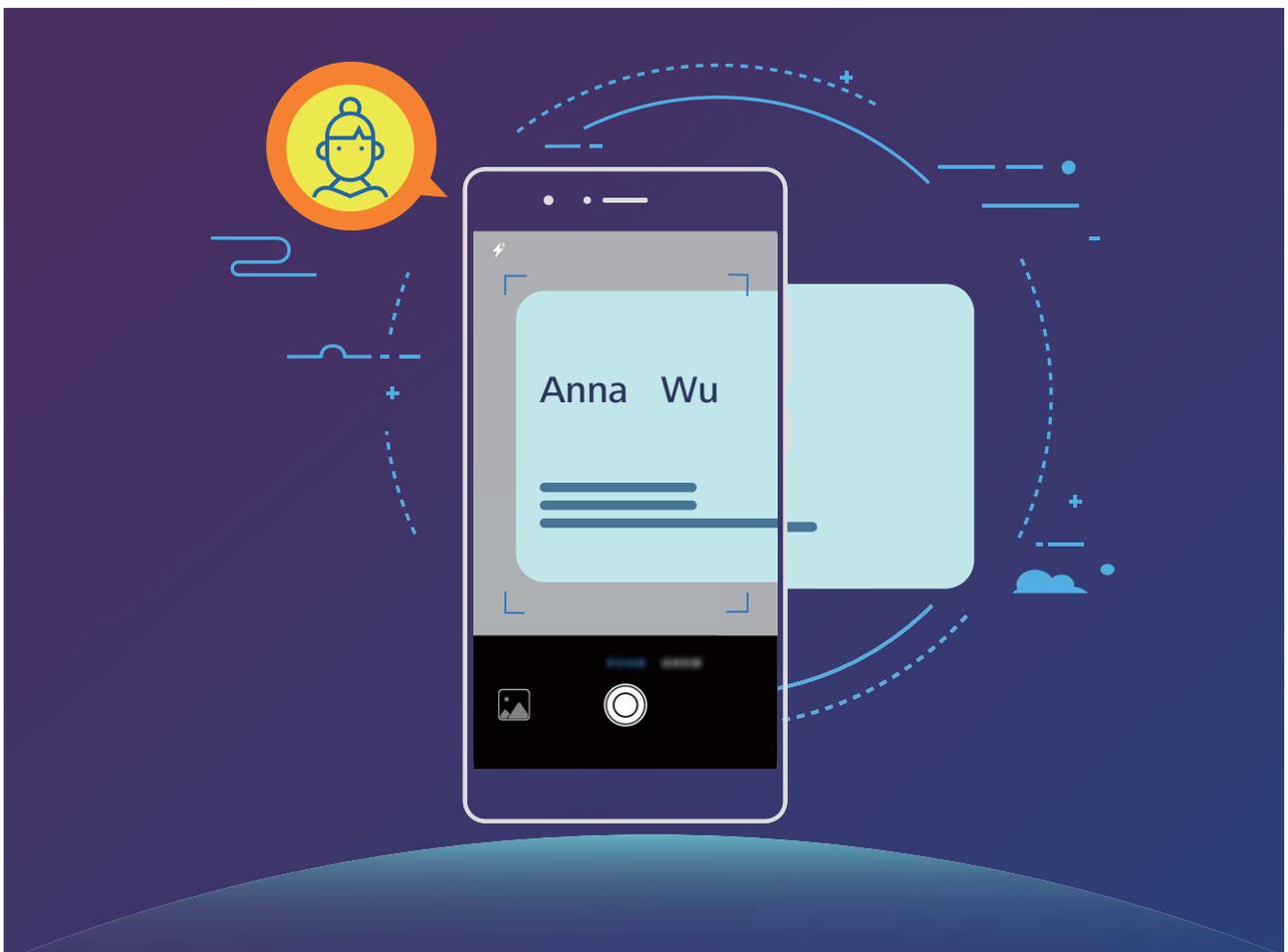
## 名刺の管理

### 名刺の管理: 簡単な名刺の追加と共有

紙の名刺を連絡先に手動で入力するのは大変だと思いませんか？また、端末の連絡先を友人と簡単に共有したいと思いませんか？名刺管理は連絡先で名刺を読み取って整理できますので、名刺の追加・共有が簡単に実現できます。

名刺管理では、以下の機能をサポートしています。

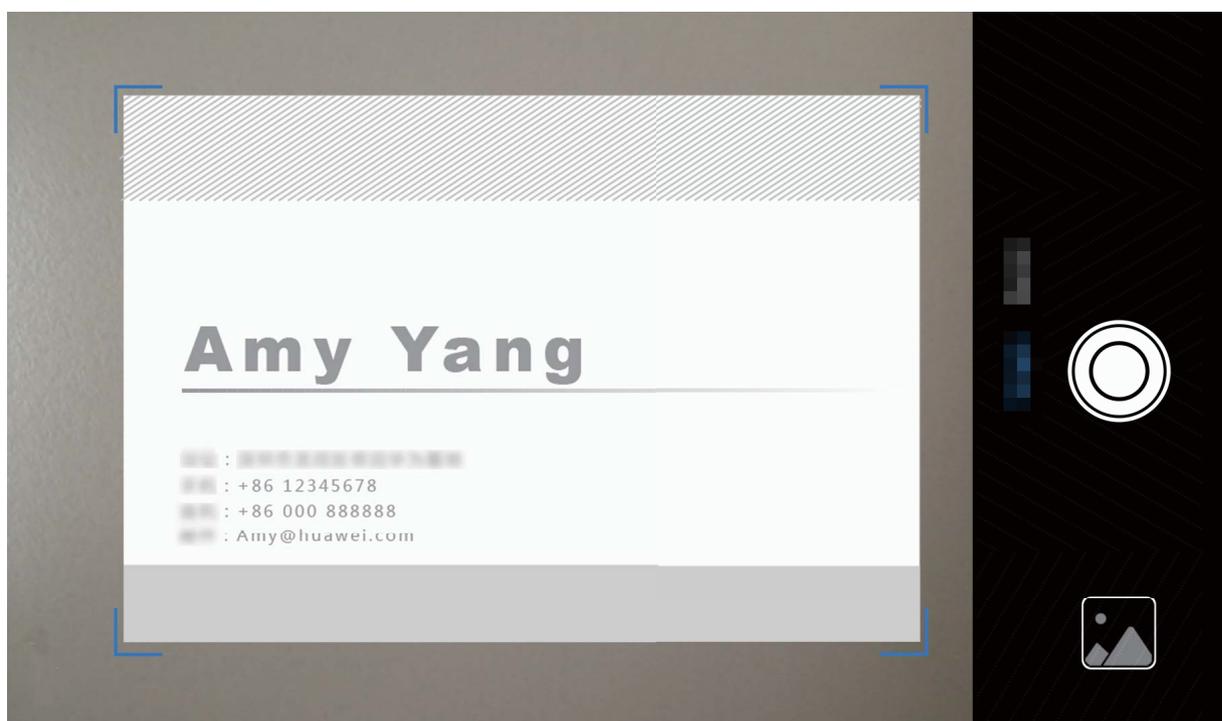
- **名刺を連絡先に追加**: 複数の名刺を連絡先に素早く追加したいと思いませんか？紙の名刺をカメラの前に置くだけで、情報(名前、電話番号、役職など)を連絡先に保存できます。
- **QRコードを読み取って連絡先を追加**: 名刺のQRコードを読み取って情報を連絡先に簡単に保存できます。
- **自分の名刺の共有**: 連絡先内で自分の名刺を作成し、QRコードを自動で生成できます。これにより、自分の名刺をQRコード経由で共有することが可能になります。
- **連絡先の共有**: 共有したい連絡先を選択して、連絡先詳細画面の上部でQRコードをタップして、素早く共有できます。



名刺を読み取って連絡先に追加する

 **連絡先** に移動し、**名刺読み取り** をタップすると、以下の操作を行うことができます。

- **1枚の名刺の読み取り**: 名刺を平らな場所に置き、名刺の情報がファインダーにはっきりと表示されるようにカメラのフォーカスを合わせてから、 をタップします。

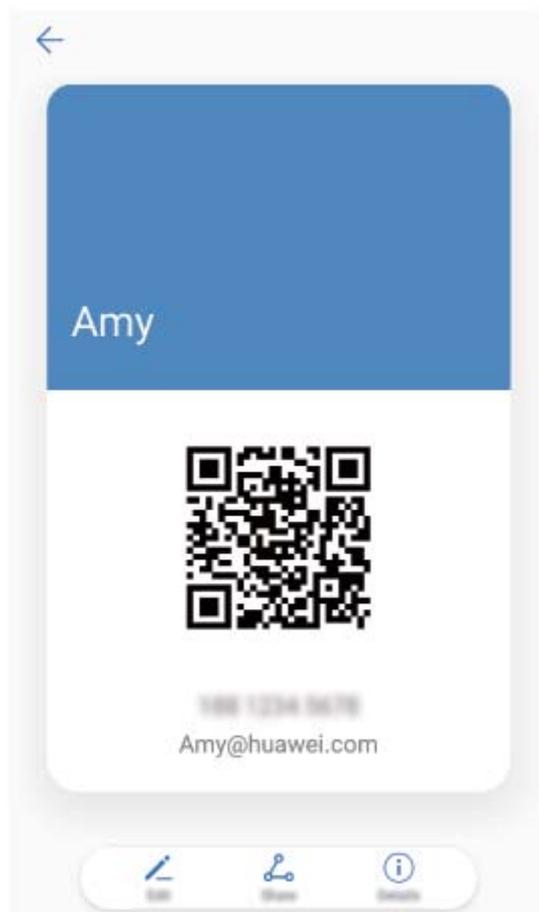


- **複数の名刺の読み取り**: **連写** モードに切り替え、画面の指示に従って複数の名刺を撮影します。

 名刺の情報は自動的に連絡先エントリに変換され、**名刺** に保存されます。

## 電子名刺を使用して連絡先を共有する

**自分の名刺の共有**:  **連絡先** を開き、**自分** をタップして自分のプロフィール写真を設定し、名前、勤務先住所、電話番号などを入力してから  をタップします。端末でQRコードの名刺が自動的に作成されます。これにより、自分の名刺をQRコード経由で直接共有することが可能になります。また、 をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有することもできます。



**連絡先の共有:**  **連絡先** を開いて、共有したい連絡先を選択してから右上隅のQRコードをタップし、QRコードを使用している連絡先を共有します。**共有** をタップして共有方法を選択し、画面の指示に従って共有処理を完了できます。

-  相手の端末がQRコード分析をサポートしている場合、直接、QRコードを撮影したり、読み取ったりして連絡先を追加できます。

## 連絡先の検索

 **連絡先** を開きます。連絡先リストでは、以下の方法で検索することができます。

-  できる限り正確な検索結果を取得するには、端末ですべての連絡先が表示されるようにしてください。連絡先リストの画面で  > **表示設定** に移動して、**すべての連絡先** をタップします。

- 横にあるインデックスをドラッグして、リストをスクロールします。
- 連絡先リストの上部にある検索バーに、連絡先の名前、頭文字、電話番号、またはメールアドレスを入力します。検索結果は、検索バーの下に表示されます。「John London」のように複数の検索キーワードを入力することもできます。すべてのキーワードに一致する連絡先が検出されます。

-  連絡先の検索時にエラーメッセージが表示された場合は、連絡先リストの画面で  > **連絡先を整理** に移動してから、**インデックスデータを構築** をタップします。

## 連絡先の管理

### 連絡先のインポートとエクスポート

機種変更した場合、既存の連絡先を新しい端末に移行する必要があります。

 **連絡先** を開いて  $\vdots$  > **インポート/エクスポート** に移動し、以下のいずれかの操作を行います。

- **連絡先のインポート**: ストレージからインポート、SIMからインポート、別の端末からインポート を選択して、画面の指示に従います。
- **連絡先のエクスポート**: ストレージにエクスポート または SIMにエクスポート、**連絡先の共有** を選択して、画面の指示に従います。デフォルトでは、**ストレージにエクスポート** を選択してエクスポートされた .vcf ファイルは、端末内部ストレージのルートディレクトリに保存されます。**ファイル** を開いて、エクスポートされたファイルを表示できます。

また、**バックアップ** 機能を使用して連絡先をインポートまたはエクスポートすることもできます。バックアップデータは、デフォルトで **ファイル > 本体 > 内部ストレージ** に保存されます。

### 連絡先の管理

連絡先アプリでは、さまざまな機能を使って連絡先を管理することができます。連絡先リストをシンプルにしたり、端末別またはSIMカード別の連絡先を表示したり、よく使う連絡先を簡単に見つけられるようにすることができます。

**重複する連絡先の統合**: 連絡先リストに重複する連絡先がある場合、**重複した連絡先の統合** 機能を使用することで、重複する連絡先を統合できます。連絡先リストで  $\vdots$  > **連絡先を整理** > **重複した連絡先の統合** に移動し、統合する連絡先を選択してから  $\checkmark$  をタップします。

- **簡易レイアウトの有効化**: 連絡先リストでプロフィールの写真、会社、役職を非表示にするには、連絡先リストの画面から  $\vdots$  > **表示設定** に移動して、**簡易表示** を有効にします。
- **連絡先のストレージ容量の確認**: 連絡先のストレージ容量を確認するには、連絡先リストから  $\vdots$  > **表示設定** に移動します。**アカウント** セクションに、端末またはSIMカードで使用可能なストレージの合計容量が表示されます。

### 連絡先グループの管理

数名の同僚にまとめてメッセージを送信したり、連絡先のグループを作ったりする必要がありますか？スマートグループを使用すると、会社、都市、最近連絡した時間に基づいて連絡先が自動的にグループ化されるため、Eメールやメッセージを一斉送信できるようになります。

**連絡先グループの作成**: グループリストで  $+$  をタップして、グループ名(「家族」や「友人」など)を入力してから **OK** をタップします。画面の指示に従って連絡先を追加し、 $\checkmark$  をタップします。

**スマートグループ連絡先にメッセージを送信する**: グループリストの **スマートグループ** セクションでグループを開き、 $\text{💬}$  をタップしてメッセージを送信するか、 $\text{✉}$  をタップしてEメールを送信します。

**グループの編集:** グループリストで、編集するグループを選択してから  をタップして連絡先を追加するか、 をタップして **メンバーを削除**、**グループの削除**、または **名前を変更** を選択します。

**グループの削除:** グループリストで、削除するグループを長押ししてから **削除** をタップします。

## ブラックリストへの連絡先の追加

連絡先の番号をブラックリストに追加して、それらの連絡先から迷惑電話がかかってこないようにすることができます。

 **連絡先** を開いて、ブラックリストに追加する連絡先を長押ししてから **ブラックリストに追加** をタップします。端末により、ブラックリストに登録されている連絡先からの着信とメッセージが自動的にブロックされます。

**ブラックリストの連絡先の表示:**  **端末管理** を開いて **ブロック** >  に移動し、**電話番号のブラックリスト** をタップしてブラックリストを表示します。

**ブラックリストから連絡先を削除する:**  **連絡先** を開いて、ブラックリストから削除する連絡先を長押ししてから **ブラックリストから削除** をタップします。

## 通話／メッセージ履歴の消去

プライバシーを保護するために、消去機能を使用して連絡先ごとに通話／メッセージ履歴を消去できます。

 **連絡先** を開き、連絡先を選択して  > **履歴を消去** > **消去** に移動します。該当する連絡先のすべての通話／メッセージ履歴が消去されます。

## サードパーティ製アプリの連絡先を統合

### SNS の統合: たくさんの人とつながる

人脈を広げたいと思いませんか？ SNSアカウントの情報をお手元の連絡先に同期させたいと思いませんか？ SNSアカウント (LinkedIn など) にログインして、連絡先の情報 (会社名、役職、メールアドレスなど) をローカル端末の連絡先に同期させることで、人脈が拡大します。

### 連絡先情報を自分の SNS アカウントに関連付ける

端末上の連絡先の職業、メールアドレス、役職を知りたい場合、サードパーティの SNS アプリ (LinkedIn など) を使用すると、連絡先に関する詳しい情報を見つけることができます。

**LinkedIn アカウントとの関連付け:**  **連絡先** を開いて  > **設定** > **LinkedIn アカウントを関連付け** に移動し、画面の指示に従って LinkedIn アカウントにログインします。ログイン後、ご利用の端末の連絡先情報が自動的に更新されます。すべての LinkedIn 連絡先情報を同期させるには、**連絡先** の LinkedIn 設定画面から **LinkedIn 連絡先の同期** > **すべての LinkedIn の連絡先** に移動して、**同期** を選択します。

**LinkedIn の連絡先情報を表示する:** LinkedIn の連絡先を 1 つ開いて、**オンラインで LinkedIn のプロフィールを表示します** をタップします。

LinkedIn連絡先の関連付けを解除する: ⋮ > 設定 > LinkedIn に移動して、関連付け解除 を選択します。

# 発信

## 基本的な通話機能

### 発信

入力画面で、電話番号の一部を入力するか、連絡先の名前の最初の文字を入力します。端末が該当する連絡先を自動的に検索します。

 **電話** を開きます。ダイヤル画面において、電話番号を入力するか、連絡先の名前の頭文字を入力することで、連絡先と通話履歴が自動的に検索されます。検索結果リスト内で、電話をかける連絡先をタップします。連絡先のステータス(呼び出し中、転送が有効など)を、画面上で確認できます。電話を切るには、 をタップします。

**電源ボタンを押して通話を終了する**: 間違った電話番号にかけて、発信画面を閉じてしまったときに、素早く通話を取り消したいと思うことはありませんか? こうした場合のために、**電源ボタンで通話を終了** を設定することができます。電話画面で  > **設定** に移動し、**電源ボタンで通話を終了** を有効にすると、電源ボタンを押すだけで素早く通話を終了できるようになります。

### 緊急通報

緊急時には、画面がロックされている場合でも、端末の電源が入っていて圏内にいれば、緊急通報を行うことができます。

 緊急通報が利用できるかどうかは、現地の法規制やインターネットサービスプロバイダによって異なります。ネットワークの問題や、通信環境で障害が発生したりすると、緊急通報できない場合があります。緊急時の重要な通信は、端末だけに頼らないようにしてください。

 日本国内では、音声通話(IP 電話を除く)対応の SIM カードを取り付けていない場合や、PIN コードの入力画面、PIN コードロック・PUK ロック中には、緊急通報 110 番、119 番、118 番に発信できません。

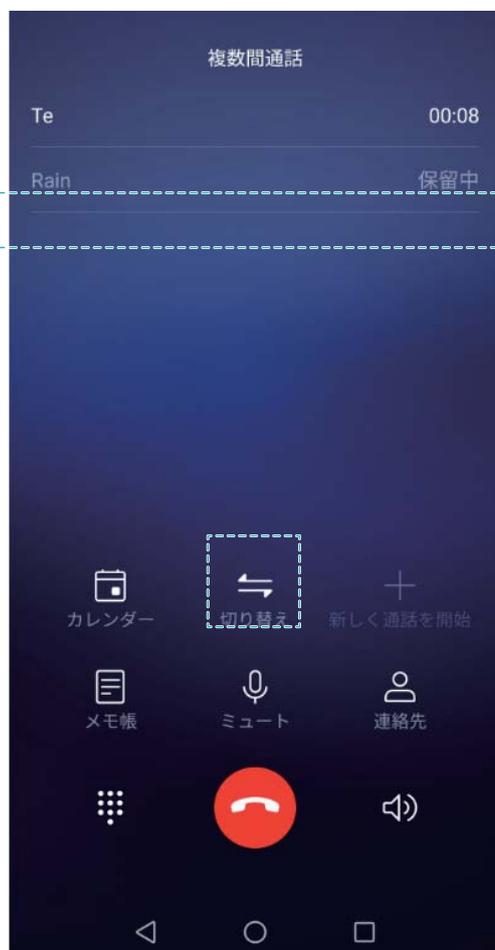
 **電話** を開くか、ロック画面で **緊急通報** をタップして、自分の所在地の緊急番号を入力画面で入力し、 をタップします。電波状況が良好な場所で、端末がインターネットに接続されている場合は、端末側で自動的に現在地を取得して画面に表示します。

### 通話保留を有効にして重要な着信を受ける

通話中でも他の電話を受けられるようにしたいと思いませんか? 通話保留機能を使用すると、新しい着信に応答した後、2つの通話を切り替えることができます。

 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

 **電話** を開いて  > **設定** > **その他の設定** に移動し、**割込通話** を有効にします。通話中に別の着信があったら、 をタップして応答し、最初の通話を保留中にします。通話を切り替えるには、 をタップするか、通話リストで保留中の通話をタップします。



## 着信転送による不在着信の回避

電話に出れない場合、着信を別の番号に転送できます。

**i** 一部の通信事業者では、この機能に対応していない場合があります。

**電話** を開いて **⋮** > **設定** > **着信転送** に移動し**着信転送** をタップし、転送方法を選択します。着信の転送先の番号を入力し、その番号を確認します。端末で着信転送が有効になっている場合、着信は事前に設定された番号に自動的に転送されます。

## 通話履歴の削除

不要になった通話履歴は削除することができます。

**電話** を開き、**⋮** をタップしてダイヤルパッドを非表示にします。次のいずれかの操作を行うことができます。

- **1つの履歴の削除**: 該当するエントリを長押ししてから、**履歴の削除** をタップします。
- **複数の履歴の削除**: **🗑️** をタップし、削除するエントリをすべて選択するか **すべて選択** をタップした後、**🗑️** をタップします。

## ボイスメールの有効化

端末の電源が切れているときに重要な電話を取れないことが心配になりませんか？ボイスメールは発信者からのリアルタイムのメッセージを記録できるため、重要な電話を取り損ねることを心配する必要がなくなります。

- ① ボイスメールは、通信事業者側で対応している必要があります。ボイスメールサービスが有効になっていることを確認してください。ご利用の通信事業者に連絡して、ボイスメール番号、サービスの詳細、料金に関する情報を入手してください。

**ボイスメールの有効化:**  **電話** を開いて  > **設定** に移動し、**その他の設定** をタップします。続いて **ボイスメール** > **ボイスメールの番号** に移動して、通信事業者から提供されたボイスメール番号を入力します。

**ボイスメールメッセージの確認:** 入力画面で 1 を長押ししてボイスメールを呼び出し、メッセージを聞きます。

## 国際ローミングを有効にして国際通話を行う

出張や休暇で海外にいるときは、端末でローミングが有効になっていれば、国番号をダイヤルせずに電話をかけることができます。

- ① この機能の利用には、通信事業者側でこの機能に対応している必要があります。SIMカードに対してローミングまたは国際ローミングが有効になっていることを確認してください。詳細については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

 **電話** または  **連絡先** を開いて電話をかけます。

## 迷惑電話のブロック: 煩わしい電話を安全にブロック

迷惑電話や電話詐欺にうんざりしていませんか？**ブロック** を使用してみてください。

**ブロックルールの設定:**  **電話** を開いて  > **ブロック** に移動し、 をタップします。自分の必要に合わせてブロックルールを設定し、ブラックリストまたはホワイトリストを設定します。

# メール

## メールの種類について

### S!メール

ソフトバンク携帯電話(S!メール対応機器)のほか、他社の携帯電話、パソコンなどのeメール対応機器とも送受信できるメールです。SMSより長いメッセージ、画像や動画などを添付して送信することができます。

### SMS

携帯電話の電話番号を宛先として短いメッセージ(全角70文字まで)の送受信ができます。

### Gmail

GmailはGoogleのウェブメールサービスです。ウェブ上のGmailと、本機のGmailを自動で同期することができます。

### eメール

会社や自宅のパソコンなどで送受信しているeメール(POP3/IMAP4)を、本機でも同じように送受信することができます。

- eメールを使用するには、メールアカウントを設定する必要があります。
- 本機のeメールで送受信を行うと、本機とメールサーバーとで同期が行われ、パソコンからでも同じ送受信内容(POP方式の場合は受信内容のみ)を確認することができます。

## フォルダー一覧モード/スレッド一覧モードについて

メールの表示方法には、フォルダー一覧モードとスレッド一覧モードの2種類があります。オンラインマニュアルではフォルダー一覧モードでの操作を記載しております。スレッド一覧モードでは操作が異なる場合があります。

### フォルダー一覧モードとスレッド一覧モードを切り替える

- 1 ホーム画面で  メール



## 2 現在の一覧モード名をタップ



## 3 変更後の一覧モード名をタップ



**i** 一覧モードが切り替わります。

- SMS/S!メール自動切替が有効(表示)に設定されているときは、画面下部の切替をタップしても切り替えられます。

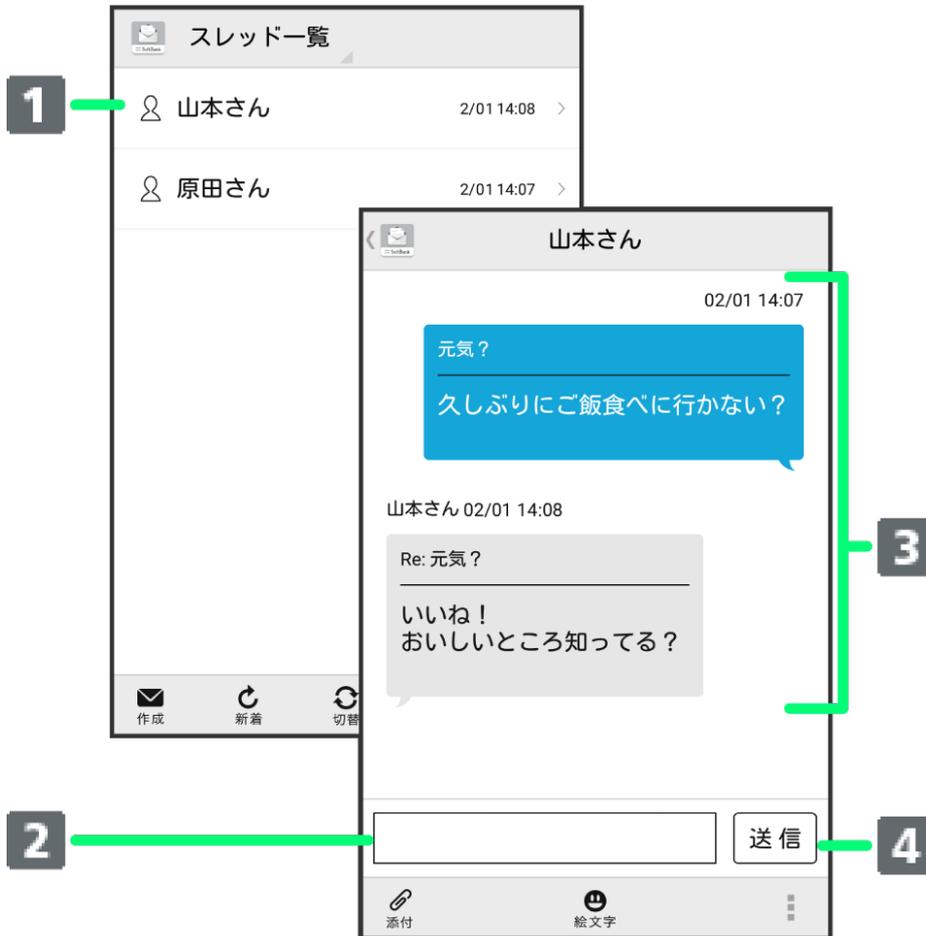
### フォルダー一覧モードについて

フォルダー一覧モードでは、「受信フォルダ」や「送信フォルダ」、作成したサブフォルダなどに分けてメールを保存します。



## スレッド一覧モードについて

スレッド一覧モードでは、送受信したS!メール/SMSを宛先ごとにまとめて表示します。たとえば、山本さんとやりとりしたメールを確認するときは、1つのスレッドの中で山本さんと会話をしているように表示されます。



- 
- ① 送受信した相手のスレッド
- 
- ② 本文入力欄
- 
- ③ 送受信したメール内容
- 
- ④ S!メール/SMSを送信
- 

## S!メール/SMS を送信する

### S!メール/SMS を送信する

- 1 ホーム画面で  (メール)  作成



2 



- 宛先入力欄に電話番号やアドレスを直接入力することもできます。

### 3 電話帳／送信履歴／受信履歴／メールグループ



- i** ● 電話帳／送信履歴／受信履歴をタップすると、電話帳／送信履歴／受信履歴から宛先を選択できます。
- メールグループをタップすると、メールグループを選択して、メールグループに登録されたすべての宛先を送信する宛先に設定できます。

### 4 送信する宛先を選択 ➡ OK



- 電話帳／送信履歴／受信履歴／メールグループをタップすると、表示する宛先のリストを切り替えられます。
- 送信する宛先を設定したあと、**ⓘ○○○○** をタップすると、宛先の電話番号やアドレスを確認したり、宛先をCcやBccに設定できます。
- CcやBccを設定するとS!メールでの送信になります。
- 送信する宛先を設定したあと、**ⓘ○○○○** をタップし、**✕○○○○** をタップすると宛先を削除できます。**ⓘ○○○○** をタップして宛先削除をタップしても削除できます。

## 5 件名／本文入力欄をタップ ➡ 件名／本文を入力



-  をタップするとファイルを添付できます。詳しくは[ファイルを添付する](#)を参照してください。
- 件名を入力／ファイルを添付するとS!メールでの送信になります。

## 6 送信



**i** S!メール／SMSが送信されます。

- お使いの機種によっては、送信確認画面が表示される場合があります。送信確認画面が表示されたときは、**送信**をタップしてください。
- 送信できなかった場合は、S!メール／SMSが下書きとして保存されます。

### S!メール／SMS の送信について

#### S!メール／SMSの切り替えについて

件名の有無や本文の長さなどで、送信時に自動でS!メール／SMSが切り替わります。

- メールの新規作成時は、どちらで送信されるかを、画面上部の表示で確認できます。
  - ・「新規メール」と表示されているとき：S!メールで送信されます。
  - ・「新規SMS」と表示されているとき：SMSで送信されます。
- ホーム画面で (メール) ➡ **設定** ➡ **共通設定** ➡ **SMS／S!メール自動切替**をタップ( 表示)すると、新規作成時にメール(S!メール)とSMSが選択できるようになります。

#### 下書きについて

S!メール／SMS作成中に をタップして画面を切り替えると、作成中のS!メール／SMSを下書きとして保存します。

下書きは、フォルダー一覧モードでは**下書き／未送信フォルダ**に保存され、スレッド一覧モードでは が表示されます。下書きのS!メール／SMSを表示すると、内容を再編集して送信できます。

## S!メールでデコレメールを送信する

### テンプレートを利用する

様々なデザインを利用して、メールを装飾することができます。

- 1 ホーム画面で  (メール)  テンプレート  左右にフリックしてテンプレートを選択



- 2 決定



3 宛先を入力 ➡ 件名を入力 ➡ 本文を入力 ➡ 送信



**i** デコレメールが送信されます。

- お使いの機種によっては、送信確認画面が表示される場合があります。送信確認画面が表示されたときは、送信をタップしてください。

## S!メールを装飾する

1 本文入力中に**装飾**  装飾方法をタップ



**i** メールが装飾できます。

- 左右にフリックすると、ほかの装飾方法を確認できます。

2 画面に従ってメールを装飾

**i** メールを装飾しながら、本文が入力できます。

## S!メール／SMSを受信／返信する

S!メールやSMSは、自動的に受信されます。また、手動で受信することや、サーバーに保存されたメールを受信することもできます。

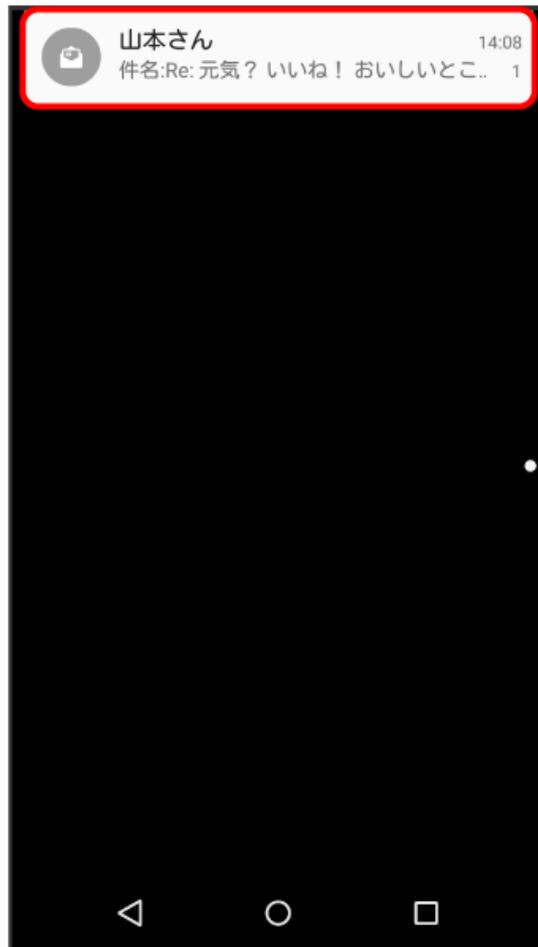
### ローミング時の受信について

**i** ローミング中にS!メールを自動受信する場合は、端末設定の**その他の設定**をタップしたあと、**モバイルネットワーク**  **データローミング**の順にタップして、データローミングを有効(  表示)にしてください。詳しくは、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。

## 新着の S!メール／SMS を確認する

新着メールを受信すると、新着メッセージの通知と、通知アイコンが表示されます。

### 1 通知をタップ



 S!メール／SMS詳細画面が表示されます。

- お使いの端末のAndroidバージョンが4.4以前のときは、**表示**をタップしてください。
- 通知アイコンから確認するには、ステータスバーを下にドラッグして通知パネルを開きます。通知をタップすると新着メールが表示されます。
- 新着メールが2通以上あるときは、フォルダ一覧画面が表示されます。

### 迷惑メールについて

迷惑メール設定を行うと、電話帳に登録していない差出人から受信したメールは、新着メール通知されず、迷惑メールフォルダに保存されます。迷惑メールフォルダに保存されたメールは、次の操作で確認できます。

ホーム画面で  メール  迷惑メールフォルダ

- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

### 手動で S!メール／SMS を受信する

- ホーム画面で  (メール)  新着



 メールを受信します。

## サーバーメールを受信する

1 ホーム画面で  (メール)    サーバーメール操作



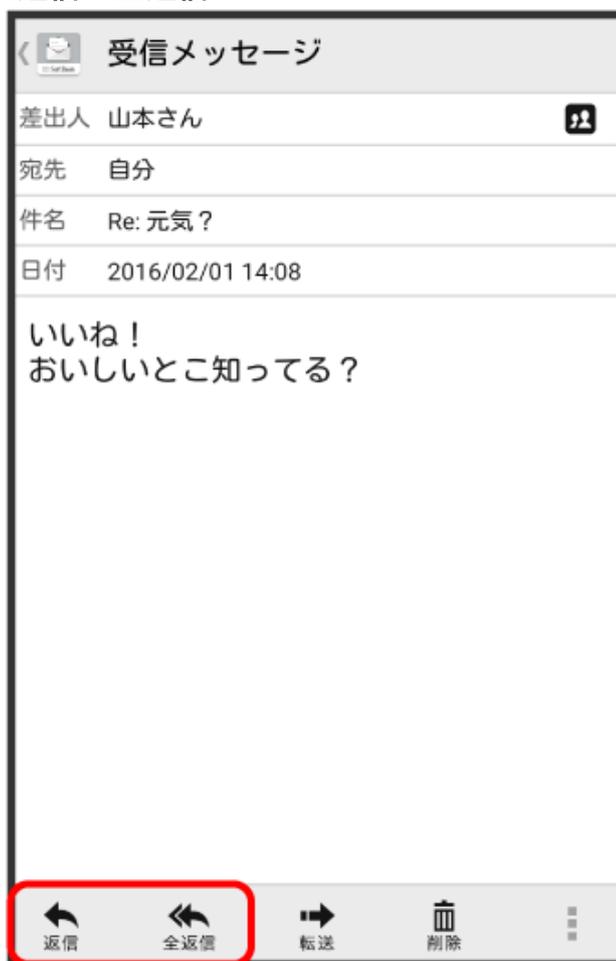
## 2 全て受信／差出人／件名で受信



 サーバーメールを受信します。

## S!メール／SMSを返信する

### 1 S!メール／SMS詳細画面で返信／全返信



- メール一覧画面で対象のメールを右にフリックして返信／全返信をタップしても、同様の操作が行えます。

### 2 本文を入力 ➡ 送信

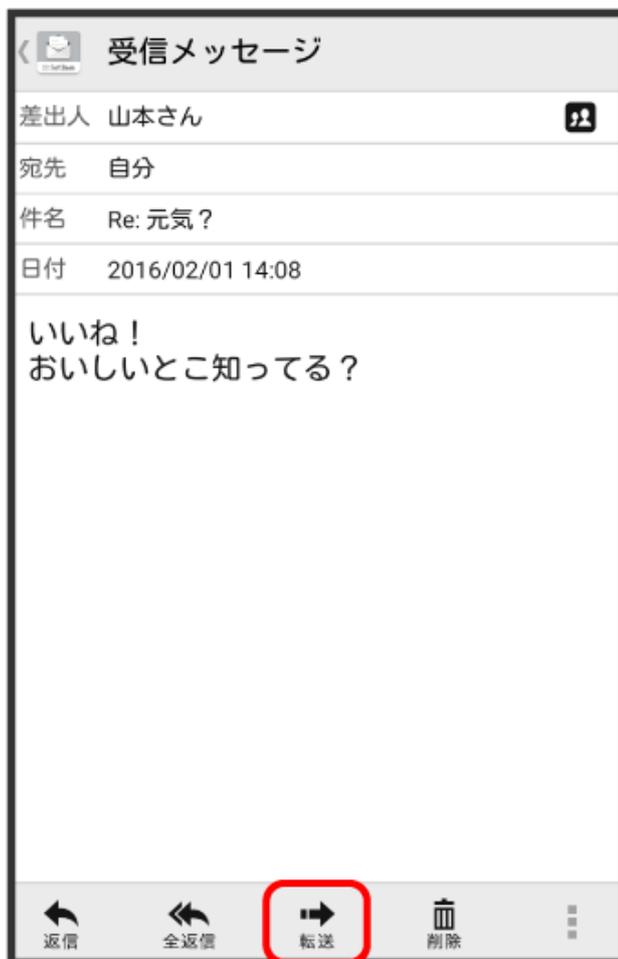


**i** メールが送信されます。

- お使いの機種によっては、送信確認画面が表示される場合があります。送信確認画面が表示されたときは、**送信**をタップしてください。

## S!メール／SMS を転送する

### 1 S!メール／SMS詳細画面で転送



- メール一覧画面で対象のメールを右にフリックして転送をタップしても、同様の操作が行えます。

2 宛先を入力 ➡ 本文を入力 ➡ 送信



**i** メールが転送されます。

- お使いの機種によっては、送信確認画面が表示される場合があります。送信確認画面が表示されたときは、**送信**をタップしてください。

## S!メール／SMS を管理する

### S!メール／SMS を確認する

- 1 ホーム画面で  (メール)



**i** フォルダ一覧画面が表示されます。

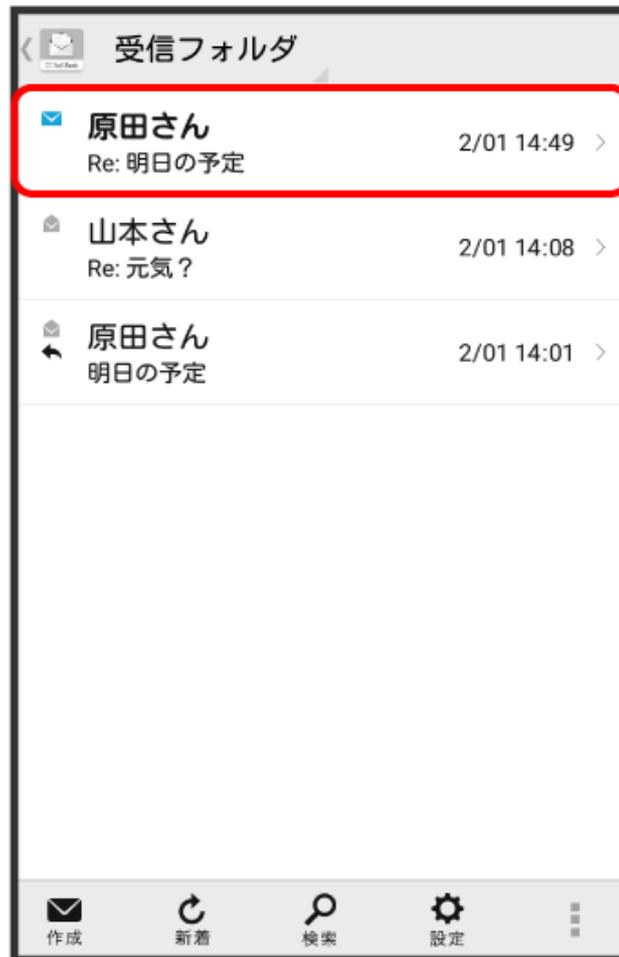
## 2 受信フォルダ／受信フォルダのサブフォルダをタップ



 S!メール／SMS一覧画面が表示されます。

- 送信したメールを確認したい場合は、**受信フォルダ**／**送信フォルダ**のサブフォルダをタップすると、送信済みのS!メール／SMS一覧画面が表示されます。
- 下書きしたメールや、未送信のメールを確認したい場合は、**下書き**／**未送信フォルダ**をタップすると、下書き／未送信のS!メール／SMS一覧画面が表示されます。

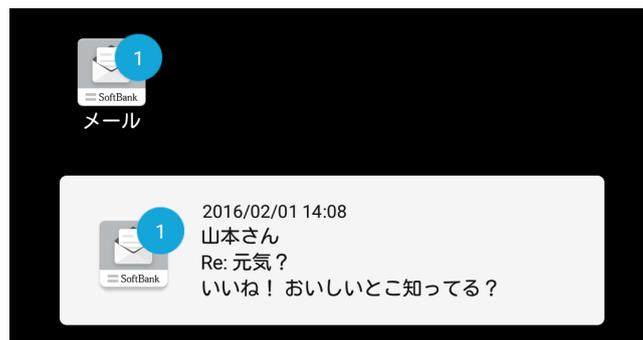
### 3 メールをタップ



 S!メール／SMS詳細画面が表示されます。

### ウィジェットについて

ウィジェットを利用すると、ホーム画面からメールの情報を確認できます。ウィジェットには簡易版(画面上部)と詳細版(画面下部)があります。簡易版では、未読メール数を確認できます。詳細版では、未読メール数に加えて最新の未読メールの日時や、本文の一部も確認できます。未読メールがない場合は、最新のメールの内容が確認できます。



## メール利用時の操作

### サーバーメールをすべて削除する

フォルダー一覧画面で → **サーバーメール操作** → **全て削除** → **削除**

### メールサーバーの容量を確認する

フォルダー一覧画面で → **サーバーメール操作** → **容量確認**

### サブフォルダを作成する

フォルダー一覧画面で → **信フォルダ作成／送信フォルダ作成** → **フォルダ名を入力** → **作成**

- 絵文字を入力するには、**絵文字**をタップします。

### サブフォルダの振り分け条件を設定する

フォルダー一覧画面でサブフォルダをロングタッチ → **振り分け** → **条件追加** → **差出人／宛先／ドメイン／件名／メールグループ** → 振り分ける差出人／ドメイン／キーワード／メールグループを入力／選択 → 画面に従って操作

- 差出人／ドメインを電話帳から選択するには、をタップします。
- 振り分け条件を削除するには、をタップします。
- **受信フォルダ／送信フォルダ**には、振り分け条件を設定できません。

### サブフォルダ名を変更する

フォルダー一覧画面でサブフォルダをロングタッチ → **編集** → **フォルダ名を入力** → **作成**

- 絵文字を入力するには、**絵文字**をタップします。
- **受信フォルダ／送信フォルダ**の名前は変更できません。

### サブフォルダの並び順を変更する

フォルダー一覧画面でフォルダをロングタッチ → **移動** → **上へ／下へ**をタップして並び順を変更 → **完了**

- **受信フォルダ／送信フォルダ**の並び順は変更できません。

### サブフォルダを削除する

フォルダー一覧画面でサブフォルダをロングタッチ → **削除** → **削除**

- フォルダ内にメールがあるときは、フォルダ内のメールを**受信フォルダ／送信フォルダ**に移動させるかどうか選択してください。
- **受信フォルダ／送信フォルダ**は削除できません。

### メールを検索する

S!メール／SMS一覧画面で**検索** → **差出人／宛先名検索／本文／件名検索** → 検索する文字を入力 → **ok** → 対象のメールをタップ

### メールを並び替える

S!メール/SMS一覧画面で   並び替え  並び替えのルールをタップ  
メールをすべて既読にする

S!メール/SMS一覧画面で   全て既読  
メールを既読にする

S!メール/SMS一覧画面で対象のメールをロングタッチ  既読

- 複数のメールを選択するときは、ロングタッチしたあとに、そのほかの対象のメールの  をタップ ( 表示)します。

前後のメールを表示する

S!メール/SMS詳細画面で左右にフリック

メールを保護する

S!メール/SMS詳細画面で   メッセージ保護

- 保護を解除するには、メッセージ保護解除をタップします。

添付ファイルを保存する

S!メール/SMS詳細画面で   保存する添付ファイルの  をタップ ( 表示  保存

S!メール/SMS一覧画面でメールを削除する

S!メール/SMS一覧画面で対象のメールをロングタッチ  削除  削除

- 対象のメールを左にフリックし、削除をタップして削除をタップしても削除できます。

- 複数のメールを選択するときは、ロングタッチしたあとに、そのほかの対象のメールの  をタップ ( 表示)します。

S!メール/SMS詳細画面でメールを削除する

S!メール/SMS詳細画面で削除  削除

S!メール/SMS一覧画面でメールを移動する

S!メール/SMS一覧画面で対象のメールをロングタッチ  振分け  移動先のフォルダをタップ

S!メール/SMS詳細画面でメールを移動する

S!メール/SMS詳細画面で   メール移動  移動先のフォルダをタップ

S!メール/SMS一覧画面で迷惑メールを申告する

S!メール/SMS一覧画面で対象のメールをロングタッチ  申告  はい

- 選択できるメールは1件のみです。

S!メール/SMS詳細画面で迷惑メールを申告する

S!メール/SMS詳細画面で   迷惑メール申告  はい

S!メール/SMS一覧画面で差出人/宛先のアドレスを一覧表示する

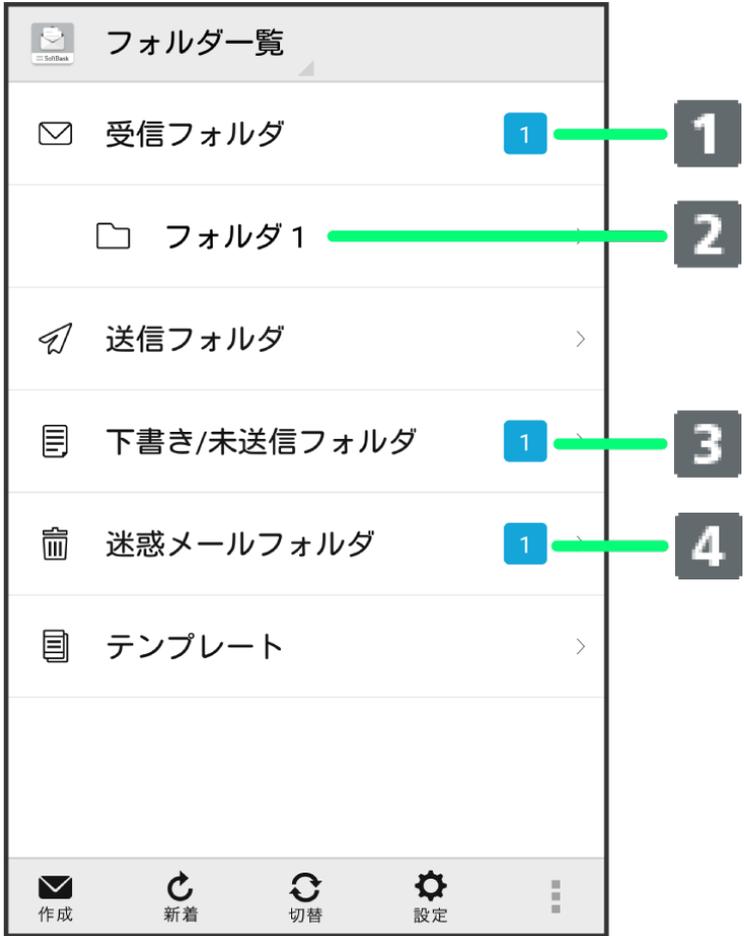
S!メール/SMS一覧画面で対象のメールをロングタッチ  一覧

- 選択できるメールは1件のみです。

S!メール/SMS詳細画面で差出人/宛先のアドレスを一覧表示する

S!メール/SMS詳細画面で 

### フォルダー一覧画面について



① 未読メール件数
② サブフォルダ
③ 下書き/未送信メール件数
④ 迷惑メール件数

アイコン	説明
	送信が失敗したメールあり

## S!メール／SMS 一覧画面について

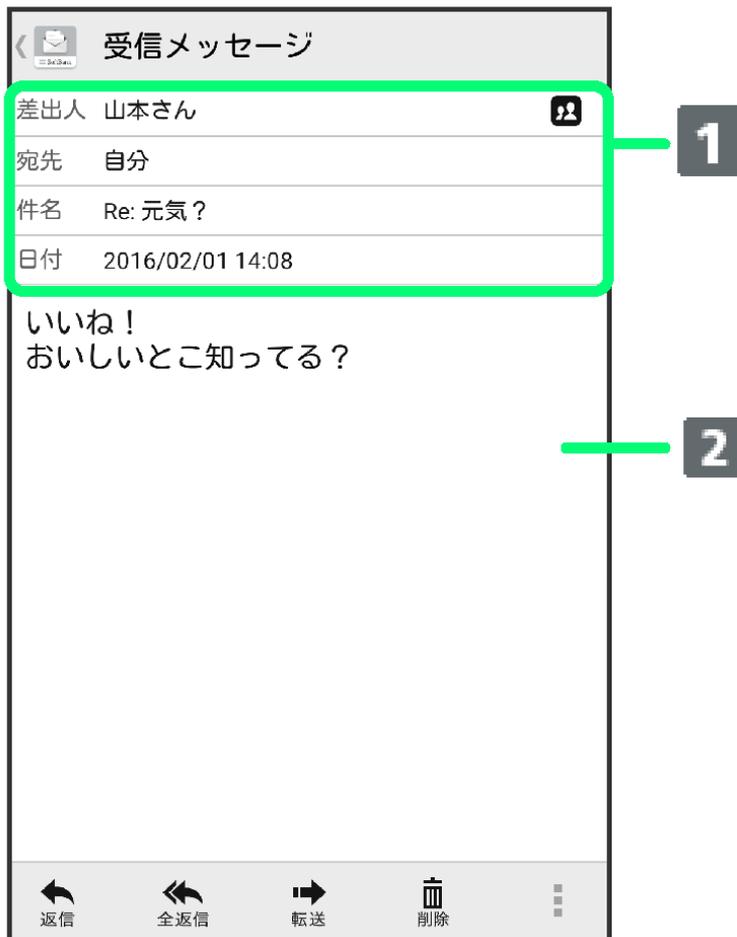


 1: 差出人／件名／送受信・保存日時など

アイコン	説明
	添付ファイルあり
	返信済み
	転送済み
	送信済み
	配信確認済み
	重要度が高い
	重要度が低い
	保護
	送信中
	送信を保留中

	送信予約中
	送信失敗
	自動再送登録中
	下書き

## S!メール/SMS 詳細画面について



-  1: 差出人／宛先／件名／送受信・保存日時など
- 2: 本文

アイコン	説明
	差出人／宛先一覧表示。タップすると差出人／宛先に含まれるアドレスを一覧表示します。
	配信確認済み。タップするとレポートが表示されます。送信済みメールの場合に表示されます。
	添付ファイルあり。タップすると添付ファイルが保存できます。

## S!メール/SMS データをバックアップする

本体のメールデータをSDカードなどにバックアップします。

- 本体に保存されているメールデータや、サブフォルダ、振り分け条件をバックアップします。メールデータを1件ずつ選択してバックアップすることはできません。
- お使いの機種が本体メモリに対応している場合は、本体メモリにバックアップされます。

1 ホーム画面で  (メール)  設定



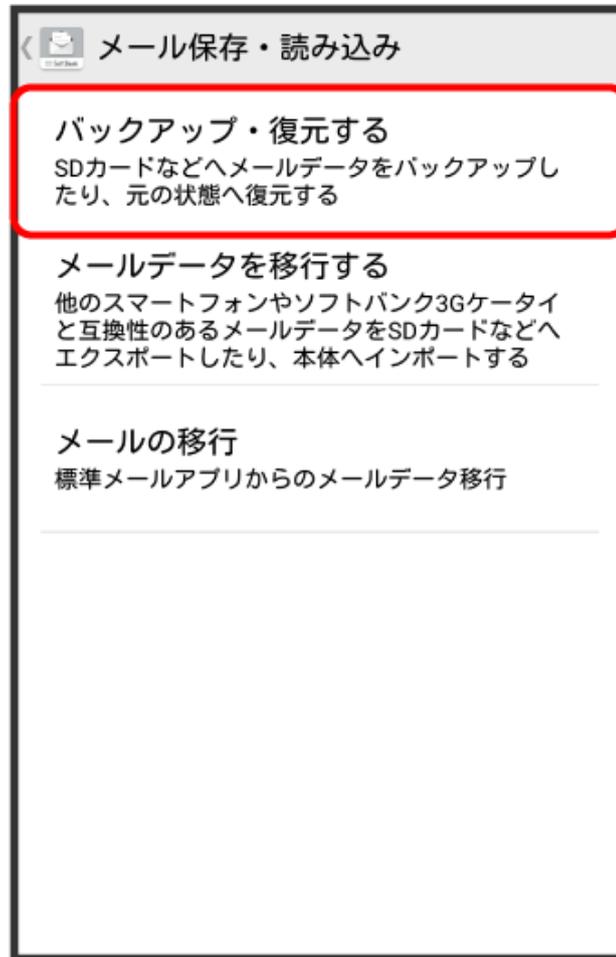
2 共通設定。



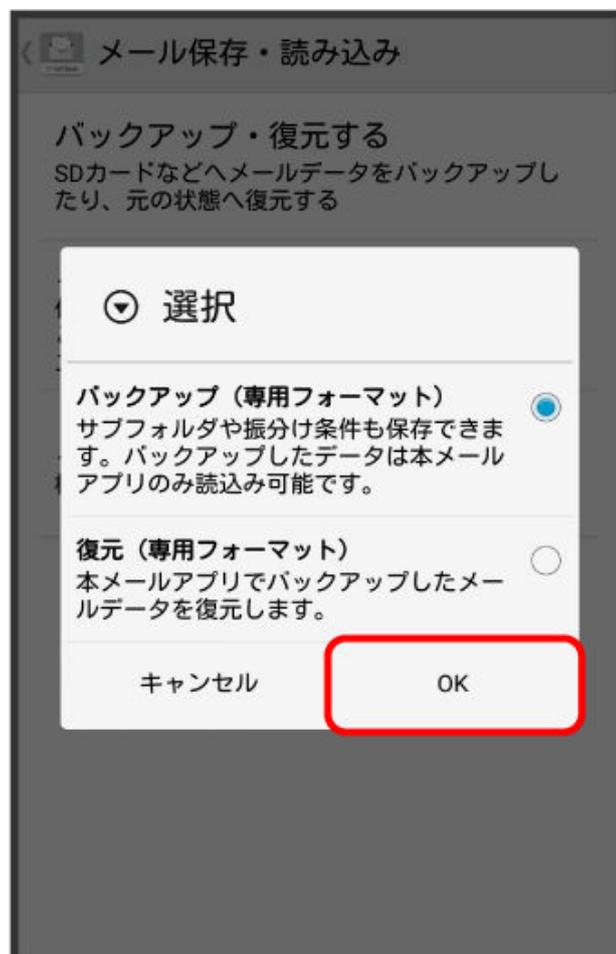
### 3 メール保存・読み込み。



### 4 バックアップ・復元する



## 5 バックアップ(専用フォーマット) → OK



6 OK → 機内モード(  表示) → 



 バックアップが開始されます。

7 OK → 機内モード(  表示) → 



 バックアップが完了します。

## S!メール／SMS データを復元する

SDカードなどにバックアップしたメールデータを本体に復元します。

お使いの機種が本体メモリに対応している場合は、本体メモリから復元されます。

1 ホーム画面で  (メール)  設定



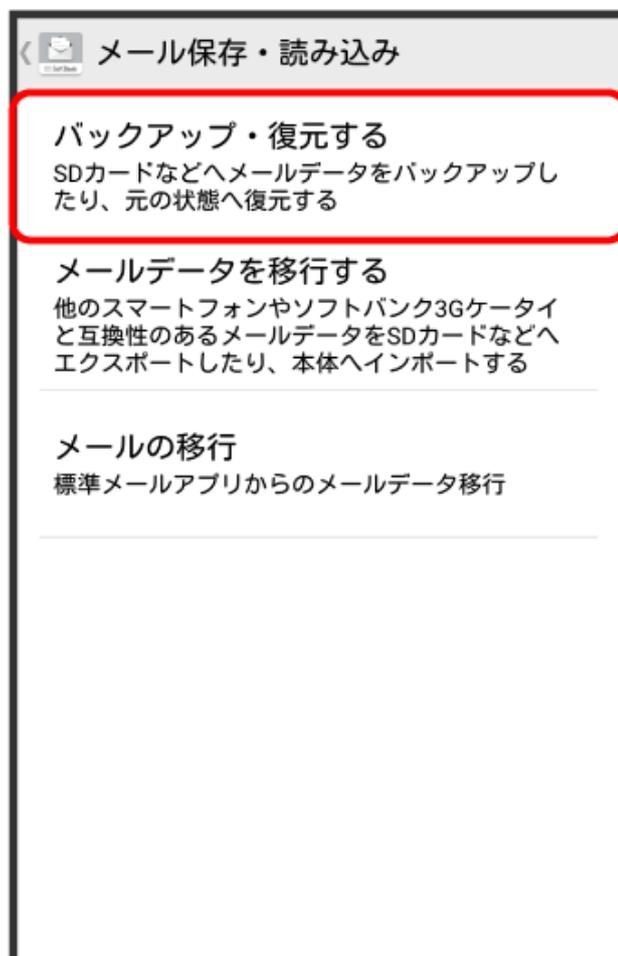
## 2 共通設定。



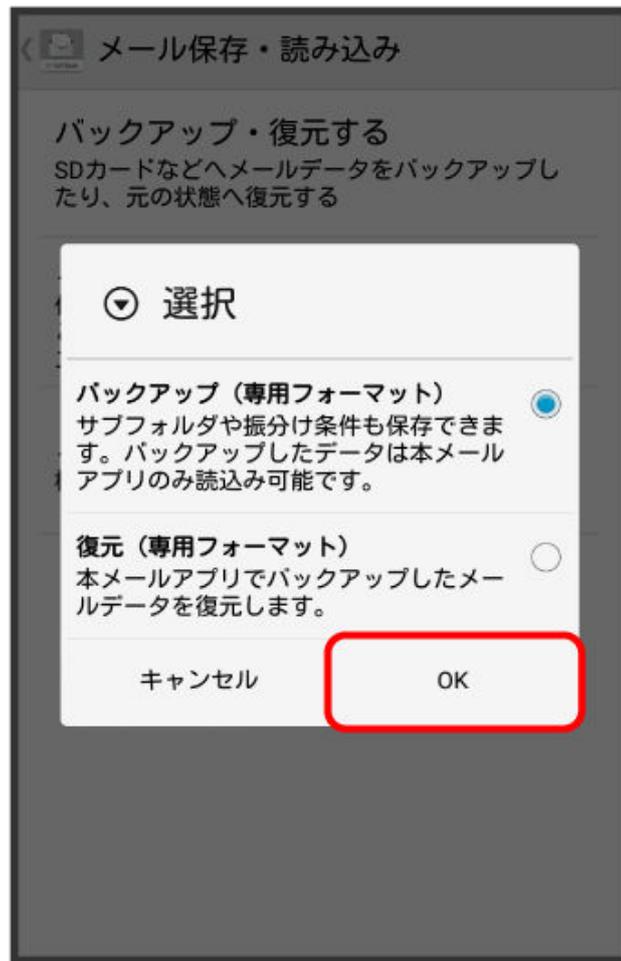
## 3 メール保存・読み込み。



#### 4 バックアップ・復元する



#### 5 バックアップ(専用フォーマット) → OK



6 OK → 機内モード(  表示) → ↩



 バックアップが開始されます。

7 対象のファイルをタップ  OK



 復元が開始されます。

8 OK  機内モード( 表示)  



 復元が完了します。

## S!メール／SMS データを移行する(エクスポート)

本体のメールデータをvMessage形式でSDカードなどにエクスポートします。vMessage形式は、ほかのスマートフォンやソフトバンク携帯電話(3G)と互換性があります。

- 本体に保存されている受信メールデータ／送信メールデータ／下書き／未送信メールデータごとにエクスポートします。メールデータを1件ずつ選択して保存することはできません。
- お使いの機種が本体メモリに対応している場合は、本体メモリにエクスポートされます。
- あらかじめ、「あんしんバックアップ」アプリケーションをインストールしておいてください。

1 ホーム画面で  (メール)  設定



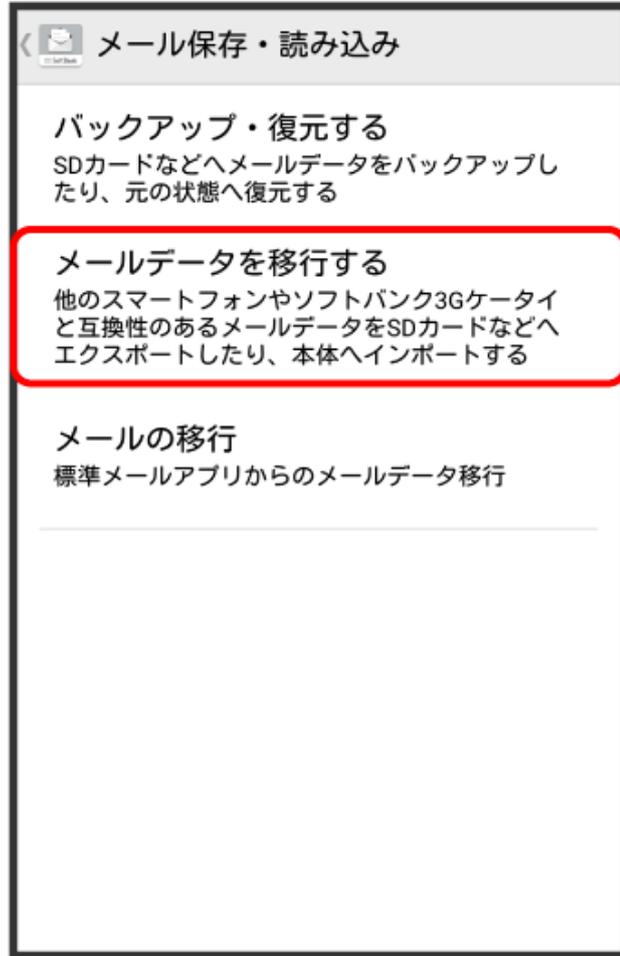
## 2 共通設定



### 3 メール保存・読み込み



### 4 メールデータを移行する



5 エクスポート(vMessage) → OK



- アプリケーションのダウンロードや、ご利用規約などの確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

## 6 メールの種類をタップ 実行

- エクスポートが開始されます。

## 7 OK

- エクスポートが完了します。

### メールデータのエクスポートについて

#### メールデータのエクスポート時に使用される場所について(SDカードのみ対応機種)

お使いの機種がSDカードのみに対応している場合、メールデータをエクスポートするときは、次の場所に対して保存が行われます。また、お使いの機種が本体メモリとSDカード両方に対応している場合も、同様の場所に対して保存が行われます。

- 受信メールデータの場合：/sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Inbox/Inbox.BCK
- 送信メールデータの場合：/sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Sent Messages/Sent Messages.BCK
- 下書き／未送信メールデータの場合：/sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Drafts/Drafts.BCK

#### メールデータのエクスポート時に使用される場所について(本体メモリ対応機種)

お使いの機種が本体メモリに対応している場合、メールデータをエクスポートするときは、本体メモリの次の場所に対して保存が行われます。

- 受信メールデータの場合：private/MYFOLDER/Mail/Inbox/Inbox.BCK
- 送信メールデータの場合：private/MYFOLDER/Mail/Sent Messages/Sent Messages.BCK
- 下書き／未送信メールデータの場合：private/MYFOLDER/Mail/Drafts/Drafts.BCK

#### エクスポートしたデータのファイル名について

エクスポートしたデータのファイル名は、SDカード／本体メモリへの保存年月日になります。たとえば、2016年3月1日に保存されたメールデータは、「16030100.vmg」となります。同じ日に複数のファイルを保存した場合は「16030101.vmg」となり、下2桁の数字が増えていきます。また、本機の時計が未設定の場合は、「XXXXXX.vmg」となります。

### S!メール／SMS データを移行する(インポート)

SDカードなどにエクスポートしたvMessage形式のメールデータを、本体にインポートします。

- これまでお使いの携帯電話などのデータをインポートする場合は、あらかじめ、インポートしたいデータをSDカードなどに保存しておいてください。
- お使いの機種が本体メモリに対応している場合は、本体メモリからインポートされます。

## 1 ホーム画面で (メール) 設定



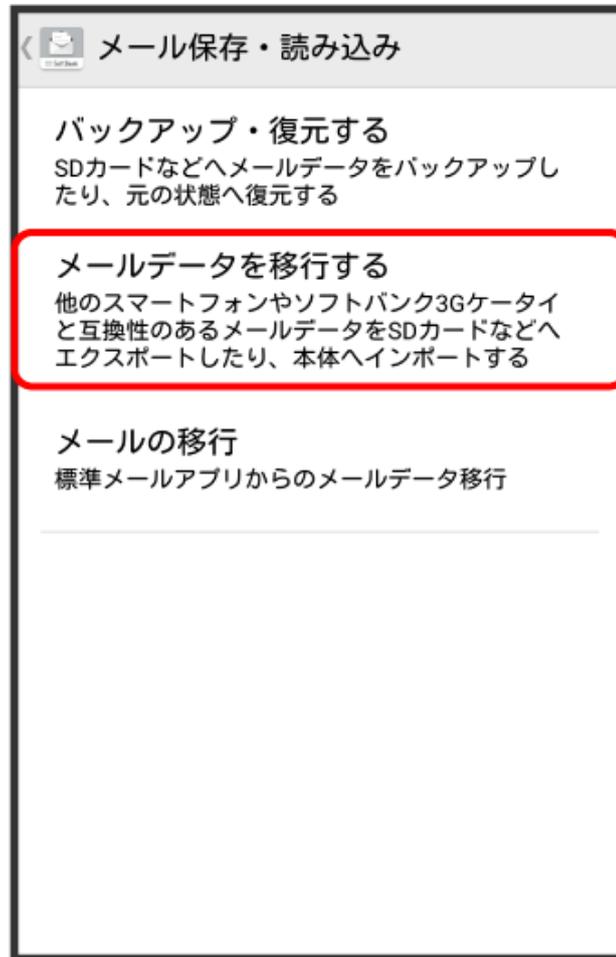
## 2 共通設定



### 3 メール保存・読み込み



### 4 メールデータを移行する



## 5 エクスポート(vMessage) → OK



## 6 メールの種類をタップ → OK



## 7 OK → 機内モード(表示) → ↩



8 対象のファイルをタップ ➡ OK



 インポートが開始されます。

9 OK  機内モード( 表示)  



 インポートが完了します。

### メールデータのインポートについて

#### メールデータのインポート時に使用される場所について(SDカードのみ対応機種)

お使いの機種がSDカードのみに対応している場合、メールデータをインポートするときは、次の場所に対して読み込みが行われます。また、お使いの機種が本体メモリとSDカード両方に対応している場合も、同様の場所に対して読み込みが行われます。

- 受信メールデータの場合 : /sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Inbox/Inbox.BCK
- 送信メールデータの場合 : /sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Sent Messages/Sent Messages.BCK
- 下書き／未送信メールデータの場合 : /sdcard/private/MYFOLDER/Mail/Drafts/Drafts.BCK

#### メールデータのインポート時に使用される場所について(本体メモリ対応機種)

お使いの機種が本体メモリに対応している場合、メールデータをエクスポートするときは、本体メモリの次の場所に対して保存が行われます。

- 受信メールデータの場合 : private/MYFOLDER/Mail/Inbox/Inbox.BCK
- 送信メールデータの場合 : private/MYFOLDER/Mail/Sent Messages/Sent Messages.BCK
- 下書き／未送信メールデータの場合 : private/MYFOLDER/Mail/Drafts/Drafts.BCK

#### セキュリティ設定を行ったメールデータのインポートについて

これまでお使いの携帯電話の機能で、シークレットモードなど、第三者にデータを見せない設定を行っていた場合でも、本アプリケーションではインポートを行います。また、インポートしたデータは閲覧することもできます。

### インポートできないメールデータについて

これまでお使いの携帯電話で暗号化してメールデータをバックアップした場合、本アプリケーションではインポートできません。

## S!メール／SMS 作成時の操作

メールの送信、返転時に使用できる機能ついて説明します。

### ファイルを添付する

#### 1 S!メール作成中に



- 2 ファイルの種類をタップ  画面に従ってファイルを添付  
 ファイルが添付されます。

### 日時を指定して送信する

指定した日時に自動的に送信されるメールを作成できます。

- 1 宛先／件名／本文を入力したら   送信予約



## 2 送信する日付を設定 設定



### 3 送信する時刻を設定 設定



### 4 OK



 下書きフォルダに保存され、設定した日時になると自動で送信されます。

## 絵文字を入力する

### 1 件名／本文入力中に絵文字



### 2 絵文字をタップ



**i** 絵文字が入力されます。

- 本文入力中の場合、**マイ絵文字**をタップするとマイ絵文字が選択できます。
- **マイ絵文字**タブの  をタップすると、SDカード／本体メモリに保存されているマイ絵文字を選択できます。

## プレビューを表示する

作成したS!メール／SMSがどのように表示されるか確認できます。

S!メール／SMS作成中に   **プレビュー**



**i** プレビューが表示されます。

## 重要度を設定する

指定した日時に自動的に送信されるメールを作成できます。

1 S!メール作成中に   重要度設定



## 2 重要度をタップ → OK



 重要度が設定されます。

## 配信確認を要求する

1 S!メール/SMS作成中に   配信確認



2 送信したメッセージの配信確認を要求( 表示)  OK

 配信確認を要求するように設定されます。

## メールを削除する

作成中のメールを、下書きとして保存せずに削除します。

1 S!メール/SMS作成中に   削除



## 2 削除

 メールが削除されます。

## S!メールに切り替える

SMS/S!メール自動切替を無効に設定しているときに利用できます。詳しくは、[共通設定](#)を参照してください。

1 SMS作成中に   S!メール切替



## 2 OK

 S!メールに切り替わります。

## SMS に切り替える

SMS/S!メール自動切替を無効に設定しているときに利用できます。詳しくは、[共通設定](#)を参照してください。

1 S!メール作成中に   SMS切替



## 2 OK

 SMSに切り替わります。

## S!メール／SMS 設定

S!メール／SMSに関する設定を行います。

### 共通設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
新着通知設定	新着メール受信時、通知に表示する項目を設定します。
着信音／バイブレーション	新着メール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプなどを設定します。
スレッドモード	メールを会話スレッド形式で表示するかどうかを設定します。
画面着せ替え	画面のデザインを設定します。
文字サイズ変更	フォントサイズを設定します。
SMS／S!メール自動切替	送信時に、自動でS!メール／SMSを切り替えるかどうかを設定します。

下書き保存設定	メール作成中にキャンセルしたときに、自動で下書きを保存するかどうかを設定します。
件名欄を表示	スレッドモード時に、件名入力欄を表示するかどうかを設定します。
画像の倍角表示	小さい画像を自動で倍角表示します。
マイ絵文字設定	マイ絵文字の表示順を変更したり、削除します。
デコレメピクチャ設定	デコレメピクチャの表示順を変更したり、削除します。
広告表示設定	S!メール/SMS詳細画面に広告を表示するかどうかを設定します。
メール保存・読み込み	メールデータをバックアップ／復元したり、メールデータをvMessage形式でエクスポート／インポートします。vMessage形式は、ほかのスマートフォンやソフトバンク携帯電話(3G)と互換性があります。
迷惑メール設定	電話帳に登録していない差出人から受信したメールを、迷惑メールフォルダに振り分けるかどうかを設定します。
初期化	メール設定をお買い上げ時の状態に戻します。
詳細設定	古いメールを自動的に削除するかどうかを設定したり、保存するメールの件数を設定します。また、SDカードと本体メモリの保存領域の確認もできます。

## 1 ホーム画面で (メール) 設定



## 2 共通設定 各項目を設定



 設定が反映されます。

### 送受信設定

設定できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
受信設定	S!メール/SMS受信時の設定を行います。S!メールの一部を受信するとき、受信する内容を設定したり、S!メール起動時に自動で新着メールの確認をするかどうかを設定します。
送信設定	S!メール/SMS送信時の設定を行います。S!メール返信時にメールの内容を引用するかどうかを設定したり、S!メール/SMS送信時に配信確認を要求するかどうか、確認画面を表示するかどうかなどを設定できます。
Wi-Fi接続設定	Wi-Fi接続でS!メールを送受信するための設定を行います。
SMS送受信設定	SMSの送受信時に使うアプリを設定します。
送受信ステータス表示	バックグラウンドで送受信するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で  (メール)  設定



## 2 共通設定 → 各項目を設定



 設定が反映されます。

## メールグループ設定

1 ホーム画面で  (メール)  設定



2 メールグループ設定



**i** メールグループ設定画面が表示されます。

## メールグループ設定時の操作

### メールグループを追加する

メールグループ設定画面で**グループ追加** ➡ グループ名を入力 ➡ OK

- 絵文字を入力するには、**絵文字**をタップします

### グループにメンバーを追加する

メールグループ設定画面で対象のグループをタップ ➡ **メンバー追加** ➡ **電話帳／送信履歴／受信履歴／直接入力** ➡ 追加したい連絡先を選択／入力 ➡ OK

- 絵文字を入力するには、**絵文字**をタップします

### グループ名を編集する

メールグループ設定画面で対象のグループをロングタッチ ➡ **グループ名を編集** ➡ OK

- 絵文字を入力するには、**絵文字**をタップします

### グループを削除する

メールグループ設定画面で対象のグループの **✕** ➡ **削除**

### メンバーを削除する

メールグループ設定画面でグループをタップ ➡ 対象のメンバーの **✕** ➡ **削除**

## 電話番号・メールアドレス設定

設定・確認できる項目は次のとおりです。

項目	詳細
電話番号	電話番号が表示されます。
メールアドレス	メールアドレスが表示されます。
My SoftBankへ移動	My SoftBankへ移動し、メールアドレスの変更などができます。

### 1 ホーム画面で (メール) 設定



### 2 電話番号・メールアドレス 各項目を設定

電話番号・メールアドレス

電話番号  
XXXXXXXXXXXX

---

メールアドレス  
XXXXXXX@XXX

---

**My SoftBankへ移動**  
My SoftBank (Webページ) から、メールアドレスの変更やメールアドレスの確認メールを受信、迷惑メールブロックの設定を行う。

 設定が反映されます。

# カメラ

## 基本的なカメラ機能

### カメラの基本機能を使用する

カメラの基本機能を覚えて写真をキレイに撮りましょう。



**基本撮影モード:** 写真を撮影するには、 **カメラ** を開き、ビューファインダーで  をタップします。また、音量ダウンボタンをカメラのシャッターボタンとして使用するように設定することもできます。

**撮影モードの選択:** ビューファインダーで右にスワイプすると、撮影モード画面になります。この画面では、必要に応じて撮影モードを変更できます。

**ズームイン/ズームアウト:** ビューファインダーで、2本の指で画面に触れてピンチインするとズームイン、ピンチアウトするとズームアウトできます。カメラのズーム制限を超えてズームインすると、画質が低下します。2本の指で画面に触れてズームインまたはズームアウトすると、画面の横にズームバーが表示されます。このズームバーでズームイン/ズームアウトすることもできます。

**カメラの露出調整:** 周囲の明るさに応じてカメラの露出が自動的に調整されます。露出を増やすと画像が明るくなり、露出を減らすと画像が暗くなります。ビューファインダーで露出を手動で調整するには、画面をタップし、 アイコンを上下にドラッグします。

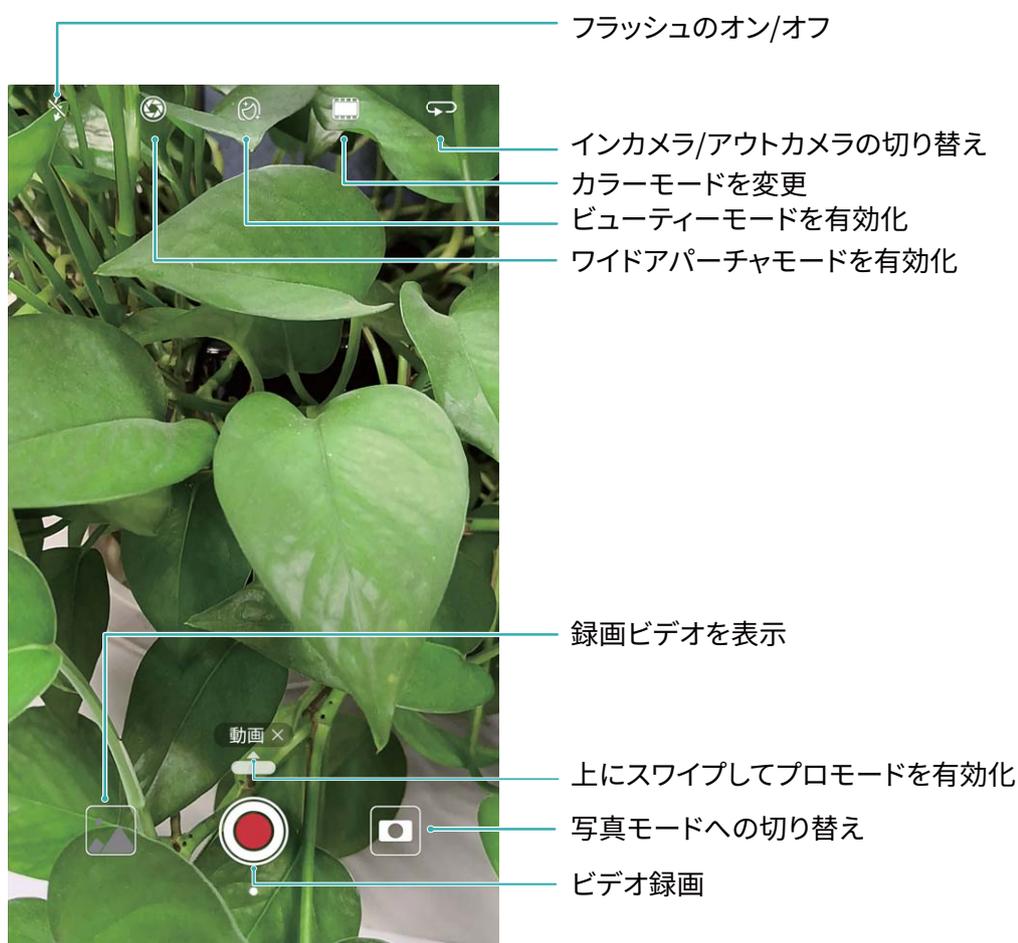
**フラッシュをオン/オフにする:**フラッシュは、暗所での撮影で明るくしたいときに使用します。ビューファインダーで  をタップし、次のいずれかのフラッシュモードを選択します。

-  オート: 周囲の明るさに応じてフラッシュが自動的にオン/オフになります。
-  OFF: フラッシュをオフにします。
-  ON: フラッシュをオンにします。
-  常時ON: ビューファインダーになっている場合は、フラッシュが常にオンになります。

**位置情報を有効にする:** 写真を撮影するときに位置情報を記録すると、位置情報に基づいて写真を検索できます。ビューファインダーで、左にスワイプして設定メニューを開き、**GPSタグ** を有効にします。

## カメラでのビデオ録画

写真撮影の他に、カメラを使用して音声付きHDビデオを撮影できます。



**ビデオの録画:**  カメラ を開いて  をタップし、ビデオモードに切り替えます。  をタップしてビデオ録画を開始します。

**ビデオ録画中の写真撮影:** ビデオの録画中に写真を撮影するには、 をタップします。

**フラッシュをオンにする:** 暗所でビデオを録画するときにフラッシュをオンにするには、 をタップして  を選択します。

## カメラ設定の調整

カメラの設定ページでは、必要に応じてさまざまなカメラ設定を調整できます。

**ビューファインダーをタップして撮影する:**  **カメラ** を開いて左にスワイプし、**設定** を開いて **タップして撮影** をオンにします。これにより、ビューファインダー内の被写体をタップすると、自動的にピントを合わせて写真が撮影されます。

**自動的に笑顔を撮影する:** **設定** で **スマイルキャプチャ** をオンにします。ビューファインダー内で笑顔が検出されると、自動的に写真が撮影されます。

**焦点距離のロック:** **設定** で **シャッターボタンを長押し** をタップし、**焦点距離を固定** を選択します。これにより、シャッターボタンを長押ししてもオートフォーカスが適用されなくなります。

**音量ボタンを使用した撮影、ピント合わせ、ズームイン/ズームアウト:** **設定** で **音量ボタンの機能** をタップし、必要に応じて **シャッター**、**ズーム**、**フォーカス** のいずれかのモードを選択します。

**RAW形式での写真の保存:** RAW形式の写真には、カメラレンズから得られるすべてのデータが記録されるため、高画質の写真を撮影でき、細かい編集と後処理が可能になります。プロカメラモードで、画面を左にスワイプして **設定** を表示し、次に **RAW形式** を有効にします。これにより、撮影した写真が標準画像形式とRAW形式の両方で **ギャラリー** の専用フォルダに保存されます。

 RAW形式の写真は、標準形式の写真よりも保存ファイルサイズが大きくなります。十分な空き容量があることを確認してください。

## 構図を決めるのに役立つ補助グリッドを使用する

写真で被写体をどこに配置すべきかわからない場合は、補助グリッド機能を使用すると構図が改善されることがあります。

補助グリッドを選択するには、 **カメラ** を開き、ビューファインダーで左にスワイプして **設定** 画面を開きます。**カメラグリッド** をタップしてグリッドタイプを選択します。

**三分割法:** **グリッド** または **ファイグリッド** グリッドを選択します。4本のグリッド線が交差する点が写真の焦点です。いずれかの焦点に被写体を合わせると、魅力的な構図になります。



黄金スパイラル: フィボナッチスパイラル(左) または フィボナッチスパイラル(右) グリッドを選択します。らせんの中心が写真の焦点になります。被写体をこの焦点に配置すると、写真が自然な流れに沿っているように見えます。



## ワイドアパーチャ

### ワイドアパーチャモード: 被写体の強調

たくさんの花の中でシャクヤクの花だけを目立たせたい、群衆の中で被写体だけを強調したい、暗い場所で明るさを上げたい。そんなときにはワイドアパーチャモードを有効にすれば、背景をぼかしたり、被写体を強調したり、暗所でも鮮明な写真を撮影したりできます。

- **ほんの一瞬を切り取るクイックフォーカス:** ワイドアパーチャモードを使用すると、ピント合わせの遅れや手ぶれによるぼけを防ぎながら、移動中でも一瞬の出来事を素早くとらえることができます。
- **背景をぼかして被写体を強調:** 群衆の中で被写体を引き立たせるのは難しいものです。ワイドアパーチャモードを有効にして背景をぼかすと、人ごみの中でも容易に被写体を際立たせることができます。
- **夜でも簡単に瞬間を撮影:** 夜や暗い場所では写真がぼけがちです。ワイドアパーチャモードを有効にして、レンズから取り込む光の量を増やし、写真の明るさをカスタマイズすると、暗い中でも鮮明な瞬間を撮影できます。



### ワイドアパーチャモード:被写体の強調

ワイドアパーチャモードを使用すると、被写界深度が浅くなります。これにより、背景がぼけて被写体により強調されます。

**ワイドアパーチャ写真の撮影:**  カメラを開きます。画面上部の  アイコンをタップしてワイドアパーチャモードを有効にします。再度  アイコンをタップするとワイドアパーチャモードが終了します。アイコンが表示されない場合、画面を右にスワイプして **写真** を選択します。撮影時は画面をタップして焦点を設定してから  をタップして撮影します。

-  仕上りをよくするために、中心の被写体がカメラから2m以内にあることを確認してください。
-  をタップし、スライダーを左右にスワイプして、アパーチャレベルを調整します。アパーチャの値が小さければ小さいほど、背景のボケ味が強くなります。

**ワイドアパーチャ写真の編集:** **ギャラリー** を開いて  アイコンの付いた写真をタップします。  をタップして焦点とアパーチャの値を変更します。  をタップして写真を保存します。

## パノラマ

### パノラマを使用したパノラマセルフィーの撮影

パノラマを使用すると、広い画角でセルフィーを撮影できます。

- 1 パノラマセルフィーを撮影するには、 **カメラ** を開いて  をタップし、インカメラに切り替えます。
- 2 画面を右にスワイプして **パノラマ** をタップします。
- 3 端末をしっかりと持ち、 をタップして1枚目の写真を撮影します。
- 4 画面の指示に従って端末を一方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。もう1枚の写真が自動的に撮影されます。
- 5 画面の指示に従って端末を逆方向に回し、青色のフレームが正方形のスクリーンフレームに重なったら止めます。最後の写真が自動的に撮影されます。
- 6 操作が完了すると、3枚の写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のワイドアングルセルフィーになります。

## パノラマ:ワイドアングルで風景を撮影する

パノラマは普通の写真よりも画角が広いので、風景の全体を収めた写真を撮影できます。

パノラマ撮影では、カメラが視界内の被写体の写真を複数撮影し、これらの写真をつなぎ合わせて1枚の写真を作成します。

-  **パノラマ** 写真を撮影するときには、被写体からある程度距離を置き、広く開放的な空間で撮影し、単色の背景はできるだけ避けてください。

 **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして **パノラマ** をタップします。パノラマモードで、画面上部にある  をタップし、撮影方向を設定します。

端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。端末をしっかりと持ち、矢印が中央の線と水平になるようにして、示されている方向に端末をゆっくりと動かします。終了したら、 をタップします。写真が自動的につなぎ合わされ、1枚のパノラマ写真になります。



## 3D パノラマ

### 3D パノラマ:動きのある 3D 写真を撮影する

3Dパノラマを使用すると、臨場感のあるパノラマ写真になります。端末を傾げるか、写真をドラッグすると、3D効果が適用されます。

3Dパノラマは、端末にプリインストールされているカメラモードです。3Dパノラマを使用することで、被写体、人物、風景を動きのあるパノラマ写真に収めることができます。

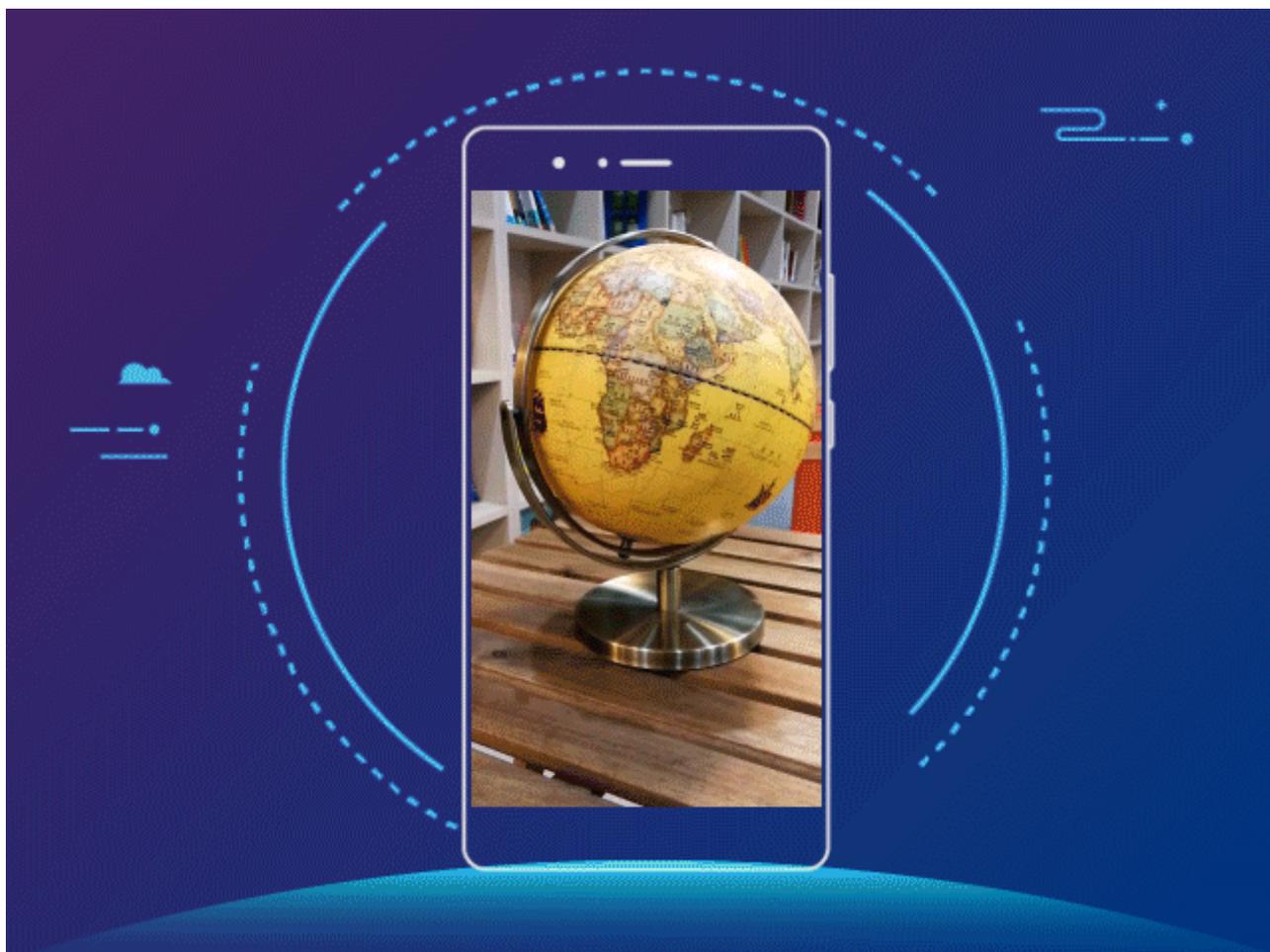


### 3Dパノラマを使用した360度撮影

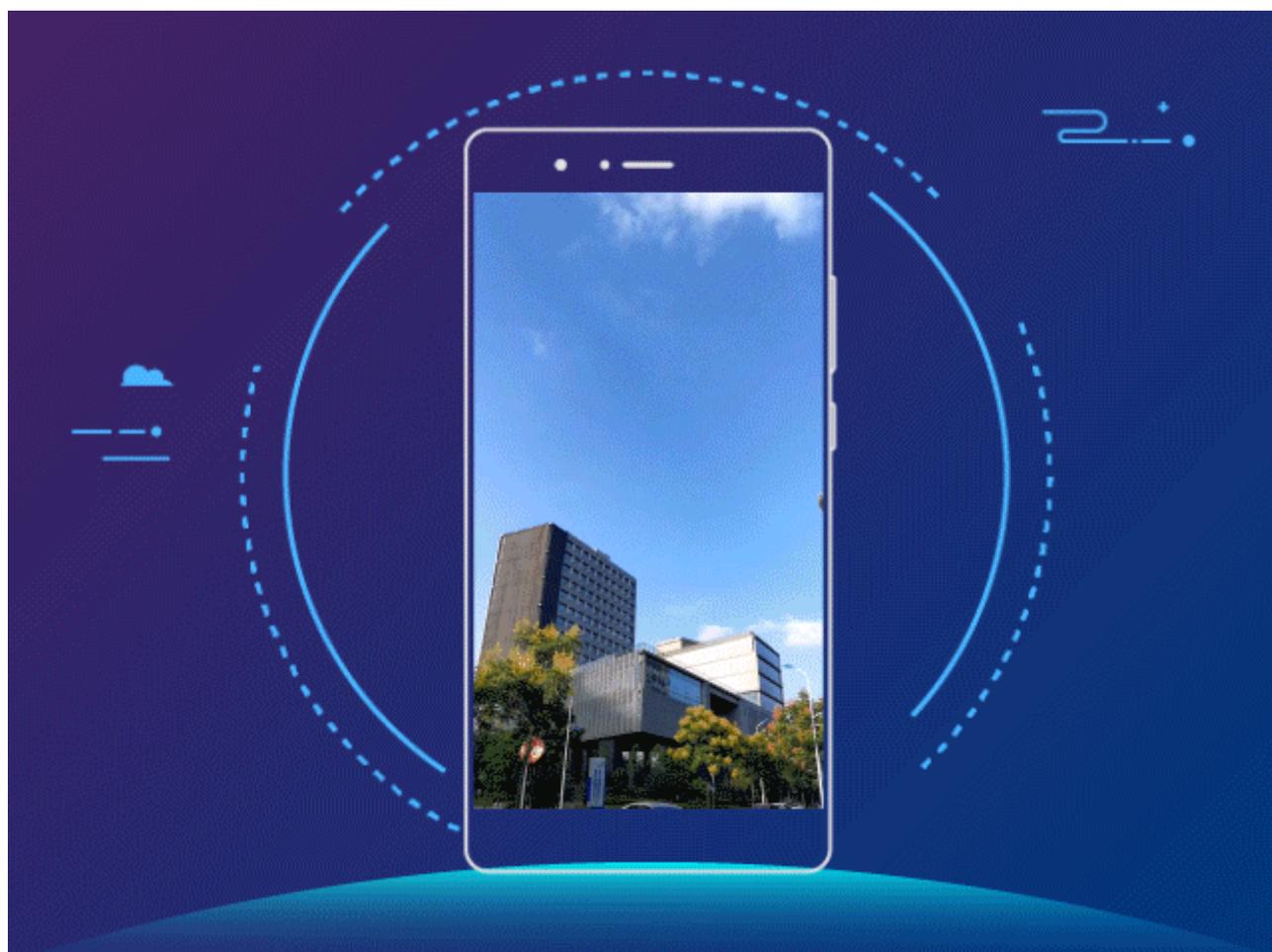
3Dパノラマ機能を使用して、風景や人物を360度の視点で撮影してみましょう。

3Dパノラマ機能には次の3種類の撮影モードがあります。

- **被写体の撮影:**  カメラを開いて右にスワイプし、3Dパノラマをタップします。 を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには  を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、写真の上にある **3D** をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。



- **風景の撮影:**  カメラを開いて右にスワイプし、3Dパノラマをタップします。◎を長押しし、画面の指示に従って、端末を被写体に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには◎を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、撮影した写真の上にある3Dをタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。



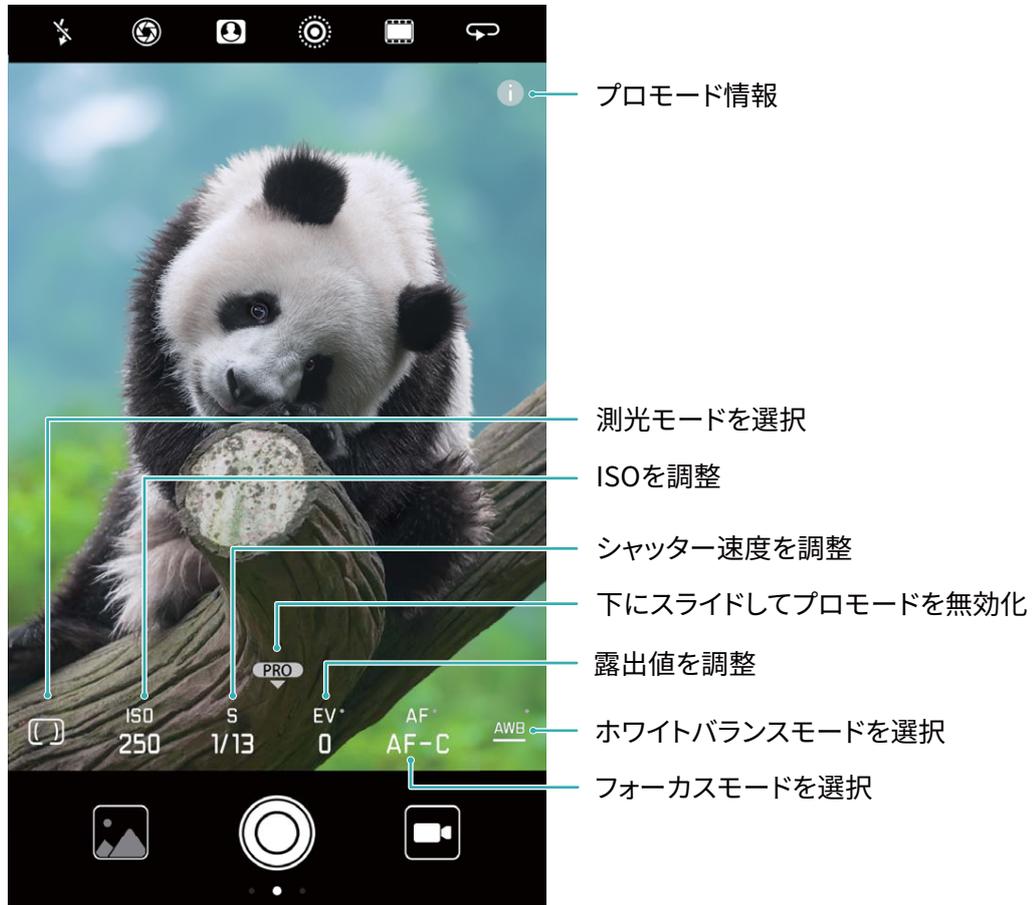
- **セルフィーの撮影:** カメラを開き、🔄 をタップしてインカメラに切り替え、右にスワイプして 3Dパノラマをタップします。📍 を長押しし、画面の指示に従って、端末を自分に対して弧を描くように一方向にゆっくりと動かします。撮影を停止するには 📍 を離します。撮影後に、カメラのサムネイルをタップし、撮影した写真の上にある 3D をタップすると、3Dパノラマ写真が作成されます。
- ⓘ **ビューティーモードの有効化:** 3Dパノラマで 📷 をタップしてビューティーモードを有効にし、次に 📷 をタップし、スライダーを左右にドラッグしてビューティーレベルを選択します。3Dパノラマの作成後に、端末を傾げるか写真をドラッグすると、3D効果を確認できます。

## プロモード

### プロカメラモード:カメラで自分を表現

プロカメラモードでは、露出やシャッター速度などのさまざまな設定を調整でき、カメラを自分で操作できます。

プロカメラモードは、端末にプリインストールされているカメラモードです。プロカメラモードでは、カメラのさまざまなパラメータを調節して、プロが使うカメラのような写真やビデオを撮影できます。



## プロカメラモードで風景写真を撮る

プロカメラモードでは、カメラ設定をカスタマイズし、素敵な風景写真を撮影できます。

**カメラ** を開き、ビューファインダーの で上にスワイプし、プロカメラモードを有効にします。

**測光モード**: プロカメラモードで をタップします。シーンに合わせて適切な測光モードを選択します。

測光モード	シーン
マトリックス	広大な風景(海岸、山)
中央	中央の被写体が背景から離れている写真
スポット	際立たせたい被写体(花や木など)が写っている写真

## 明るさの設定

- **ISO**: プロカメラモードで **ISO** をタップし、ISOスライダーを横にスライドして値を変更します。
  - 過剰なノイズを防ぐため、ISO 400以下の設定をお勧めします。日中の撮影ではISOを100~200に設定し、夜間撮影では約400に設定します。
- **シャッター速度**: プロカメラモードで **S** をタップし、スライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。
  - 動きのないシーン(山など)では、シャッター速度として1/80~1/125をお勧めします。動きのあるシーン(波など)では、三脚に端末を取り付け、遅いシャッター速度(1秒未満)を使用することをお勧めします。

- **露出補正**:プロカメラモードで **EV** をタップし、EVスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

**ホワイトバランス**:プロカメラモードで **AWB** をタップし、AWBスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

- **i** 直射日光が当たる場所で撮影する場合は ☀ を選択し、暗所や曇りの場合は ☁ を選択します。
- 色温度を変更するには、🌡️ を選択します。写真を暖色トーンやレトロな雰囲気にするには、K値を大きく設定します。寒色の光や静寂な雰囲気にするには、K値を小さく設定します。

**フォーカス**:プロカメラモードで **AF** をタップし、AFスライダーをドラッグして、使用する値をハイライト表示します。

焦点モード	シーン
AF-S	動きのないシーン(山など)
AF-C	動きのあるシーン(波など)
MF	際立たせる被写体(花など)

**端末を水平に保つ**:プロカメラモードで、ビューファインダーを左にスワイプして **水準器** を有効にします。この機能では、ビューファインダーに水準器が表示されます。点線が実線と並んでいることを確認します。この場合には、端末が水平になっています。

**RAWファイルの保存**:プロカメラモードで、ビューファインダーを左にスワイプして **RAW形式** を有効にします。写真がRAW形式とJPEG形式の両方で保存されます。

- **i** プロカメラモードでは、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。
- 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。



## プロカメラモードでポートレートを撮る

プロカメラモードでは、カメラ設定をカスタマイズし、自分独自のポートレートを撮影できます。

 カメラを開き、ビューファインダーの  で上にスワイプし、プロカメラモードを有効にします。

測光モード: 人物を撮影する場合は、 または  を選択し、被写体を写真中央に配置します。

### 明るさの設定

- **ISO**: 人物を撮影する場合は、過剰なノイズを防ぐため、ISOを低く設定することをお勧めします。混合光の場合、設定を試してみて適切なISO設定を選択します。

シーン	推奨ISO値
屋外	100～200
屋内	400
夜間	400～800

- **シャッター速度**: 暗所ではシャッター速度を遅くし、十分な明るさのある場所ではシャッター速度を速くします。動きのない被写体の場合はシャッター速度として1/80～1/125を使用し、動きのある被写体の場合は1/125以上のシャッター速度を使用します。

- **露出補正**: 被写体と背景が暗すぎる場合はEV値を大きくし、明るすぎる場合はEV値を小さくします。

**ホワイトバランス**: 撮影シーンに適したホワイトバランスモードを選択します。直射日光が当たる場所で撮影する場合は  を選択し、暗所や曇りの場合は  を選択します。

**フォーカス:**人物撮影では、マニュアルフォーカス(MF)モードを選択することをお勧めします。写真の中でピントを合わせて際立たせる部分(顔など)をタップしてから、撮影します。

- **プロカメラモード**では、1つの設定を変更すると、他の設定も自動的に変更されることがあります。
  - 上記の設定は、あくまでも目安です。実際の撮影状況に合わせてカメラ設定を調整するとよいでしょう。

## ビューティー加工

### ポートレートモードで人物をキレイに撮影する

ポートレートモードでは、さまざまなビューティー設定を行い、カスタムビューティー設定を保存する情報データベースを作成できます。

- **夜間や暗所でセルフィーを撮影する場合**、端末は周囲の光が暗いことを検出し、自動的に夜間撮影モードが有効になるので、セルフィーの画質が向上します。このモードのスイッチはありません。周囲の光が暗いことを検出すると、このモードが自動的に有効になります。このモードが有効になると、端末に通知が表示されます。
- **ポートレートモード:**ポートレートモードを有効にすると、フレーム内のすべての人物にビューティー効果が自動的に適用されます。
- **パーフェクトセルフィー:**パーフェクトセルフィーを有効にすると、カスタムビューティープランが作成されます。ビューティーレベルが高いほど、効果が大きくなります。

### ビューティーモードで魅力的なポートレートを撮る

ビューティーモードには、写真をいつまでも魅力的にするカスタムオプションが備わっています。

**ビューティーモードをオンにして写真を撮る:**  **カメラ** を開き、 をオンにして、ファインダーの  アイコンをタップします。スライダーを左右にドラッグして、ビューティー設定を調整します。**ビューティーレベル** を高くすると、ビューティー効果がより明瞭になります。調整が終わったら、 をタップして写真を撮影します。

**パーフェクトセルフィーモードをオンにした、ビューティー設定のカスタマイズ:**  **カメラ** を開き、 をオンにして左にスワイプすると、カメラ設定画面になります。**パーフェクトセルフィー** をタップして **パーフェクトセルフィー** をオンにし、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真を撮り、次にビューティー設定パラメータを設定します。パラメータの値を大きくするほど、よりスリムで明瞭なビューティー効果になります。設定を確認した後、 をタップすると、カスタマイズしたビューティー設定が保存されます。

- **カスタム情報の再入力:**カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **個人情報**を編集 に移動し、画面の指示に従って正面向き、左右横向き、さらに下向きで自分の写真をもう一度撮ります。これにより、ビューティー設定パラメータが再設定されます。
- **ビューティー設定パラメータの調整:**カメラの設定画面で **パーフェクトセルフィー** > **ビューティーエフェクト**を設定 に移動して、肌の瑞々しさや色合いなどのパラメータを調整します。

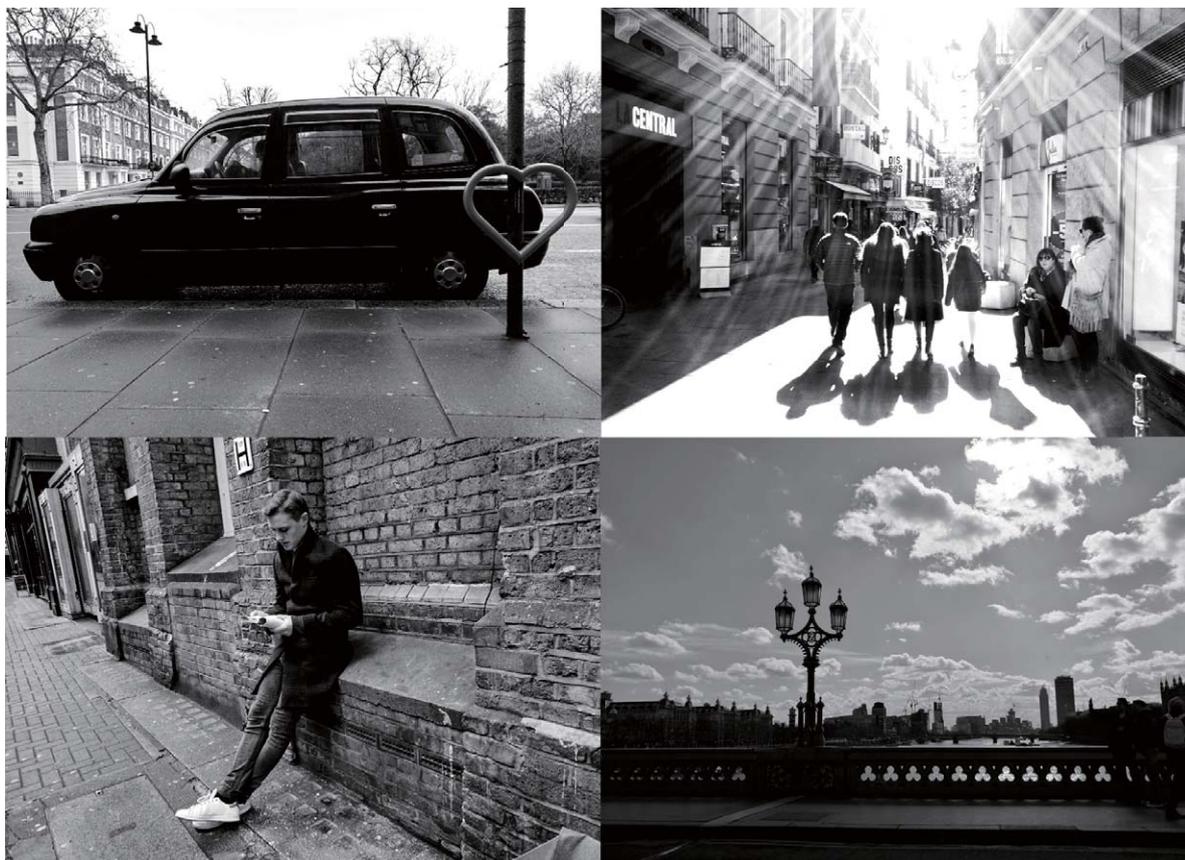
## モノクロ

### ダブルレンズモノクロ:世界を白と黒で描写

色彩が多すぎると、何を見せたいのかわかりづらくなる場合があります。モノクロモードを使用して色を取り除くことで、細かい部分が際立ち、リッチで繊細な表現が可能になります。

ダブルレンズモノクロを使用すると、次のような効果が得られます。

- 色の重なりを際立たせる光と影の複雑なコントラスト: 光の変化にフォーカスし、光の方向や強さといった陰影の表現を操ることができます。
- レトロな印象: モノクロ写真は時間や場所の変化にかかわらずレトロな印象を与え、クラシックで時代を超越した雰囲気醸し出します。
- ノスタルジックで繊細なイメージ: 特にポートレートでの味わいが深まります。表情のディテールを強調し、被写体にミステリアスでメランコリックな雰囲気を与えます。



### モノクロ:光と影の美しさを追求

世界には色があふれています。しかし、色彩が多すぎると何を見せたいのかわかりづらくなることもあります。モノクロモードを使用して色を取り除くと、光と影が強調され、写真にムーディで独特な雰囲気を加えることができます。

 カメラを開いて画面を右にスワイプします。モノクロをタップしてから  をタップしてモノクロで写真を撮影します。

## ライトペインティングモード

### ライトペインティング:光の軌跡を撮影する

ライトペインティングモードでは、遅いシャッター速度に自動的に設定し、露出時間を長くして光の軌跡を撮影します。このモードでは、幻想的な雰囲気の良い美しい写真を撮影できます。

ライトペインティングモードには、さまざまな被写体と光の状態に対応した4種類のクリエイティブな撮影モードがあります。

- テールライトトレイル:夜間に車のライトの軌跡を撮影します。
- ライトグラフィティ:暗所で移動する光源の軌跡を撮影します。
- シルキーウォーター:流れる水の様子をシルクのように滑らかに撮影します。
- スタートラック:夜空の星の軌跡を捉えた美しい写真を撮影します。



### テールライトトレイル:街の光を撮影する

テールライトトレイルでは、夜間の車のテールライトを芸術的に撮影できます。

-  ある程度距離を置いた位置で、被写体のやや上から撮影するとよいでしょう。画像が露出過多にならないよう、車のヘッドライトがカメラに直接向かないようにしてください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

 カメラを開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング** > **テールライトトレイル** に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



## ライトグラフィティ: 写真を光で彩る

ライトグラフィティでは、カメラの前で光源を動かして文字や図形を描くことができます。

-  ● 他の光が入らない場所で、被写体の影が見えないことを確認してください。ペンライトやサイリウムなど、適切な色の明るい光源を選択してください。
- 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。

 カメラを開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング** > **ライトグラフィティ** に移動します。端末をしっかりと持ち、 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、 をタップします。



### シルキーウォーター: 滝や小川をシルクのように滑らかに撮影

シルキーウォーターでは、滝や川をシルクのように滑らかに撮影できます。

- **i** 水量の多い小川や滝を選んでください。
  - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- **📷** カメラ を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング > シルキーウォーター** に移動します。端末をしっかりと持ち、**📷** をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されます。終了したら、**🛑** をタップします。



## スタートラック: 星をキレイに撮影する

スタートラックでは、夜空の星の動きを撮影できます。

- 障害物や人工の光がない場所で、空が澄み切った夜に撮影するとよいでしょう。
  - 撮影中に端末が動かないようにするために、三脚に端末を取り付けてください。
- 📷 **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして **ライトペインティング** > **スタートラック** に移動します。端末をしっかりと持ち、📍 をタップして撮影を開始します。画像のプレビューがファインダーに表示されません。終了したら、🛑 をタップします。



## コマ抜きを使用して長時間の撮影を圧縮する

コマ抜き撮影を使用すると、長時間、多くの画像を撮った後、画像を凝縮して短いビデオにすることができます。これにより、開花や引き潮の様子、街の交通の流れ、1日の雲の動きや夜空の星の動きを映像として見るすることができます。

- コマ抜きの録画時間を長くしすぎないようにしてください。電池残量やストレージ容量が不足するおそれがあります。
- コマ抜き撮影中に端末が動くのを最小限に抑えるため、三脚を使用してください。

コマ抜き撮影を開始する前に、被写体の光が十分であること、カメラの焦点が合っていることを確認します。背景にある関係のないものを撮影しないよう、カメラの位置を慎重に決めます。

 **カメラ** を開きます。画面を右にスワイプして、**コマ抜き** をタップします。  をタップすると録画が開始します。  をタップすると録画が終了します。

ギャラリー に移動して、コマ抜きビデオを再生します。

## カスタマイズされた撮影モードで新たな可能性を発見

プリセット機能のほかに新しいカメラの使い方を発見したい場合、必要に応じて撮影モードをダウンロードしたり、削除できます。

**その他の撮影モードのダウンロード:**  カメラを開き、右にスワイプして **モード ページ** に移動し、 をタップしてダウンロードを表示できます。該当する撮影モードを選択し、**追加** をタップします。ダウンロード後、ダウンロードした撮影モードは **モード** で確認できます。

**撮影モードの更新:** 撮影モードを更新するには、**モード ページ** に移動し、 をタップします。利用可能な更新のある撮影モードの隣には、赤い点が表示されます。画面上の説明に従って更新できます。

**撮影モードの削除:** **モード ページ** では、画面上部の近くにある  をタップすることで **編集 モード** にした後、 をタップすると、不要な撮影モードが削除されます。

 カメラの正常な動作を保証するために、事前に設定されている撮影モードは削除できません。

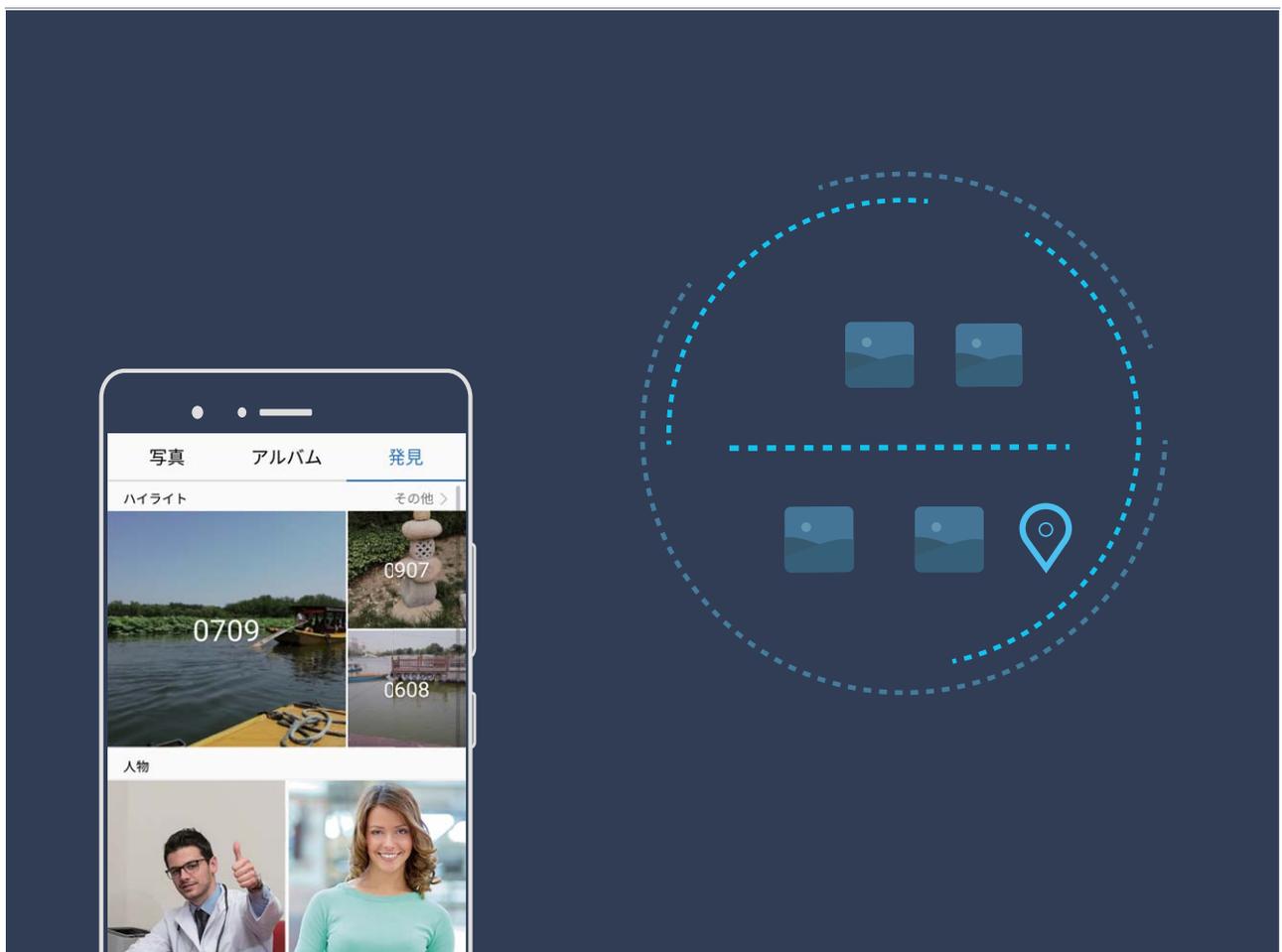
# ギャラリー

## ハイライト

### ハイライト:写真からパーソナライズしたビデオを作成

ハイライトでは、位置情報に基づいて写真から短いビデオクリップを作成します。アニメーション効果を追加したり、様々なバックグラウンドミュージックを選択することができます。

- **i** ハイライトでは、写真の地理情報に基づいて自動的にビデオを作成します。この機能を使用するには、**カメラ**を開き、**設定**に移動して**GPSタグ**が有効になっていることを確認します。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認します。
- ハイライトアルバムは、端末の充電中、画面がオフになっていて、かつ、バッテリーが10%以上充電されているときに自動的に作成されます。アルバム作成には時間がかかる場合があります。ギャラリーに十分な数の写真またはビデオがない場合、ハイライトアルバムは作成されません。



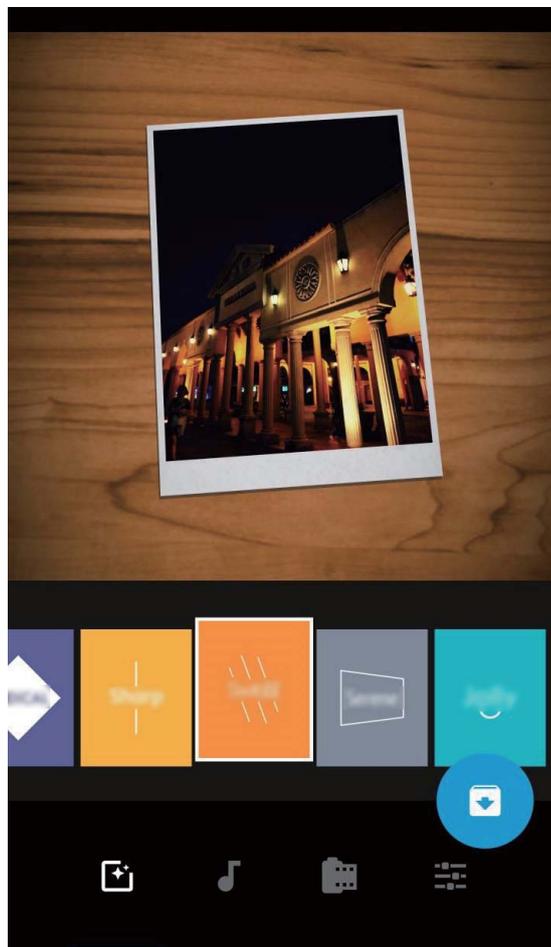
### ハイライトアルバムの編集

お気に入りのバックグラウンドミュージックやテンプレートでハイライトビデオを編集したり、パーソナライズすることができます。

- **ハイライト**では、写真の地理情報に基づいて自動的にビデオを作成します。この機能を使用するには、**カメラ**を開き、**設定**に移動して**GPSタグ**が有効になっていることを確認します。
- 端末がインターネットに接続されていることを確認します。
- **ハイライトアルバム**は、端末の充電中、画面がオフになっていて、かつ、バッテリーが10%以上充電されているときに自動的に作成されます。ご利用の端末によるアルバム作成には時間がかかる場合があります。ギャラリーに十分な数の写真またはビデオがない場合、**ハイライトアルバム**は作成されません。

 **ギャラリー**を開き、**発見**で表示または編集したい**ハイライトアルバム**をタップします。

- **ハイライトの再生または編集**:  をタップします。再生中に画面の下にあるオプションバーを使用すると、ビデオのテンプレートやバックグラウンドミュージックを編集できます。



- **ハイライトアルバムの名前変更**:  をタップして新しい名前を入力します。
- **ハイライトアルバムの削除**:  をタップして、**削除**をタップします。
- **写真の共有または削除**: **ハイライトアルバム**の写真をタップして長押ししてから、 をタップして共有方法を選択します。 をタップしてから **移動**をタップして**ハイライトアルバム**から写真を削除します。

## 写真の管理

### ビデオの編集

**ビデオのトリミング:**  ギャラリー を開き、編集するビデオを選択して  をタップすると、ビデオ編集画面になります。トリミング領域のスライダーをドラッグすると、残したい部分を選択できます。✓ をタップすると、ビデオのトリミングが終了します。

**ビデオ解像度の調整:** スライダーをドラッグして残したい部分を選択するときに、 をタップするとトリミング後のビデオがプレビュー表示されます。さらに、編集画面上のビデオ解像度オプション(フルHD、HD、標準 など)をタップして、ビデオ解像度を調整することもできます。

 解像度が高いほどビデオが鮮明になりますが、より多くのストレージ容量が必要になります。状況に応じて適切に選択してください。

### スローモーションビデオの再生の調整

 ギャラリー を開き、録画済みのスローモーションビデオを選択して  をタップすると、再生が始まります。画面をタップし、編集領域のスライダーをドラッグして、スローモーションで再生する部分を選択します。

 修正済みのスローモーションビデオを新しいビデオとして保存するには、編集画面の  をタップして **スローモーションファイルを保存** を選択します。

### 写真の編集

撮影した写真の見映えをよくするために画像を編集できます。ギャラリーの編集機能を使用すると、トリミングや回転、さまざまな効果(落書き描画、ウォーターマークのカスタマイズ、フィルタなど)を適用して写真をさらに印象的にすることができます。

 ギャラリー に移動し、編集する写真を選択して  をタップすると、写真の編集画面になります。次の機能を使用して、写真を編集することができます。

- **写真の回転:**  をタップし、角度つまみをスライドさせて、写真の回転角度を自由に調整します。また、**回転** または **鏡** をタップすると、写真を90° 回転させたり、上下を逆にしたりできます。
- **写真のトリミング:**  をタップし、グリッドツールボックスまたはその端をドラッグして選択します。また、固定トリミング率を選択し、グリッドツールの端をドラッグして写真をトリミングすることもできます。
- **フィルタ効果の追加:**  をタップして、フィルタ効果を選択します。
- **色の保持:**  をタップし、画面の指示に従って、保持する色を選択します。色を保持するよう選択した領域がハイライト表示されます。
- **写真をぼかす:**  をタップし、適切なぼかしモードを選択し、スライダーをドラッグすると、ぼかしのレベルを調整できます。
- **写真効果の調整:**  をタップして、写真の明るさ、コントラスト、彩度、その他のパラメータを好みに応じて調整できます。

- **ポートレート写真のビューティー効果**: ポートレート写真が自動検出されると、ビューティー機能が自動的に表示されます。写真の編集画面で  をタップすると、スムージング、コンシーラー、細面、目を洗練などの機能を適用して、さらに魅力的なポートレート写真にすることができます。
- **写真モザイクの作成**:  をタップし、適切なモザイク効果とサイズを選択して、写真モザイクを作成できます。
- **写真に手書きで落書きする**:  をタップし、適切なブラシと色を選択して写真に落書きできます。
- **ウォーターマークの追加**:  をタップし、適切なウォーターマーク(時刻、場所、天気、ムードなど)を選択して、写真をカスタマイズできます。
- **タグの追加**:  をタップし、注釈スタイルとフォント書式を選択して、写真に情報を付け加えることができます。

## 写真やビデオの閲覧と共有

時間のあるときに古い写真やビデオを眺めると、大切な思い出がよみがえります。写真やビデオはギャラリーに保存されています。写真を撮影時刻や撮影場所別に表示したり、アルバムを選択して写真を表示したりできます。

**写真を全画面で表示する**:  ギャラリーを開いて写真をタップすると、写真を全画面モードで表示します。画面をもう一度タップすると、メニューが非表示になります。写真を全画面モードで表示しているときには、次の操作を実行できます。

- **写真のズームインとズームアウト**: 画面に2本の指を置いてピンチアウトすると写真にズームインし、ピンチインするとズームアウトします。
- **撮影パラメータの表示**: 写真の撮影パラメータを表示するには、 をタップし、詳細情報ウィンドウを上下にスワイプします。ISO(感度)、EV(露出補正)、解像度、その他の写真のパラメータが表示されます。
- **写真の名前の変更**:  > **名前を変更** に移動し、写真の新しい名前を入力します。
- **写真を連絡先の写真またはデスクトップの壁紙として設定する**:  > **登録** に移動し、写真を **壁紙** または **連絡先の写真** として設定します。

**写真やビデオの共有**:  ギャラリーを開き、いずれかのファイルを長押しして選択画面を表示します。次に、共有するファイルを選択して  をタップします。共有方法を選択し、画面の指示に従って共有を完了します。

**写真の自動回転の設定**: 写真やビデオを画面の向きに合わせて回転できます。ギャラリー画面で  > **設定** > **写真の方向** に移動し、**常に回転** を選択します。

**撮影時刻別に表示**: 写真やビデオの撮影時刻は **写真** タブで確認できます。  > **設定** に移動して **日付の表示** を有効にすると、写真を全画面モードで表示しているときに撮影日が表示されます。写真タブでは、2本の指でピンチアウトすると画面がズームインし、ピンチインすると画面がズームアウトします。また写真やビデオの月別での表示と日付単位での表示を切り替えることができます。

**撮影場所別に表示:**カメラ設定メニューで **GPSタグ** を有効にした状態で写真やビデオを撮影すると、写真やビデオを地図モードで表示できます。写真 タブで  をタップすると、位置情報付きの写真やビデオが、地図上の対応する撮影場所に表示されます。2本の指でピンチアウトすると地図がズームインし、写真の詳細が表示されます。写真のサムネイルをタップすると、その場所で撮影されたすべての写真やビデオが表示されます。

**アルバム別に表示:**アルバム タブでは写真やビデオをアルバム別に表示できます。一部の写真やビデオは、システムで指定されているデフォルトのアルバムに保存されます。たとえば、カメラで録画したビデオは **カメラビデオ** アルバムに保存されています。スクリーンショットとスクリーン録画は **スクリーンショット** アルバムに保存されます。

**スライドショーの再生:**写真 タブで  > **スライドショー** に移動すると、写真のスライドショーが自動的に再生されます。再生を停止するには、画面をタップします。

## アルバムの整理

**新しいアルバムに写真/ビデオを追加する:**アルバム タブで  をタップし、アルバム名を入力して、OK をタップします。新しいアルバムに追加する画像またはビデオを選択します。

**写真/ビデオの移動:**表示しやすいように、別々のアルバムの写真やビデオをまとめることができます。アルバムを開き、写真またはビデオを長押しして、 が表示されたら、移動する写真またはビデオを選択します。 をタップし、移動先のアルバムを選択します。移動された写真またはビデオは、元のアルバムから削除されます。

**アルバムの整理:**アルバムリストに多数のアルバムがある場合には、一部のアルバムを **その他** に移動できます。アルバムを長押しし、 が表示されたら、移動するアルバムを選択します。次に  をタップすると、アルバムが **その他** に移動します。アルバムを元の場所に復元するには、**その他** を開き、復元するアルバムを長押しして  をタップします。

-  **カメラ、カメラビデオ、スクリーンショット** の各アルバムは **その他** に移動できません。
- サードパーティアプリで作成したアルバムを **その他** に移動しても、アプリには影響しません。

**アルバムの順序変更:**よく使用するアルバムをリスト上部に移動することで、簡単に表示できるようになります。アルバムを長押しして  を表示させます。 を長押しし、指でアルバムをリストの上下に移動します。操作が終わったら、 をタップして変更を保存します。

-  **カメラ、スクリーンショット** の各アルバムは並べ替えできません。

**アルバムを非表示にする:**プライベートなアルバムを非表示にして、自分以外のユーザーがアルバムを閲覧できないようにします。アルバム タブで  > **アルバムを非表示** に移動し、非表示にするアルバムのスイッチをオンに切り替えます。

-  **カメラ、スクリーンショット** の各アルバムは非表示にできません。

**写真またはビデオの削除:**写真/ビデオを長押しし、 が表示されたら、削除する写真/ビデオを選択して  > **削除** をタップします。削除された写真やビデオは **最近削除したファイル** アルバムに保存

され、完全に削除されるまでの残り日数を示すアイコンと一緒に表示されます。写真やビデオを完全に削除するには、**最近削除したファイル** に移動して、削除する写真／ビデオを選択し、 > **削除** をタップします。

**削除した写真やビデオの復元**: **最近削除したファイル** アルバムを開き、写真／ビデオを長押しして  を表示させます。復元する写真／ビデオを選択し、 をタップすると、選択した写真／ビデオが元のアルバムに復元されます。元のアルバムが存在していない場合は、再作成されます。

# 端末管理

## ワンタップ最適化の使用

端末の動作が遅くなってきたと感ずることがあります。マルウェアや他のセキュリティの脅威に対する脆弱性が心配になることもあります。ワンタップ最適化を使用すると、端末の動作がよりスムーズになり、セキュリティの脅威からも保護されます。

 **端末管理** を開いて、**最適化** をタップします。端末の動作が速くなり、セキュリティリスクの確認が行われ、消費電力が最適化され、不明な電話番号からの電話や迷惑電話が監視および撃退されます。

## モバイルデータ通信量の管理

その月のデータ量を使い切り、追加料金を支払うという事態は避けたいものです。データ通信量の管理機能を利用すれば、データトラフィックを監視してデータの過度な利用を防ぐことができます。

 **端末管理** に移動して **モバイルデータ通信** をタップし、データ使用状況の詳細を表示するか、**データセーバー** を有効にします。

- **通信量ランキング**: 各アプリのデータ使用状況を確認します。
- **ネットワーク通信を行うアプリ**: アプリごとにインターネットアクセス権限を設定します。
- **データセーバー**: データセーバー(アプリによるバックグラウンドでのモバイルデータ通信を防ぐ)を有効にし、データ通信量の制限を適用しないアプリを選択します。



## 消費電力の最適化

省電力機能により、端末の待受時間を延長し、ゲームやその他の機能を長時間利用できるようになります。

 **端末管理** のアイコンをタップして、**電池残量** をタップすることで以下を実行できます。

- **消費電力の詳細表示**: 消費電力の詳細を確認するには、**電池消費量** をタップします。電池消費量の詳細画面では、**充電中** の下の青いマークが端末が充電されたタイミングを示しています。マークの間のギャップは、端末が充電されなかった期間を示しています。この機能では、消費電力が発生しません。最も消費電力の高いアプリやハードウェアを確認するには、**電池消費量** をタップします。
- **全体的な消費電力の確認と最適化**: **最適化** をタップすると、消費電力の問題がチェックされ、パフォーマンスが自動的に最適化されます。
- **省電力モードまたはウルトラ省電力モードの有効化**: **省電力モード** または **ウルトラ省電力モード** を有効にします。待受時間を延長する際は、ご利用の端末の電池残量に応じて適切な省電力モードを選択してください。

- **画面解像度の調整による省電力化**: 画面の解像度をタップして、スマート解像度を有効にします。ご利用の端末では、自動的に画面の解像度を下げて消費電力が節約されます。また、高い解像度が必要ない場合には、画面の解像度を手動で設定して消費電力を節約できます。
- **ステータスバーに電池残量(%)を表示**: 電池残量表示位置を有効にすると、ステータスバーに電池残量(%)が表示されます。
- **アプリの起動管理による省電力化**: 起動をタップすることで、アプリの自動起動、連動、バックグラウンドでの動作を手動または自動で管理できます。システムによって、自動的に消費電力が管理され、消費電力が節約されます。
  - **バックグラウンドで消費電力が高いアプリが実行されている場合に通知されます**。画面の指示に従ってアプリの設定を最適化してください。

## ウィルススキャンによる端末の保護

不正な広告を開くと、トロイの木馬ウィルスやマルウェアが知らないうちに端末にインストールされて実行され、連絡先情報やその他の個人データが盗まれる可能性があります。ウィルススキャンを実行すると、想定される脅威を特定して取り除き、ご利用の端末を保護することができます。

 **端末管理** を開いて **ウィルススキャン** をタップすると、ご利用の端末が自動的にスキャンされ、セキュリティの脅威が取り除かれます。同時に、 をタップすると、以下のオプションを実行できます。

- **クラウドウィルススキャン**: クラウドスキャンを有効にすると、ご利用の端末でクラウドベースの動的なスキャンが標準スキャンに追加され、端末が新しい脅威から保護されます。
- **ウィルススキャンの通知**: スキャン通知を有効にすると、30日を超えてウィルス対策スキャンを実行していない場合に、通知を受け取ります。
- **クイックスキャン**: クイックスキャンを選択します。定期保守時に、端末上の重要な位置情報やアプリケーションがすばやくスキャンされます。
- **フルスキャン**: フルスキャンを選択します。ご利用の端末では、定期的に端末全体のスキャンが実行され、悪意のあるファイルが存在するかどうかチェックされます。この処理は時間がかかりますが、より広範なスキャンが実行されるため、端末を脅威から確実に保護できます。
- **ウィルスライブラリの更新**: 自動更新とWi-Fi上でのみ更新を有効にします。自動的にウィルスデータベースがWi-Fi経由で更新され、脅威の除去機能が最新に保たれます。

# カレンダー

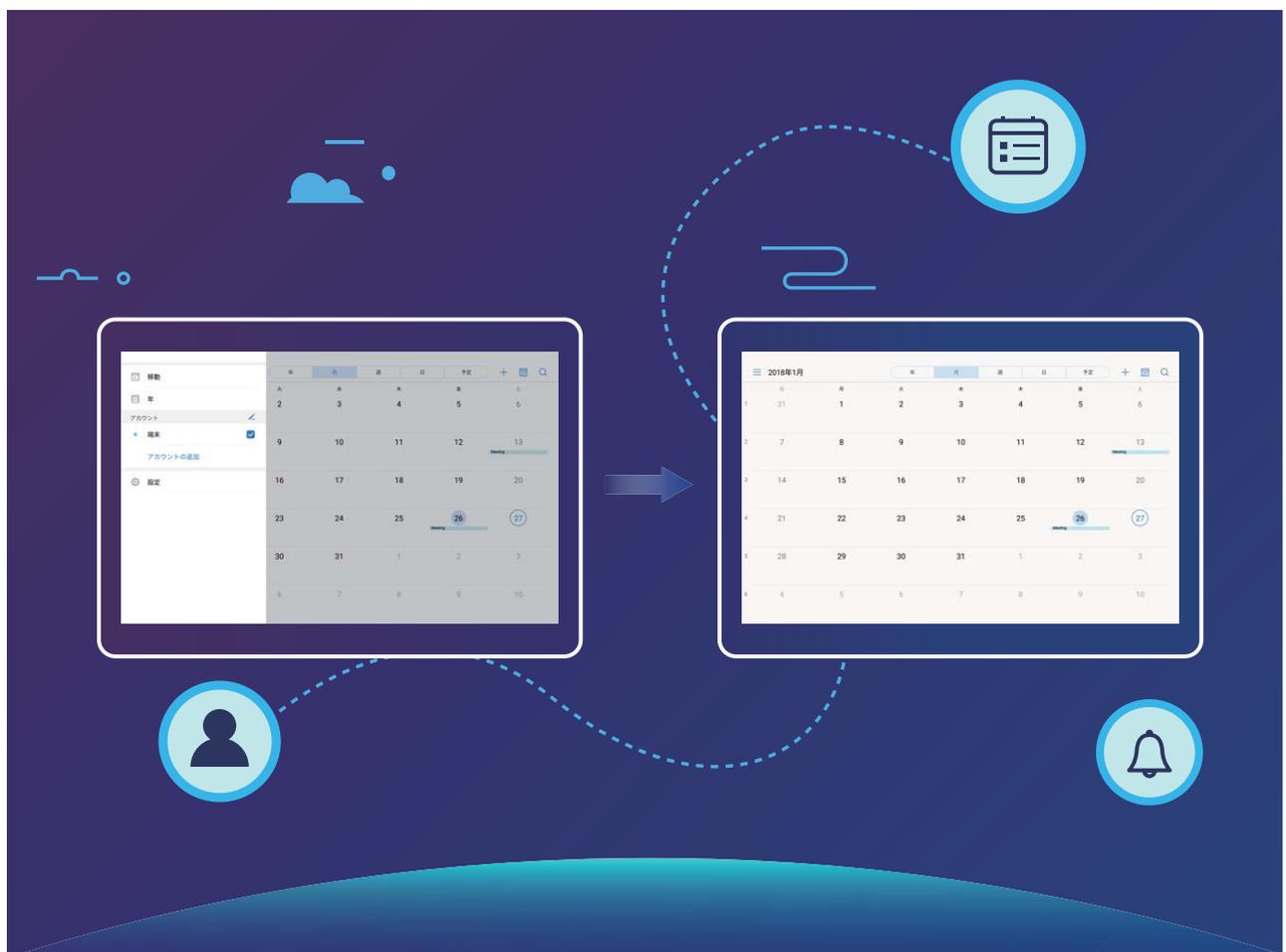
## カレンダー

### カレンダー:一元的な予定管理

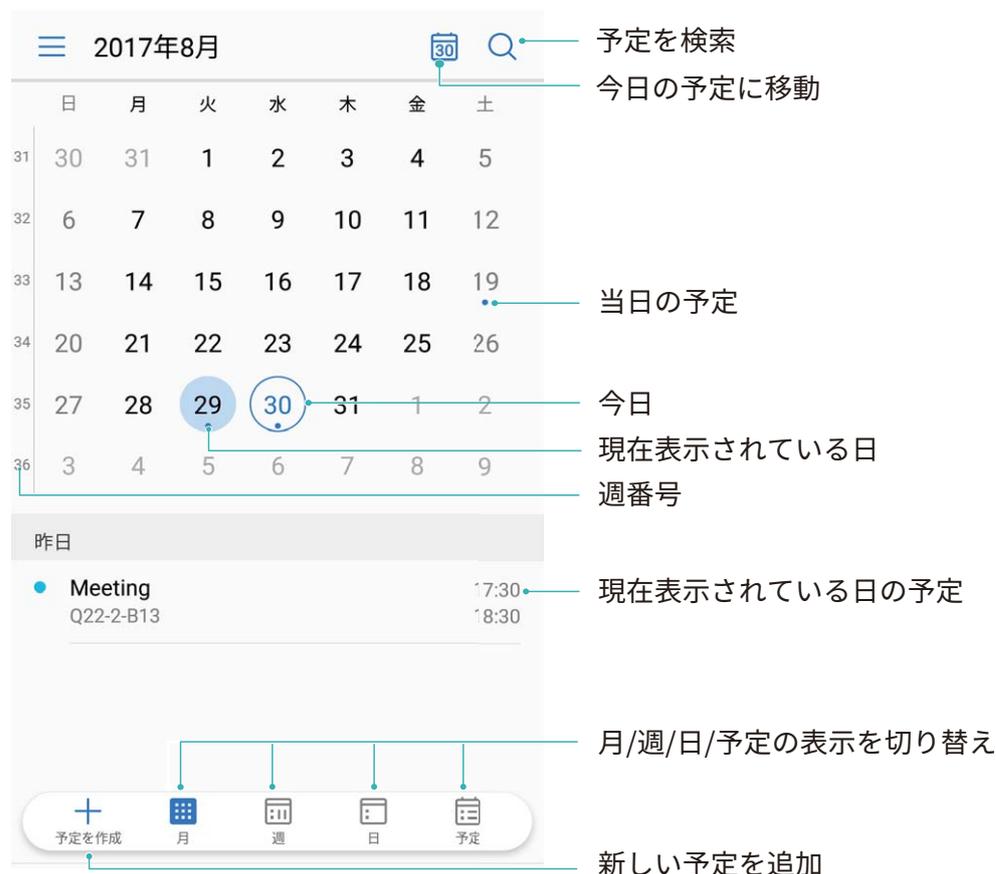
カレンダーを使用すると、予定を管理でき、仕事も私生活ももっと快適にすることができます。

カレンダーには次の機能があります。

- **会議の通知**:仕事のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加して、会議の通知を確認したり、会議の開始前に 端末 から通知を受信できるようにします。
- **予定の共有**:複数の共有方法から選択できます。



### カレンダーの操作



**予定の作成:** **31** カレンダーを開き、**+** をタップして、タイトル、場所、開始時間、終了時間などの予定情報を入力します。詳細 > 通知 に移動し、予定の通知を追加してから、**✓** をタップします。

**予定を検索:** カレンダー ページで **🔍** をタップして、タイトルや場所などの予定のキーワードを入力します。

**カレンダーの設定:** カレンダー ページで **☰** > 設定 に移動してカレンダーの表示と通知をカスタマイズします。

### To-Do をインポートしてタスクを整理する

**会議の通知のインポート:** **31** カレンダーを開いて **☰** > アカウントの追加 > アカウントの追加と編集 > アカウントを追加 に移動し、画面の指示に従って仕事用のメール(Exchangeアカウント)をカレンダーに追加し、会議の通知を確認します。

**予定の共有:** カレンダーの予定やスケジュールの予定をタップしてから、**🔗** をタップして画面の指示に従い、複数の方法のいずれかを使用して予定を共有します。

### 世界の休日の表示

渡航先の国の休日情報を前もってダウンロードしておく、仕事などのスケジュールを立てやすくなります。

**31** カレンダーを開いて **☰** > 設定 > 世界の休日 に移動し、渡航先の国に対応するスイッチをオンにします。その国の休日情報が自動的に端末にダウンロードされます。

# 時計

## 時計の使用

時計には多数の便利な機能や情報があります。時計はアラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーとして使用できます。



**世界各地の時間の表示:**  時計 に移動して **世界の時刻** タブにある  をタップし、都市の名前を入力するか、都市一覧から都市を選択します。  をタップして日時を設定します。

**2つの地域の時間の表示:**  時計 に移動してから **世界の時刻** タブの  > **日付と時刻** に移動します。 **デュアルクロック** を有効にし、**ホーム都市** をタップして都市一覧から住んでいる都市を選択します。



-  現在いる地域の時間がホーム都市と同じ場合、ロック画面には時間が1つだけ表示されます。

# メモ帳

## メモ帳

### メモを管理してレコードを整理する

メモを管理して、レコードを整理します。

**メモの共有:**メモ帳 の一覧ページで、共有したいメモを開いてから、 をタップし、共有方法を選択して画面の指示に従います。

**メモのお気に入りへの追加:**メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプして  をタップします。または、お気に入りに追加したいメモを開いて、 をタップします。

**メモの削除:**メモ帳 の一覧ページで、メモを左にスワイプしてから  をタップします。または、メモをタップし、長押ししてオプションを表示し、削除したいメモを選択して、 をタップします。

**メモの検索:**メモ帳 の一覧ページにある検索バーをタップして、検索キーワードを入力します。または、ホーム画面で下にスワイプして検索バーにアクセスし、検索キーワードを入力します。

**To-Doリストの生成:**メモ帳 の編集ページで  をタップして、項目を入力してから、 をタップします。複数の項目を追加してTo-Doリストを生成します。

 項目をすべて入力した後、メモ帳 の編集ページに移動して、完了した項目の左側で  を選択します。

**メモへのタグの追加:**メモ帳 の編集ページで  をタップし、さまざまな色の付いたタグを使用して、メモをよりわかりやすく表示できるように内容を分類します。

# ツール

## スマートリモコン

### スマートリモコン: 端末から家電機器を操作

スマートリモコンを使うと、端末から家電機器を操作できます。1台の端末でさまざまな家電機器(TV、冷暖房、セットトップボックス、DVDプレイヤー、カメラ、プロジェクター、ネットワークSTBなど)を簡単に操作できます。

- スマートリモコンは、赤外線リモコンが付属している家電機器に対して使用できます。Bluetoothなど、赤外線以外のリモコンを使用する機器では機能しません。
- ビデオ通話中、バックグラウンドで着信中、サードパーティアプリからの音声メッセージ送信中、またはイヤホンの使用中には、リモコンは機能しません。
- 赤外線コードに関する業界統一規格はありません。このため、スマートリモコンでは一部の家電製品を操作できない場合があります。



- 端末を汎用リモコンとして使用する: スマートリモコンに家電機器を追加すると、リモコンがどこにあるかを気にする必要がなくなります。好みに合わせてリモコンボタンをカスタマイズし、リモコンを使いやすくすることができます。

- **端末をカメラのリモコンとして使用する**: 端末をカメラのリモコンとして使用することで、グループ写真をうまく撮影できます。スマートリモコンを使用すると、自然な表情を捉えた最高の1枚を撮影できます。

## スマートリモコンによる家電機器の操作

スマートリモコンを使用して、リモコンを追加、カスタマイズ、セットアップできます。これにより、端末から家電機器を簡単に操作できます。

- **デザイン上の理由で、赤外線センサーは端末に埋め込まれています。**つまり、ほとんどのリモコンに比べて有効角度が小さくなります(0-45°)。機器をリモート操作するときには、端末の上部にある赤外線トランスミッターを、対象の機器に直接向けてください。
- 電力の過剰な消費を防ぐため、端末の赤外線トランスミッターの出力は通常のリモコンよりも小さく、有効な距離は最大7mです。

**リモコンのカスタマイズ**:  **スマートリモコン** を開いて  **カスタマイズ** をタップし、コントローラテンプレートを選択して、灰色のボタンをタップします。コントローラの機能が学習されます。学習中に、端末とリモコンの間を約5cmの間隔で維持し、動かさないようにします。ボタンを2秒以上長押ししてください。

- **エアコンのリモコンはカスタマイズに対応していません。**

**リモコンの設定**:  **スマートリモコン** を開いて **設定** をタップし、ボタン操作時の鳴動を有効または無効にします。

グループ写真を撮影するときに、カメラのリモコンやタイマーを使用する必要はありません。端末のスマートリモコンを使用することで、特別な瞬間を簡単に撮影することができます。

## 音声レコーダーを使用した音声メモの作成

会議中に重要な内容をすべてメモしきれないことがあります。取材や講義でとったたくさんのメモを整理する必要に迫られることもあります。音声レコーダーを使用すると、音声ファイルに録音して後で簡単に再生することができます。

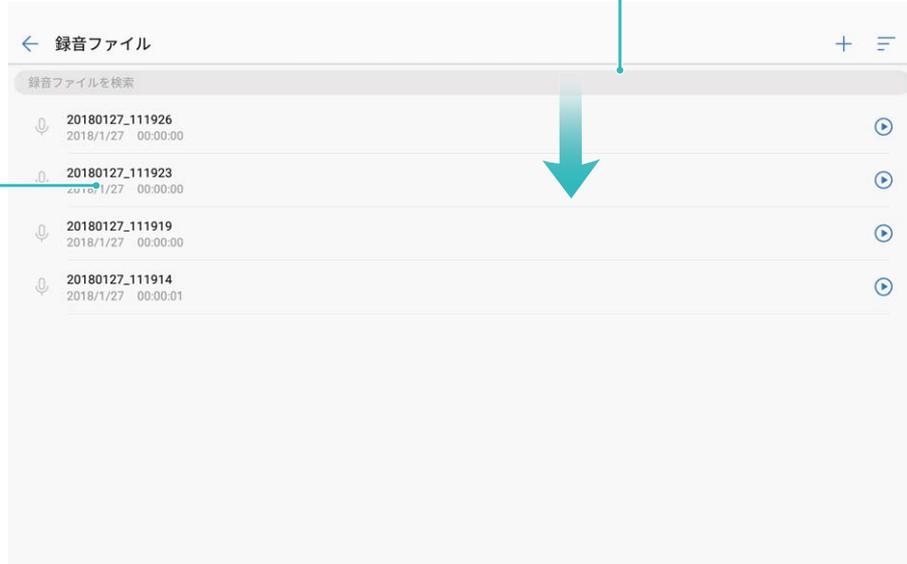
 **音声レコーダー** を有効にし、画面を左右にスワイプして録音シナリオを選択します。  をタップして録音を開始します。録音中に、必要に応じて重要なポイントにタグを追加できます。  をタップして録音を終了し、音声ファイルを保存します。

録音後、以下の操作を行うことができます。

- **録音の管理**: **録音ファイル** をタップすると、録音の並べ替えや共有などのオプションにアクセスできます。

画面を下にスワイプして検索バーを表示

長押しして録音  
ファイルを管理

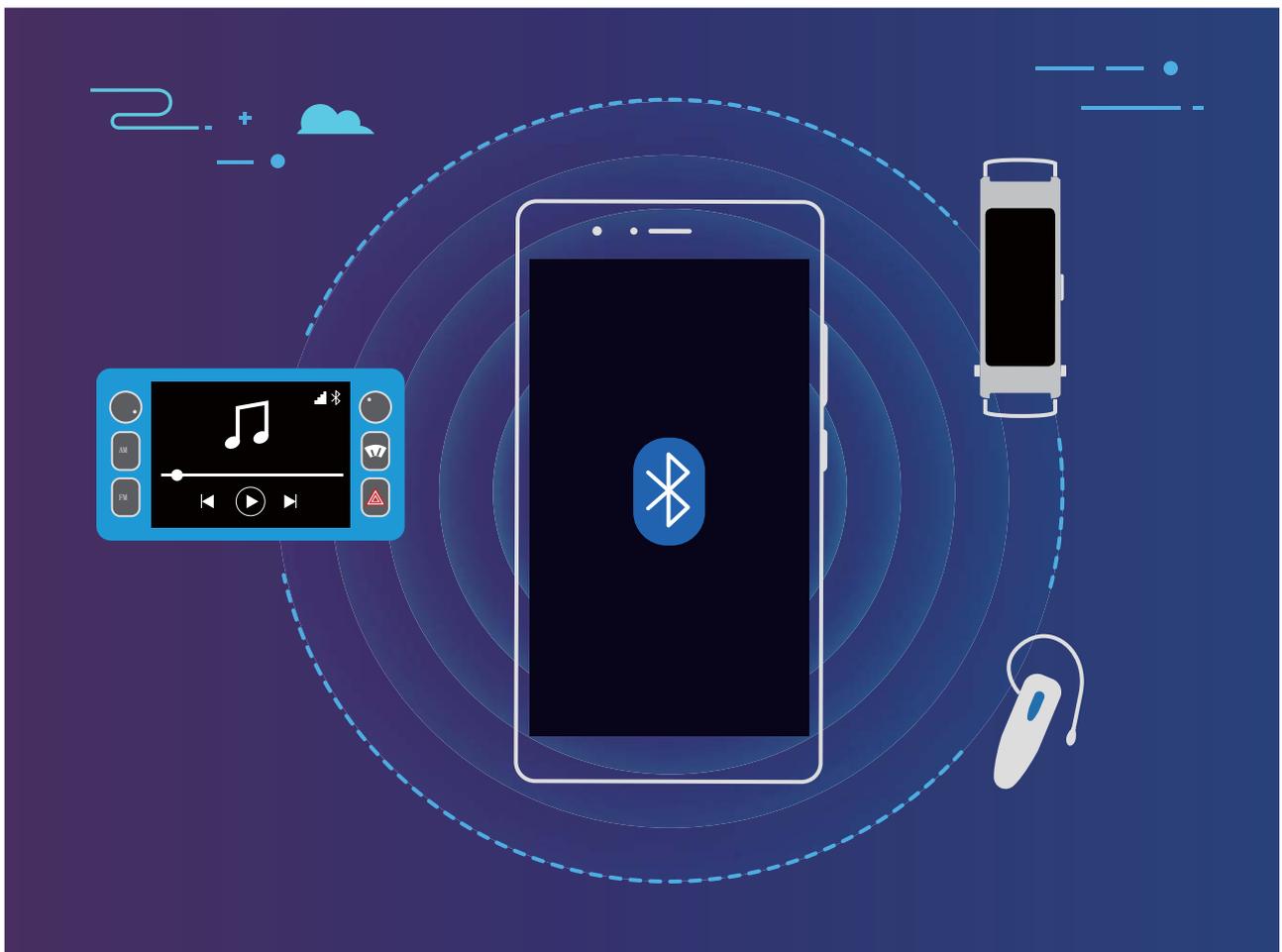


# デバイス接続

## Bluetooth

### 端末を Bluetooth 機器に接続する

Bluetoothを使用することで、端末をBluetoothヘッドセットや車内Bluetooth機器に接続して、運転中にナビを利用したり、音楽を聴いたりできます。また、端末をBluetoothウェアラブル端末に接続して、活動量データを記録/管理することもできます。Bluetooth機器を端末に接続しても、消費電力が大幅に増加することはありません。



Huaweiの端末が使用するBluetoothプロトコルとその機能:

HFP、HSP	発信
A2DP	音楽の再生
AVRCP	音楽再生のコントロール
OPP	ファイル転送
PBAP	連絡先の同期
MAP	テキストメッセージ(SMS)の同期

HID	Bluetoothキーボードとマウスの操作
PAN	テザリング
BLE	BLE (Bluetooth Low Energy) 機器への接続

**Bluetoothを有効または無効にする:** ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効または無効にします。  を長押しすると、Bluetooth設定画面が表示されます。

**Bluetooth機器のペアリング:** Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。Bluetooth機器が他の端末から検出可能な設定になっていることを確認します。 **使用可能なデバイス** で、ペアリングする機器をタップし、画面の指示に従ってペアリングを完了します。

**Bluetooth機器のペアリング解除:** Bluetooth機器の設定画面で **Bluetooth** を有効にします。ペアリングされている機器の名前の横にある  をタップし、 **ペアリング解除** をタップします。

**Bluetooth機器の名前の変更:** Bluetooth設定画面で **Bluetooth** を有効にします。 **端末名** をタップして機器の新しい名前を入力し、 **保存** をタップします。

**Bluetoothヘルプの表示:** Bluetooth設定画面で  をタップすると、車載システム、ヘッドフォン、スピーカー、ウェアラブル端末、端末、タブレット、コンピュータとのBluetooth接続の方法が表示されます。

## Bluetooth によるデータの共有

Bluetooth経由で端末を別の端末に接続することで、データの共有、連絡先のインポートとエクスポート、インターネットテザリングの設定が可能になります。

**Bluetoothによるファイルの送信:**  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、 **その他** > **共有** > **Bluetooth** に移動します。画面の指示に従ってBluetoothを有効にします。該当する端末が検出されたら (Bluetoothが有効で、その端末が他の端末から検出可能である必要があります)、端末の名前をタップすると接続が確立され、ファイルの送信が開始します。

**Bluetooth経由でのファイルの受信:** ホーム画面でステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開きます。次に  をタップしてBluetoothを有効にします。ファイル転送通知で **受信** をタップすると、ファイルの受信が開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Bluetooth** フォルダに保存されます。

**Bluetooth経由での連絡先のインポート/エクスポート:**  **連絡先** を開き、 **⋮** > **インポート/エクスポート** に移動して以下の操作を実行します。

- **連絡先のインポート:** **別のデバイスからインポート** をタップして、 **Bluetooth対応** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。該当する端末の連絡先がこの端末に自動的にインポートされます。
- **連絡先のエクスポート:** **連絡先の共有** をタップし、共有する連絡先を選択して  をタップし、 **Bluetooth** を選択します。画面の指示に従って、該当する端末とのBluetooth接続を確立します。選択した連絡先が、この端末から該当する端末に自動的にエクスポートされます。

## NFC

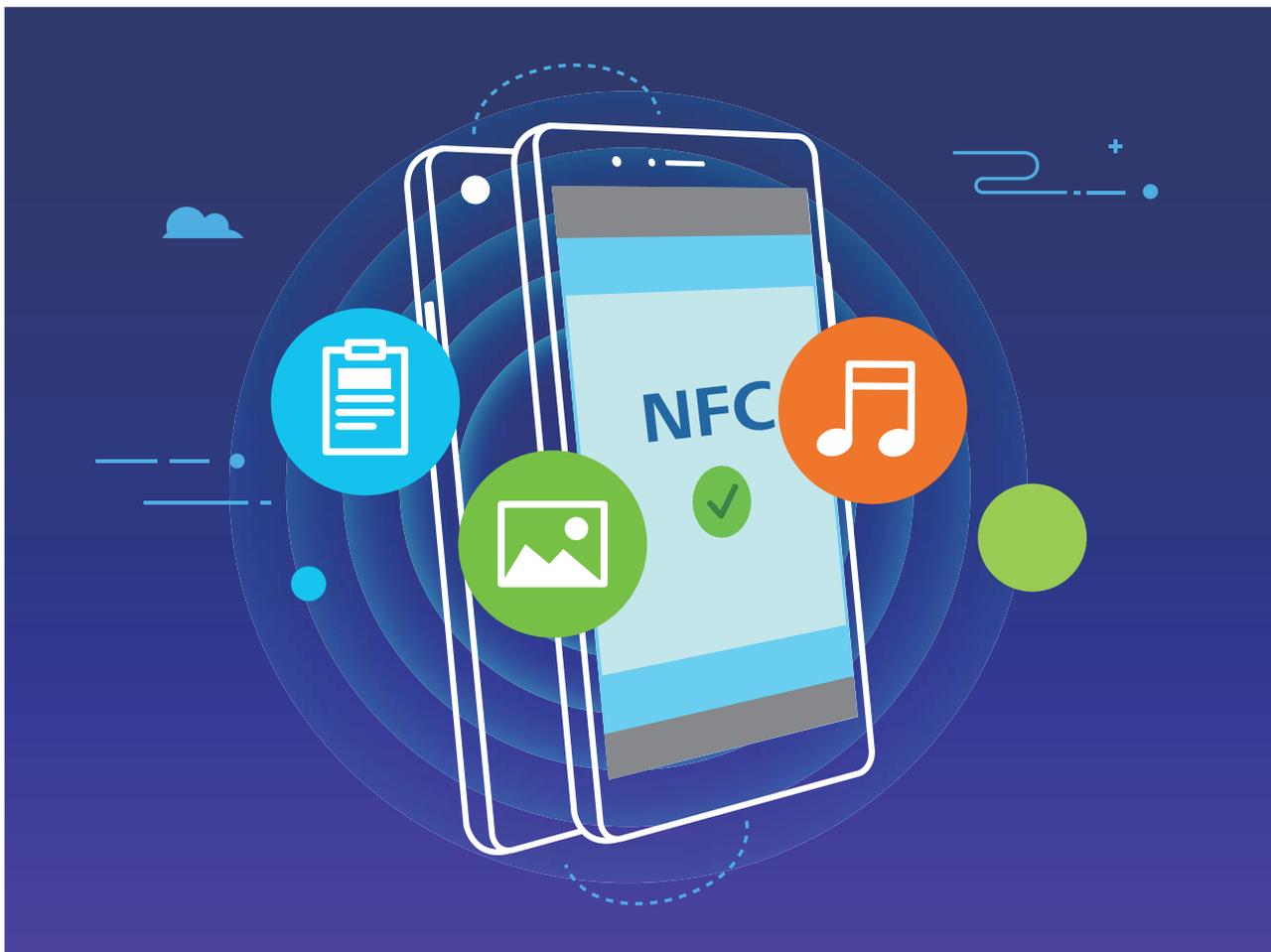
### NFC: 近距離でのデータ転送

NFC(Near Field Communication)は、近距離無線通信を実現するテクノロジーです。NFCのポイントツーポイントモードでは、2台の端末間の間隔が10cm未満の場合に、リアルタイムでデータを転送できます。この方法では、写真、ネットワーク、アプリを簡単に共有できます。NFCの読み取り/書き込みモードでは、NFCタグに含まれる製品情報を確認できます。NFCカードエミュレーションモードでは、端末を銀行カードとして簡単かつ素早く決済が可能となります。



### NFC を使用してデータを素早く共有

NFCでは、2台の端末間でペアリングを行わずにデータを素早く共有できます。



**NFCを使用したデータ送信:**  **設定** を開いて **デバイス接続** をタップし、**NFC** と **Huawei Beam** を有効にします。送信するファイルを選択し、**共有** > **Huawei Beam** をタップして、**NFC** を有効にします。端末のロックを解除し、画面を点灯した状態のまま保持します。両方の端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。接続が確立されると、送信側の端末で音声が鳴り、共有画面が最小化されます。送信側端末の画面をタップすると、ファイル送信が開始します。

**NFC経由でのファイルの受信:**  **設定** を開いて **デバイス接続** をタップし、**NFC** と **Huawei Beam** を有効にします。端末のロックを解除し、画面を点灯した状態のまま保持します。両方の端末のNFC検出エリアを近づけます。接続が確立されると、送信側の端末で音声が鳴ります。ファイル転送が完了するまで待ちます。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** のbeamフォルダに保存されます。

 NFC画面に **読み込み／書き込みとP2P** スイッチが表示されている場合は、これも必ずオンにしてください。機能は通信事業者によって異なる場合があります。

### NFC で端末を素早く接続する

2台の端末のNFC検出エリアを互いに近づけることで、端末間でBluetooth接続またはWi-Fi接続を素早く確立できます。また、この方法でWi-Fi Direct接続を確立したり、接続詳細の手動入力なしでWi-Fiアクセスポイントを共有したりできます。



たとえば、Bluetoothペアリングを使用して、両方の端末でNFC、Huawei Beam、Bluetoothを有効にします。両方の端末でBluetoothペアリング画面を表示し、端末のNFC検出エリアを互いに近づけます。送信側の端末で音声が鳴り、画面の内容が縮小表示されたら、画面の指示に従って送信側端末の画面をタップし、Bluetooth接続を確立します。

① NFC画面に **読み込み／書き込みとP2P** スイッチが表示されている場合は、これも必ずオンにしてください。

## 投影

### 端末を外部ディスプレイに接続してPCのように操作

端末を外部ディスプレイに接続すると、PCのように操作することができます。これにより、会社と自宅間でノートPCを持ち運ぶ必要がなくなります。アダプタ(USB Type-CからHDMIアダプタケーブルなど)を使用するだけで、端末をPCモニターやプロジェクタなどのディスプレイ装置に接続できます。これにより、デスクトップのようなさまざまな機能がモバイル端末で便利に使用できるようになります。

端末を外部ディスプレイに接続しているときには、以下の機能を使用できます。

- **プライバシー保護**: 通知、着信、チャットメッセージは、端末の通知パネルでは赤いドットとして表示されますが、外部ディスプレイには表示されません。
- **デュアルディスプレイ**: 仕事関連のコンテンツを外部ディスプレイに表示しながら、端末で友人とチャットできます。

- **デスクトップのような操作性**: Androidアプリをデスクトップのように利用できます。複数のウィンドウを開いたり、ファイルの管理や端末の検索、デスクトップの壁紙の変更などが可能です。また、マウスやキーボードなどの周辺機器を接続することもできます。

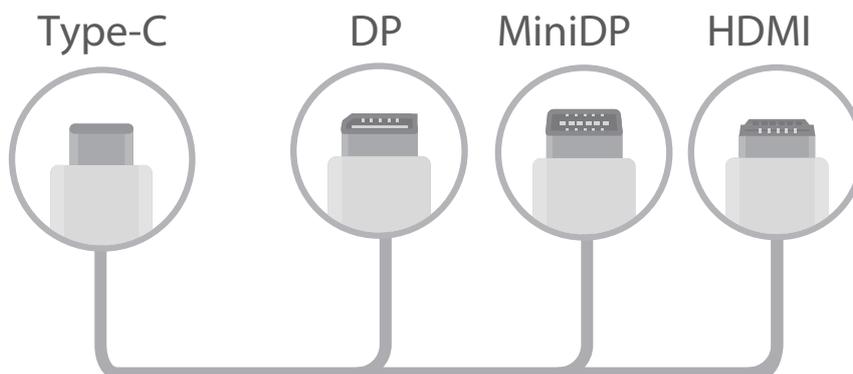


## 端末を外部ディスプレイに接続する

ドングル型のアダプタを使用して端末を外部ディスプレイに接続するか、ドック型のアダプタを使用して端末をディスプレイ、キーボード、マウスに同時接続します。

- **ドングル型のアダプタ**: USB Type-C - HDMI変換アダプタを使用できます。外部ディスプレイにHDMIポートがある場合は、USB Type-C - HDMI変換アダプタを使用して端末を外部ディスプレイに接続します。
- **ドック型のアダプタ**: USB Type-C - HDMI/USB/USB変換アダプタを使用できます。外部ディスプレイにHDMIポートがあっても、マウスとキーボードも端末に接続したい場合には、USB Type-C - HDMI/USB/USB変換アダプタを使用してください。

また、USB Type-C - DisplayPort/HDMIケーブルを使用して、端末を外部ディスプレイに直接接続することもできます。



- アダプタを介して端末が外部ディスプレイに接続されている間、アダプタを充電器につないで端末を充電することができます。充電器はHuaweiの5V/4.5A、5V/2A、または9V/2Aの充電仕様に適合している必要があります。出力が5V/2Aよりも小さい充電器を使用しないでください。
- アダプタを多数のデバイスに接続した場合、正しく機能しないことがあります。
- Bluetoothを使用してマウスやキーボードを端末に直接接続することもできます。
- デスクトップ画面の表示サイズが外部ディスプレイに適合しない場合は、ディスプレイ装置の設定メニューを使用して、映像調整モードを「自動」に変更します。必要に応じてディスプレイ装置のユーザーマニュアルを参照してください。

端末を外部ディスプレイに接続した後、以下の2つの投影モードを使用できます。

- **端末**: 端末と外部ディスプレイに同じ内容が表示されます。
- **デスクトップ**: 端末と外部ディスプレイで異なる内容が表示されます。たとえば、業務用アプリを外部ディスプレイに表示し、メッセージアプリを端末に表示できます。

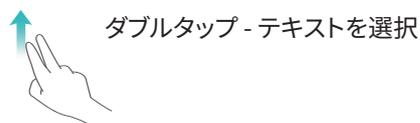
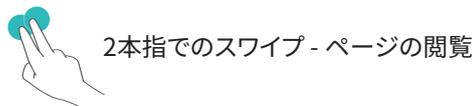
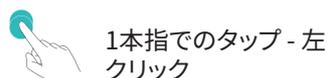
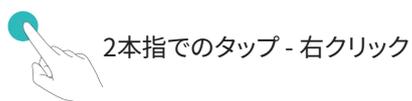
端末のステータスバーを下にドラッグするか、外部ディスプレイの通知センターを開いて、**端末とデスクトップ**を切り替えてください。

### 端末をタッチパッドとして使用する

端末を外部ディスプレイに接続したときにキーボードやマウスが手元がない場合は、簡単な手順で端末を仮想キーボード/ポインティングデバイスにすることができます。

ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルの**仮想キーボードおよびマウス**をタップします。以下の方法で、この機能を使用できます。

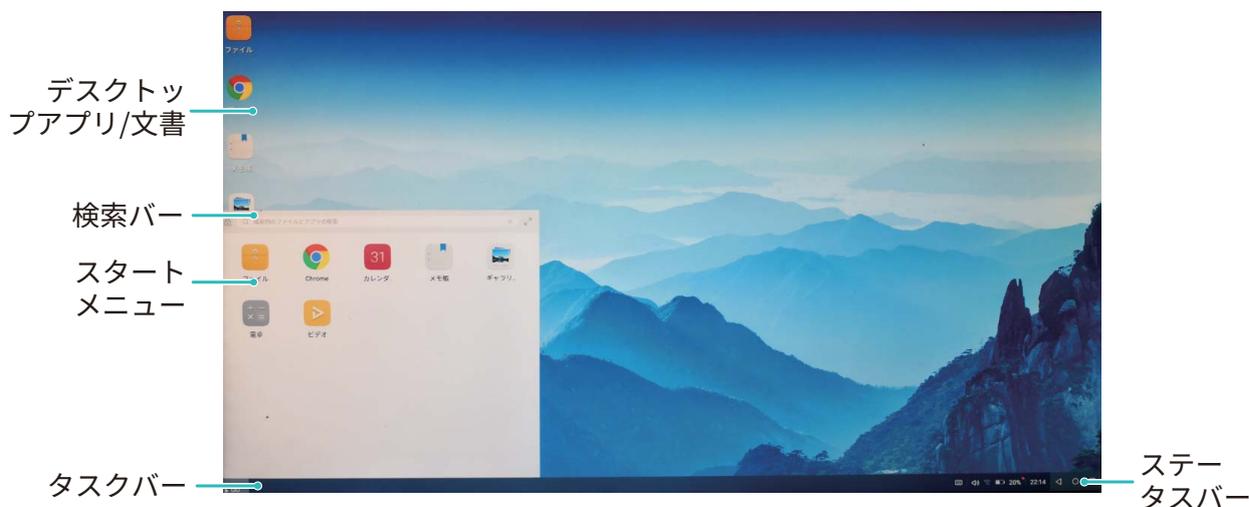
- タッチジェスチャーを使用してマウスコマンドをエミュレートする



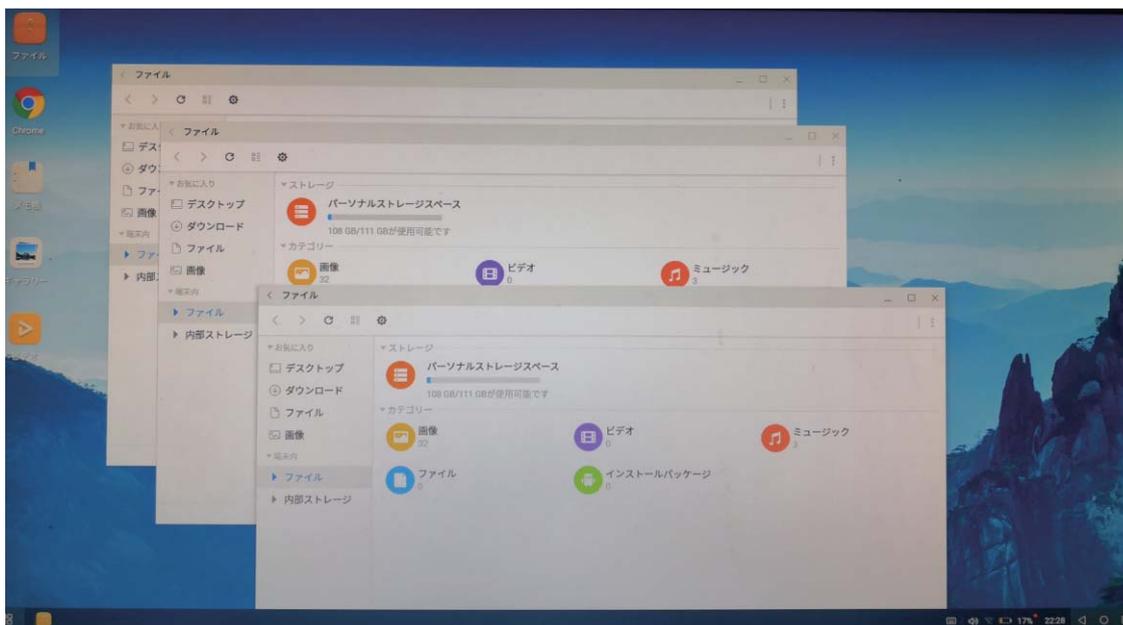
- 外部キーボードが接続されていないときに仮想キーボードを使って文字を入力する
  - 外部キーボードが接続されている場合は、仮想キーボードを使用できません。

### 端末の画面を外部ディスプレイに表示

**デスクトップレイアウト:** デスクトップレイアウトで端末の内容を表示できます。ステータスバーの電波状況アイコンをタップすると通知センターが開きます。時刻をタップするとカレンダーが開きます。または画面上のナビゲーションアイコンをナビゲーションバーと同じように使用できます。



**マルチウィンドウ:** 重要な作業をしているときには、マルチウィンドウを開いてドキュメントを相互に参照すると、作業効率が上がります。



**ファイル管理:** ファイルを手軽に管理できます。デスクトップにファイルを保存したり、新規ファイルやフォルダを作成したり、ファイル名を変更したり、ファイルを削除したりできます。

**クイック検索:** ファイルをすぐに見つけることができます。スタートメニューの検索バーから、ドキュメント、マルチメディアファイル、スタートメニューアプリを検索できます。

**デスクトップの壁紙の変更:** お気に入りの壁紙で気分が明るくなり、作業効率が上がります。デスクトップ上でマウスを右クリックして、デスクトップの壁紙を変更できます。

**アプリショートカットの作成:** スタートメニューでアプリを長押ししてデスクトップまでドラッグすると、便利なショートカットが作成されます。

## マルチスクリーン表示

### マルチスクリーン: 端末のコンテンツを大画面で共有

端末とテレビ/ストリーミングボックスを同じWi-Fiネットワークに接続することで、マルチスクリーン共有を使用できます。写真をテレビに映し出して、友人や家族と楽しい思い出を共有できます。



プロトコルタイプ	接続手順	接続方法	画像共有方法
Miracast プロトコル	端末の画面に表示されている内容を、Miracast対応の別の機器(テレビ、プロジェクターなどの表示機器)にミラーリングします。	Wi-Fi経由で直接接続し、外部機器で画面共有機能(Miracastなど)をオンにします。	端末に表示される内容はすべて、外部機器の画面に共有されます。曲やビデオを再生すると、端末では画像だけが表示され、音声は再生されません。

## マルチスクリーン: 画面をミラーリング

**ディスプレイ機器の選択:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。📺 をタップしてマルチスクリーンを開きます。ディスプレイ機器が検出されたら、アイコン(📶)で示されている対応する接続方式のいずれかを選択します。ディスプレイ機器がこれらの接続方式に対応していない場合は、Androidセットトップボックスを購入して、ディスプレイ機器に接続できます。

📶: Miracastに対応しています。ディスプレイ機器に画面をミラーリングできます。

**ディスプレイ機器に画面をミラーリングする:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。📺 をタップしてマルチスクリーンを開きます。使用するディスプレイ機器をリストから選択します。必要に応じて、ディスプレイ機器でMiracast機能を有効にします。手順については、ディスプレイ機器のマニュアルを参照してください。

画面のミラーリングを終了するには、 > **切断** をタップします。

## USB デバイスの接続

### 端末とコンピュータ間でのデータ転送

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続し、データを転送します。

#### USB接続モードの選択

- 1 端末とコンピュータまたは別の機器を、USBケーブルで接続します。端末に **端末データへのアクセスの許可** ダイアログボックスが表示されます。
- 2 **いいえ(充電のみ)** をタップします。
- 3 ステータスバーを下にスワイプすると、通知パネルが開きます。**USB経由で充電中** をタップしてUSB接続方式を選択します。
  - **充電のみ**: USB接続が端末の充電だけに使用されます。
  - **ファイルを転送**: 端末とコンピュータ間でファイルを転送します。
  - **写真を転送**: 端末とコンピュータ間で画像を転送します。コンピュータがMTPに対応していない場合は、PTPを使用して端末とコンピュータ間でファイルと画像を転送できます。
  - **給電**: USBタイプCケーブルで端末と別の端末を接続し、別の端末に給電します。
  - **MIDI**: 端末をMIDI入力端末として使用し、コンピュータで曲を再生します。

端末とコンピュータをUSBケーブルで接続すると、データを転送してその他の作業を行うことができます。

- **ファイルの送信**: MTP(Media Transfer Protocol)は、メディアファイルを転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間でファイルを転送できます。MTPを使用する前に、コンピュータにWindows Media Player 11以降をインストールしてください。  
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **ファイルを転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されているファイルを閲覧できます。また、Windows Media Playerを使用して端末のマルチメディアコンテンツを閲覧することもできます。
- **画像の転送**: PTP(Picture Transfer Protocol)は、画像を転送できるプロトコルです。このプロトコルを使用すると、端末とコンピュータ間での画像の転送が簡単になります。  
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **写真を転送** を設定します。これにより、コンピュータに必要なドライバがインストールされます。コンピュータで、端末の型番に基づく名前が付いたドライブを開き、端末に保存されている画像を閲覧します。
- **端末へのMIDIデータの転送**: MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、作曲家や電子楽器メーカーを対象とした業界標準のオーディオ規格です。  
ステータスバーを下にスワイプすると通知パネルが開きます。USB接続方式として **MIDI** を設定します。これにより、この端末と別の端末の間でMIDIデータを転送できます。

## 端末と USB 機器間でのデータ転送

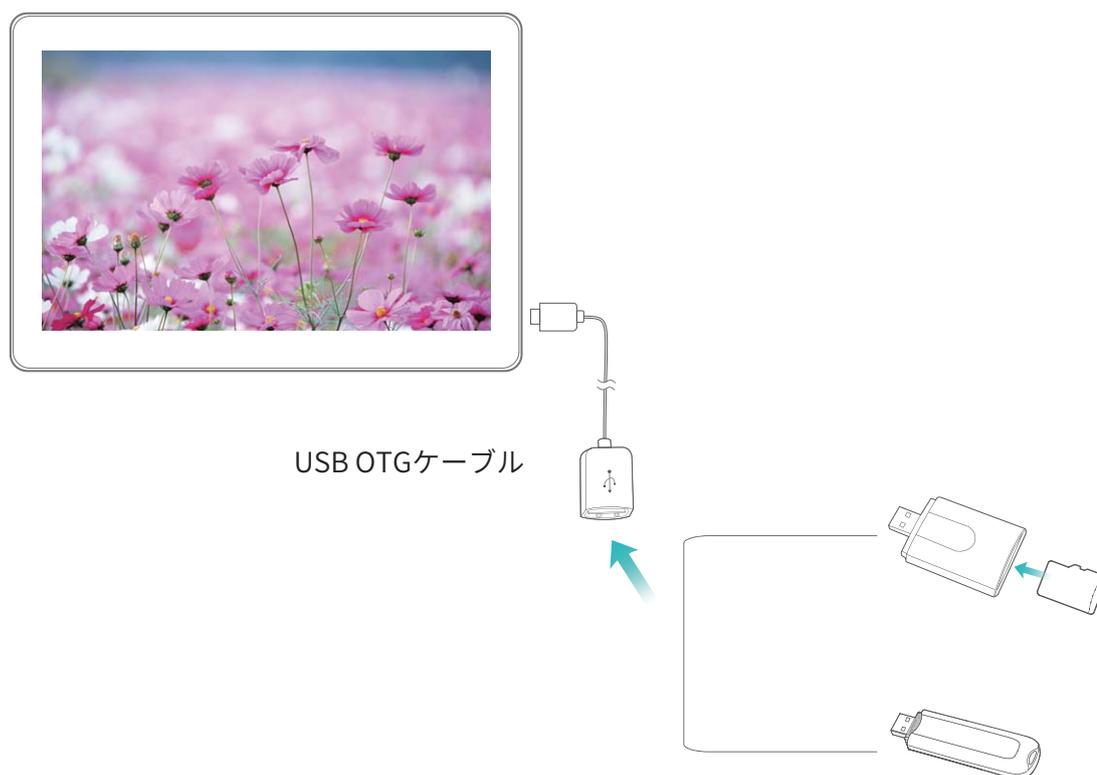
USB OTG(USB On-The-Go)では、コンピュータを使用せずに、端末とその他の機器(端末、タブレット、カメラ、プリンタなど)の間でデータを直接転送できます。また、USB OTGケーブルで端末をUSBストレージデバイスに直接接続し、ファイルを転送できます。

### 端末とUSBストレージデバイスとの間のデータ転送

OTGケーブルを使用することで、端末からUSBストレージデバイス(USBドライブ、カードリーダーなど)に直接アクセスできます。

- i ● この機能は、USB OTGに対応した端末でのみ利用できます。
- 端末にUSB Type-Cポートが内蔵されている場合は、Huawei認定のMicro USB-USB Type-Cアダプタ、またはUSB Type-Cコネクタ付きUSB OTGケーブルを購入する必要があります。

1 USBドライブと端末をUSB OTGケーブルで接続します。

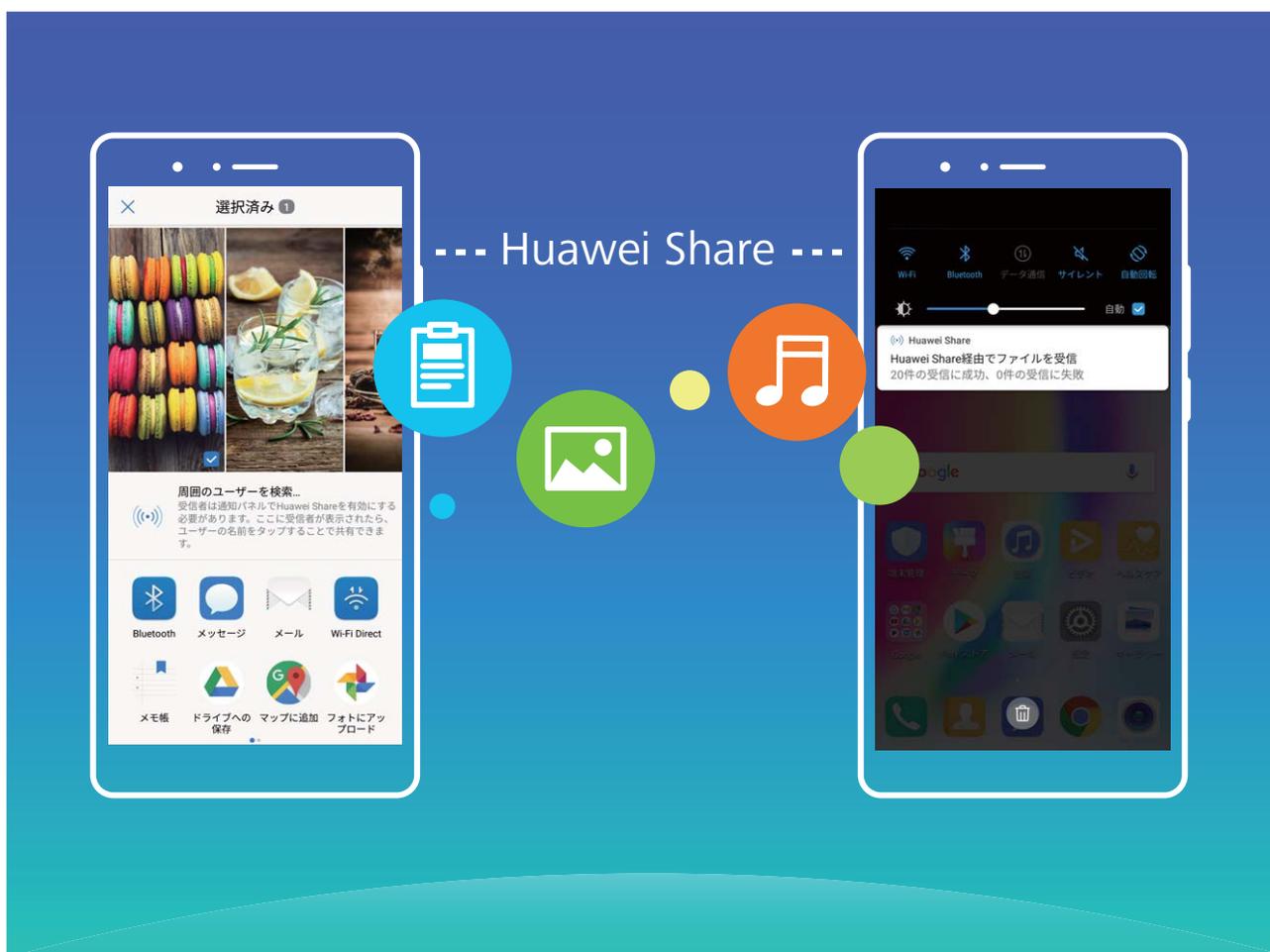


- 2 ファイル > 本体 > USBドライブ に移動し、USBドライブにアクセスして、コピーするデータを選択し、宛先フォルダにコピーします。
- 3 転送が完了したら、設定 > ストレージ > USBドライブ > 取り出し に移動します。
- 4 2台の機器から、USB OTGケーブルとUSBケーブルを抜きます。

## Huawei Share でのファイル転送

Huawei Shareを使用すると、Huawei端末間で写真、ビデオ、その他のファイルを素早く転送できます。Huawei Shareでは、近くにあるHuawei端末をBluetoothで検出し、モバイルデータ通信を使用せずに、Wi-Fiでファイルを素早く転送できます。

- ① Huawei Shareでは、データの転送にWi-FiとBluetoothが使用されます。Huawei Shareを有効にすると、Wi-FiとBluetoothが自動的に有効になります。



**Huawei Shareを使用したファイルの送信:** 他のHuawei端末に送信したいファイルを選択して、共有をタップします。近くにある端末のリストからファイル送信先の端末を選択し、ファイルを送信します。

**Huawei Shareを使用したファイルの受信:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開き、 をタップして、Huawei Shareを有効にします。ファイル転送通知が表示されたら、承諾をタップします。デフォルトでは、受信したファイルは **ファイル** の **Huawei Share** フォルダに保存されます。

# セキュリティとプライバシー

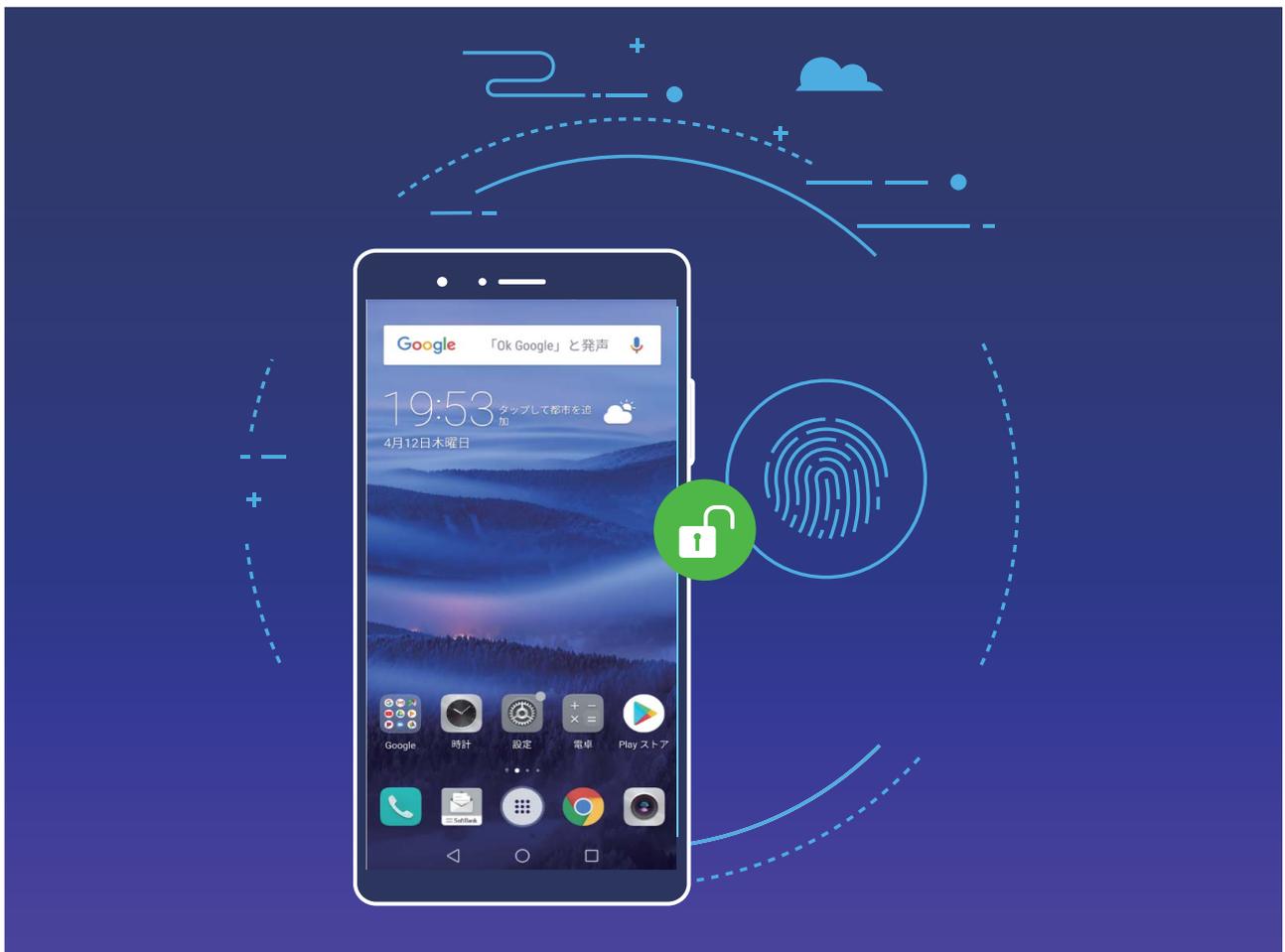
## 指紋

### 指紋認証: 素早い操作とセキュリティの向上

指紋認証を使用すると、ご利用の端末のロックを素早く解除できるだけでなく、個人情報のセキュリティも向上します。

指紋は次の用途に使用できます。

- **ワンタップでの画面ロック解除:** 指紋を使用すれば、ワンタッチで画面のロックを素早くセキュアに解除できます。
- **プライベートファイルへのアクセス:** Safeボックスやロックしたアプリに指紋でのアクセスを設定すると、ファイルやアプリの安全性を確保し、自分だけがアクセスできるようになります。
- **指紋のショートカットの実行:** 写真のシャッターボタンに手が届かない場合や、素早く着信に応答したりアラームを止めたりしたいような場合、指紋のショートカットを設定することで、指1本で写真を撮影したり、電話に出たり、アラームを止めたりすることができます。



### 指紋のショートカットを使用して素早く端末を操作

指紋センサーを使うことで、指1本でスムーズに写真を撮影したり、電話に出たりすることができます。指紋認証は不要です。

 **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** に移動します。ここから、次の機能に対して指紋のショートカットを有効にできます。

- **写真や動画の撮影**: カメラのビューファインダー画面で指紋センサーを長押しすると、写真または動画を撮影できます。
- **着信への応答**: 指紋センサーを長押しすると、着信に応答できます。
- **アラームの停止**: 指紋センサーを長押しすると、アラームを止められます。
- **通知パネルの表示**: ポートレートモードで指紋センサーに指をあて下にすべらすと通知パネルが表示され、2回タップすると通知がクリアされ、上にすべらすと通知パネルが閉じます。
- **画像の閲覧**: フルスクリーンモードで画像を表示しているときに指紋センサーを左右にスワイプすると、別の画像を表示できます。

## 指紋の登録

ご利用の端末に指紋を登録すると、パスワードの代わりに指紋で画面のロックを解除したり、Safeボックスやロックしたアプリにアクセスしたりすることができます。

-  ● 指紋によるロック解除は、ご利用の端末のロック解除方法が **パターン**、**PIN**、**パスワード** に設定されている場合にのみ使用できます。端末を再起動した後や指紋が認識されていない場合、ロック画面のパスワードを使用して端末のロックを解除する必要があります。
- 指紋を登録する前に、指が汚れておらず、濡れていないことを確認してください。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動して **パターン**、**PIN**、または **パスワード** を選択してから、画面の指示に従いロック解除パスワードを設定します。
- 3 ロック解除パスワードを設定した後、**新しい指紋** をタップして指紋を登録します。
- 4 指先を指紋センサーに置きます。端末が振動するまで、センサーを軽く押します。指先の他の部分を使用して、この手順を繰り返します。
- 5 登録完了後、**OK** をタップします。

画面のロックを解除するには、指紋センサーの上に指先を置きます。

## 指紋の登録、削除、名前の変更

端末には最大5つの指紋を登録できます。指紋を削除したり、名前を変更したりすることもできます。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 ロック画面のパスワードを入力して **次へ** をタップします。
- 4 **指紋リスト** セクションでは、以下の操作を行えます。
  - **新しい指紋** をタップして新しい指紋を登録します。
  - すでに登録されている指紋をタップして、名前を変更または削除します。
  - **指紋認識** をタップして、登録した指紋を確認または選択します。

## 指紋を使用してプライベート情報に素早くアクセス

Safeボックスのプライベート情報やロックしたアプリにアクセスするたびにパスワードを入力するのは面倒なものです。指紋を使用すると、プライベート情報へのアクセスが簡単かつセキュアになります。

- 1  **設定** を開きます。
- 2 **セキュリティとプライバシー** > **指紋ID** > **指紋管理** に移動します。
- 3 ロック画面のパスワードを入力して **次へ** をタップします。**Safeボックスへのアクセス、アプリのロック設定とアクセス制御**をタップしてから画面の指示に従い、パスワードを入力します。これで以下の操作を行うことができます。
  - **指紋によるSafeボックスへのアクセス:**  **ファイル** を開いて **Safeボックス** をタップすると、指紋を使用してSafeボックスにアクセスできます。
  - **アプリロックでロックされたアプリへの指紋によるアクセス:** 指紋を使用して、ホーム画面のロックされたアプリを開くことができます。

## 位置情報の保護

### 位置情報サービス: 端末の位置情報の決定

位置情報サービスは、端末の位置情報を利用したアプリ(天気、地図、旅行、ショッピングアプリなど)に関する情報を収集・提供します。端末のおおよその位置は、GPS測位(GPSが有効になっていて、サービスが使用可能な場合)、モバイルネットワークによる測位、Wi-Fi測位(可能な場合)によって決定されます。GPS測位が無効になっている場合、アプリは他の方法で位置情報を収集します。

### 位置情報サービスの有効化/無効化

位置情報に対する権限をアプリに許可すると、アプリは常に端末の位置情報を取得できるようになります。悪意のあるアプリが端末の位置情報を取得すると、損害を被ったり不正が行われたりする危険にさらされます。位置情報サービスは、必要に応じて有効/無効にすることができます。プライバシーを保護し、セキュリティを確保するために、アプリに許可されている権限を定期的に監視・管理してください。

**位置情報サービスの有効化/無効化:**  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** に移動し、**現在地にアクセス** を有効または無効にします。位置情報サービスを有効にする際には、適切な測位モードを設定することもできます。位置情報サービスを無効にすると、プリインストールされているソフトウェア(端末探索など)を除き、端末のすべてのアプリとサービスが位置情報を収集・使用できなくなります。これらのアプリを使用しようとする、システムから位置情報サービスを有効にするよう求められます。

- **Wi-Fiとモバイルネットワークを利用:** 通信事業者基地局または近くのWi-Fiルーターからの位置情報を使用して、端末の位置を計算します。位置情報の精度は、基地局またはWi-Fiネットワークから収集した位置情報に大きく依存します。通常の精度は、100mの誤差から数Kmの誤差にまで及びます。ネットワーク測位は精度が低いものの、屋内測位も可能であり、消費電力も少なくなります。
- **GPSのみ利用:** 端末が検出した衛星のGPS測位情報だけを使用して端末の位置を判断します。ネットワーク接続は必要ありません。衛星のGPS測位は精度が高いものの、消費電力が高くなります。精度は数十m以内の誤差です。ただし、屋内測位に関しては正確ではない場合があります。

- **GPS、Wi-Fi、モバイルネットワークを利用**: GPS測位とネットワーク測位の双方の利点を組み合わせ、正確な屋内および屋外の測位を行います。
- **機能は通信事業者によって異なる場合があります。**
  - Huaweiは、個人情報を特定して収集するためではなく、ユーザーに必要な機能とサービスを提供する目的でのみ位置情報データを使用します。

**屋内測位の支援機能の設定**:  **設定** を開いて **セキュリティとプライバシー** > **位置情報サービス** > **スキャン設定** に移動し、Wi-FiおよびBluetoothのスキャンを有効または無効にします。Wi-FiネットワークとBluetooth端末のスキャンによって、屋内測位の精度が向上します。

## アプリロックを使用して重要なアプリをロック

アプリロック機能では、WeChat、Alipay、その他の重要なアプリに対してパスワードを設定することができます。端末を再起動または端末の画面ロックを解除し、アプリを最初に開く場合にアプリロック解除用のパスワードの入力が求められます。アプリロックによって、プライベート情報をより強固に保護し、端末上の重要なアプリへの不正なアクセスを防止できます。

**アプリロックの有効化**:  **設定** を開きます。**セキュリティとプライバシー** > **アプリのロック** に移動し、画面上の説明に従ってパスワードを設定し、保護するアプリに対してアプリロックを有効にします。ロックされたアプリを初めて開く場合、画面上の説明に従ってパスワードと秘密の質問への回答を入力します。

- **端末のロック解除用の指紋を設定し、初めてアプリロックパスワードを設定する場合、画面上の説明に従って指紋を関連付けることでより簡単にアプリのロックを解除できます。**

**アプリロックパスワードの変更**: アプリロック画面で  をタップし、**パスワードを変更** または **パスワード保護を変更** をタップすることでアプリロックパスワードを変更できます。

## その他のセキュリティ設定

### 高度なデータ保護: プライバシーの保護

端末を紛失したり、端末の盗難に遭った場合、写真、銀行の口座情報、他のプライベートデータが流出する可能性があります。Huaweiの端末は、セキュリティチップに加えて、信頼できるルートキーやロック画面のパスワードの組合せによる保護機能を備えています。データがmicroSDカードに格納されているか、内部ストレージに格納されているかに関係なく、高いレベルの保護が提供されます。

**より強力な暗号化および予防手段**: Huaweiの端末では、データが端末から切り離されたときに、データの復号化に使用できないハードウェアキーを使用しています。信頼できるルートキーに基づいて、暗号化されたコンポーネントがメモリ制御チップに組み込まれ、ハードウェアのデータ保護機能を強化しています。これは、プライベートデータを保護するためのロック画面のパスワードと連動して機能します。暗号化されたmicroSDファイル、他の機能を使用して写真、個人情報、他の個人データを暗号化する場合、データを復号化する唯一の方法は、信頼できるルートキー、ロック画面のパスワード、セキュリティチップを同時に解除することです。一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。



# バックアップと復元

## バックアップと復元

### データのバックアップ: データ消失の防止

データを定期的にバックアップすることで、データ消失を防ぐことができます。

端末のデータをバックアップする方法には、以下の3つがあります。

- **端末の内部ストレージ**: サイズが小さいファイルは端末の内部ストレージにバックアップできます。
- **USBストレージ機器**: 端末の内部ストレージの空き容量が少なくなっている場合は、USB OTGケーブルで端末をUSBストレージ機器に接続して、データをバックアップします。
- **コンピュータへのバックアップ**: 端末の大切なデータ、写真、サイズの大きいファイルをコンピュータにバックアップすることで、データの消失を防ぎ、端末の内部ストレージに空き容量を確保できます。

### 内部ストレージへのデータのバックアップ

端末のデータを内部ストレージにバックアップすることでデータの消失を回避することができます。内部ストレージには比較的小さいファイルをバックアップすることをお勧めします。

-  機能は通信事業者によって異なる場合があります。
  - バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

内部ストレージにデータをバックアップするには、 **バックアップ** を開き、**バックアップ** > **内部ストレージ** > **次へ** に移動し、バックアップしたいデータを選択し、**バックアップ** をタップします。写真、音声、ビデオファイル、文書にはバックアップパスワードは不要ですが、その他の種類のデータには必要です。画面上の説明に従ってバックアップパスワードとセキュリティ質問を設定します。

**ファイル** > **本体** > **内部ストレージ** の Huawei\Backup フォルダからバックアップファイルを確認できます。

### USB ストレージデバイスへのデータのバックアップ

端末の空き容量がない場合や、重要なデータを外部ストレージデバイスにバックアップしたい場合、USB OTGケーブルを使用して端末をUSBストレージデバイスに接続してデータをバックアップできます。端末と互換性のあるUSBストレージデバイスには、USBフラッシュドライブ、カードリーダー、microSDカードが挿入されている端末などがあります。

-  機能は通信事業者によって異なる場合があります。
  - 一部の端末では、microSDカードがサポートされていません。
  - バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

USBストレージデバイスにデータをバックアップするには、 **バックアップ** を開き、**バックアップ** > **USBストレージ** > **次へ** に移動し、バックアップしたいデータを選択し、**バックアップ** をタップします。写真、音

声、ビデオファイル、文書にはバックアップパスワードは不要ですが、その他の種類のデータには必要です。画面上の説明に従ってバックアップパスワードとセキュリティ質問を設定します。

ファイルの Huawei\Backup フォルダからバックアップファイルを確認できます。

## コンピュータへのデータのバックアップ

端末に重要なデータ、写真、大容量ファイルが保存されている場合、重要なデータをコンピュータにバックアップし、データの消失を回避したり、端末の空き容量を確保することができます。

- ❗ バックアップパスワードは忘れないようにしてください。バックアップパスワードを忘れると、バックアップファイルを取得できなくなります。

コンピュータにHiSuiteアプリをインストールしてから、端末からファイルをバックアップまたは復元してください。

**コンピュータへのデータのバックアップ:** USBケーブルを使用して端末をコンピュータに接続します。

Huawei アプリがコンピュータ上で自動的に起動します。HiSuiteアプリから、バックアップするデータを選択し、画面上の説明に従ってコンピュータにデータをバックアップします。

**データを端末にインポート:** USBケーブルを使用して端末をコンピュータに接続します。HiSuiteアプリを起動し、データ復元ページに移動し、コンピュータから端末にデータをコピーできます。バックアップデータがパスワードで保護されている場合、パスワードの入力を求められたら、そのパスワードを入力します。

# Wi-Fi とネットワーク

## Wi-Fi

### Wi-Fi+: スマートな接続アシスタント

Wi-Fi+はWi-Fiネットワークにインテリジェントに接続し、モバイルデータ通信量を節約します。端末は、既知のWi-Fiネットワークまたは無料Wi-Fiネットワークを検出すると、自動的にWi-Fiをオンにしてそのネットワークに接続します。また、端末はエリア内で最適なインターネット接続をするために最適なネットワークを自動的に選択します。



Wi-Fi+を有効にすると、端末で次の操作が実行できます。

- **最適なネットワークを自動的に選択して接続する:** 現在地の電波の強さに基づいて、以前に接続したことがあるWi-Fiネットワーク、無料ネットワーク、またはご利用のモバイルデータネットワークから自動的に選択して接続します。
- **Wi-Fiの自動オン/オフ:** 以前に接続したことがあるWi-Fiネットワークによっては、特定の場所でWi-Fiが自動的にオン/オフになります。これにより、端末が新しいネットワークを検索する必要がなくなります。
- **利用可能なネットワークの品質の評価:** 現在利用可能なネットワークアクセスポイントを評価し、インターネットに接続できないネットワークに端末が自動接続することを防ぎます。

## Wi-Fi への接続

Wi-Fiネットワークに接続すると、モバイルデータ通信量を節約できます。

- ① 個人のデータや金融情報へ許可なくアクセスされることを防止するため、公衆Wi-Fiネットワークに接続するときには常に注意してください。



**Wi-Fiへの接続:**  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動し、**Wi-Fi** を有効にします。接続先のネットワークを選択します。ネットワーク設定によっては、パスワードを入力する必要があります。必要な場合には、画面の指示に従って認証を行ってください。

- **Wi-Fiアクセスポイントの更新:** **スキャン** をタップし、利用可能な無線ネットワークを再検索します。
- **Wi-Fiアクセスポイントを手動で追加する:** メニューの一番下までスクロールし、**ネットワークの追加...** をタップし、画面の指示に従ってネットワークのSSIDとパスワードを入力します。

**WPS経由でWi-Fiネットワークに接続する:** Wi-Fi画面で  > **詳細なWi-Fi設定** > **WPS接続** に移動します。ルーターのWPSボタンを押し、接続を確立します。WPS経由でWPS対応ルーターに接続すると、パスワードを入力しなくても、すぐにネットワークに接続できます。

## Wi-Fi Direct によるデータ転送

Wi-Fi Directでは、アンドロイドでデータを迅速に転送できます。Wi-Fi DirectはBluetoothよりも高速であり、端末をペアリングする必要がありません。短い距離でサイズの大きいファイルを転送するのに適しています。



**Wi-Fi Directでのファイルの送信:**  **ファイル** を開き、送信するファイルを長押しして、**その他** > **共有** > **Wi-Fi Direct** に移動します。送信先の端末が検出されたら、その名前をタップします。接続が確立され、ファイル転送が始まります。

**Wi-Fi Directでのファイルの受信:** Wi-Fi を有効にします。Wi-Fi設定画面で  をタップし、検出を有効にします。ファイル着信通知を受信したら、**受信** をタップして転送を開始します。デフォルトでは、受信したファイルは **Wi-Fi Direct** フォルダ内の **ファイル** に保存されます。

### Wi-Fi+を有効にして最適なネットワークに自動接続

 **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** > **Wi-Fi+** に移動し、**Wi-Fi+** を有効にします。

Wi-Fi電波が弱い場所に端末がある場合、Wi-Fi+ではモバイルデータネットワークに自動的に切り替わります。モバイルデータ通信を使用してビデオなどのサイズの大きいファイルをダウンロードまたは表示すると、追加料金が発生することがあります。高額なデータ通信料金を防ぐには、適切なデータプランに加入してください。

## モバイルネットワーク

### インターネット接続

端末から簡単にWi-Fiネットワークに接続できます。

## Wi-Fi ネットワークへの接続

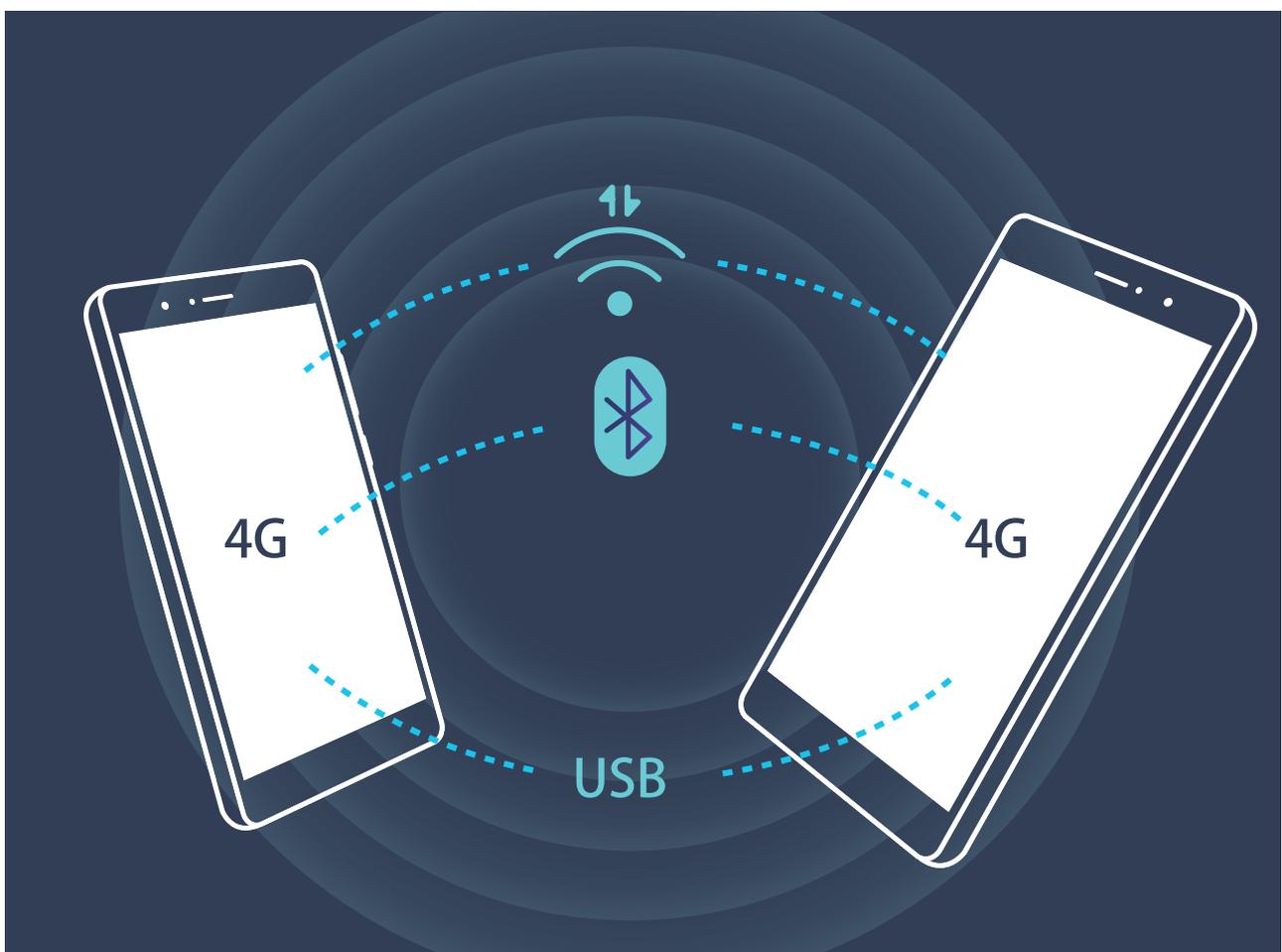
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
- 2  を長押しして、Wi-Fi設定画面を開きます。
- 3 Wi-Fiをオンにします。現在の場所で、端末で利用可能なすべてのWi-Fiネットワーク一覧が表示されます。
- 4 接続先となるWi-Fiネットワークを選択します。暗号化されたネットワークを選択した場合には、Wi-Fiパスワードの入力が必要です。

## モバイルデータ通信経由での接続

-  モバイルデータ通信を使用する前に、高額なデータ通信料金の発生を避けるため、通信事業者のデータ通信プランに加入していることを確認してください。
- 1 ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。
  - 2  をタップして、モバイルデータ通信を有効にします。
    -  インターネット接続が必要ない場合、モバイルデータ通信を無効にして消費電力とデータ通信量を節約してください。

## 他の端末とのモバイルネットワークの共有

モバイルデータ通信を友人と共有することができます。



Wi-Fiアクセスポイント、USBケーブル、またはBluetooth経由で他の端末とモバイルデータ通信を共有できます。

**Wi-Fiアクセスポイントを使用したモバイルデータ通信の共有:**  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** > **ポータブルWi-Fiアクセスポイント** > **Wi-Fiアクセスポイントを設定** に移動します。ネットワークの名前、暗号化タイプ、Wi-Fiアクセスポイントのパスワードを設定してから **保存** をタップして、アクセスポイントでこのネットワークを使用できるようにします。

-  **設定** 画面で **データ通信量の上限** をタップして、1回のセッションでのデータ通信制限を設定できます。設定したデータ通信共有の制限に達すると、端末によってアクセスポイントの共有が自動的に無効になります。

**Bluetoothを使用したモバイルデータ通信の共有:** Bluetoothを使用してモバイルデータ通信を共有するには、その前に、Bluetooth接続を確立して端末をペアリングする必要があります。  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**Bluetoothテザリング** を有効にします。

Bluetooth 画面で、ペアリングした端末の横にある  をタップし、**インターネットアクセス** を有効にしてインターネット接続を確立します。これにより、モバイルデータ通信を共有できるようになります。

**USBを使用したモバイルデータ通信の共有:** USBケーブルを使用して、端末をコンピュータに接続します。  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **テザリングとポータブルアクセス** に移動し、**USBテザリング** を有効にして、モバイルデータ通信の共有を開始します。

-  オペレーティングシステムによっては、この機能を使用する前に、ドライバをインストールしたり、コンピュータ上に該当するネットワークを確立したりする必要があることがあります。詳細については、コンピュータのオペレーティングシステムガイドを参照してください。

# アプリと通知

## ツインアプリ:1 度に 2 つのソーシャルメディアアカウントにログイン

LINEやFacebookなどのSNSアプリに2つの異なるアカウントで同時にログインしてアカウントの切り替えごとにアプリを起動し直すことなく使用したいと思ったことはありませんか？ツインアプリ機能では、LINEやFacebookにおいて2つのアカウントで同時にログインし、仕事用とプライベート用で使い分けることが可能になります。

 ツインアプリ機能は、WeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerでのみ有効です。この機能を使用する前に該当のアプリの最新バージョンをダウンロードしてください。

 **設定** を開きます。**アプリと通知** > **ツインアプリ** に移動して、必要に応じてWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerに対してツインアプリ機能を有効にします。

ツインアプリ機能を有効にしたら、ホーム画面上にWeChat、QQ、LINE、Facebook、Snapchat、WhatsApp、Messengerのアプリのアイコンが2つ表示されます。これは同時に同一アプリに対して2つのアカウントでログインできることを示しています。ツインアプリが有効になっているアプリのアイコンを長押しすることで素早くツインアプリ機能を無効にできます。

## アプリ権限をカスタマイズして端末を自分好みの方法で使用する

サードパーティのアプリで多数の重要な権限を取得しすぎて個人情報公開される危険はありませんか。アプリごとの権限を監視して不要な権限を拒否できます。

**アプリ権限の設定**: 不要な権限を拒否したい場合があります。 **設定** を開いて **アプリと通知** > **権限** に移動します。**アプリ** タブからアプリを選択して不要な権限を拒否します。

# サウンドと表示

## 通知の鳴動制限モードの設定

通知の鳴動制限モードでは、知らない人からの着信がブロックされ、選択した連絡先からの着信またはメッセージ受信の場合にだけ通知されます。

 **設定** を開いて **音** > **通知の鳴動制限** に移動します。今すぐ有効にする スイッチをオンに切り替え、**通知鳴動制限モード** をタップして、以下のいずれかのオプションを選択します。

- **重要な連絡先からの着信とメッセージ: 優先度の高い通知のみ鳴動** を選択して **優先度の高い着信/通知を定義** をタップし、着信またはメッセージ送信を許可する連絡先を設定します。
- **許可 アラーム音: アラームのみ** を選択してアラーム音だけを許可します。
- **すべての鳴動の無効化: 鳴動させない** を選択して着信音とバイブレーションを無効にし、着信、メッセージ受信、アラームで画面が点灯しないようにします。

-  ● あるいは、ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルの  をタップすると、**通知の鳴動制限モード** を容易に有効/無効にできます。
- 一部のサードパーティ アプリでは、通知の鳴動制限モードを有効にしている場合でも音が鳴ることがあります。アプリ内の設定で、これらのアプリからの通知をミュートにしてください。

**時間に関するルール:** 設定した時間(週末や夜など)に鳴動を制限します。**時間帯** をタップして、時間と繰り返し間隔を設定し、**時間帯** スイッチをオンに切り替えます。

**イベントルール:** 会議やイベントの開催中に鳴動を制限します。**予定** をタップすることで、**通知の鳴動制限モード** が有効になります。

## サウンドの設定

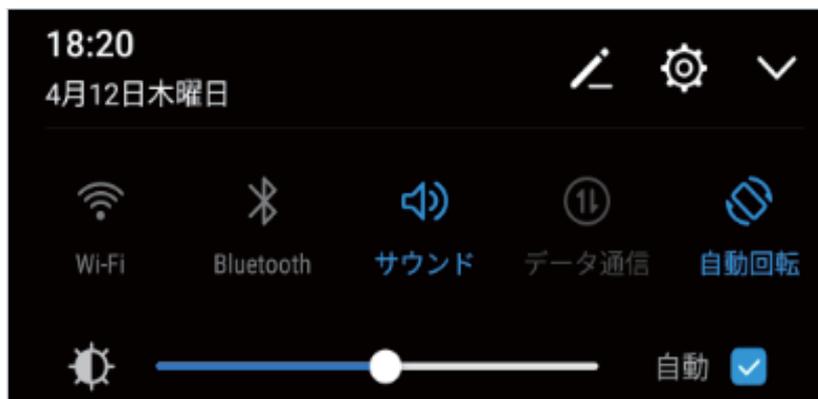
映画を観たり、ゲームをしたりするときには、端末のサウンド設定が自動的にステレオサウンドに切り替わって最適なオーディオ体験が実現します。また、さまざまな状況での着信音や音声通知を設定することもできます。

**横表示でのステレオサウンド:** 映画やゲームをステレオサウンドで楽しみたいと思いませんか? 端末の画面が横表示モードになっているときは、**ステレオ+** 機能によって自動的にステレオサウンドが有効になります。この機能はデフォルトで有効になっています。無効にするには、 **設定** を開いて **音** をタップします。これにより、**ステレオ+** が無効になります。

**システム音量の調整:** 音量ボタンを押しながら  をタップすることで、着信音、メディア、アラーム、通話時の音量を調整できます。

-  ● また、システム設定で音量を調整することもできます。 **設定** を開いて **音** をタップし、音量スライダーをドラッグして音量を調整します。

サウンドモード、バイブモード、マナーモードの切り替え: ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。🔊 をタップして、サウンド、サイレント、バイブ モードを簡単に切り替えることができます。



**キーパッドと通知音の有効化:** ⚙️ **設定** を開いて **音** > **その他のサウンド設定** に移動し、キーパッドと通知音を有効／無効にします。

**端末をマナーモードに設定する:** 音 画面で、**マナーモード** を有効にします。**マナーモード** を有効にした後、**マナーモード時のバイブ** を有効にします。これにより、着信があったときに画面が点灯して端末が振動するようになります。

**着信音と通知音のカスタマイズ:** 音 画面で、カスタム着信音を選択するか、**通知** を使用します。

## 目の疲れを軽減する視力保護モードの有効化

視力保護モードは、ブルーライトを効果的に低減して画面を暖色系の色に調整することで、目の疲れを和らげて視力を保護します。

**視力保護モードの有効化:** ⚙️ **設定** を開いて **画面** > **視力保護** > **色と視力保護** に移動し、**視力保護** を有効にします。視力保護モードアイコン 👁️ がステータスバーに表示されます。視力保護モードを有効にするとブルーライトが一部カットされ、画面が黄色がかった色になります。

**視力保護モードの簡単な有効化／無効化:** ステータスバーを下にスワイプして、ショートカットパネルを開きます。ショートカットパネルの ✓ をタップしてショートカットパネルを展開し、👁️ を有効／無効にします。

**設定した時間に視力保護モードを有効化:** 毎日設定した時間に視力保護モードを有効にするように、端末を設定できます。視力保護モードが無効になっている場合、⚙️ **設定** を開いて **画面** > **視力保護** > **色と視力保護** に移動し、**時間帯指定** を有効にしてから、**開始時間** と **終了時間** を設定します。

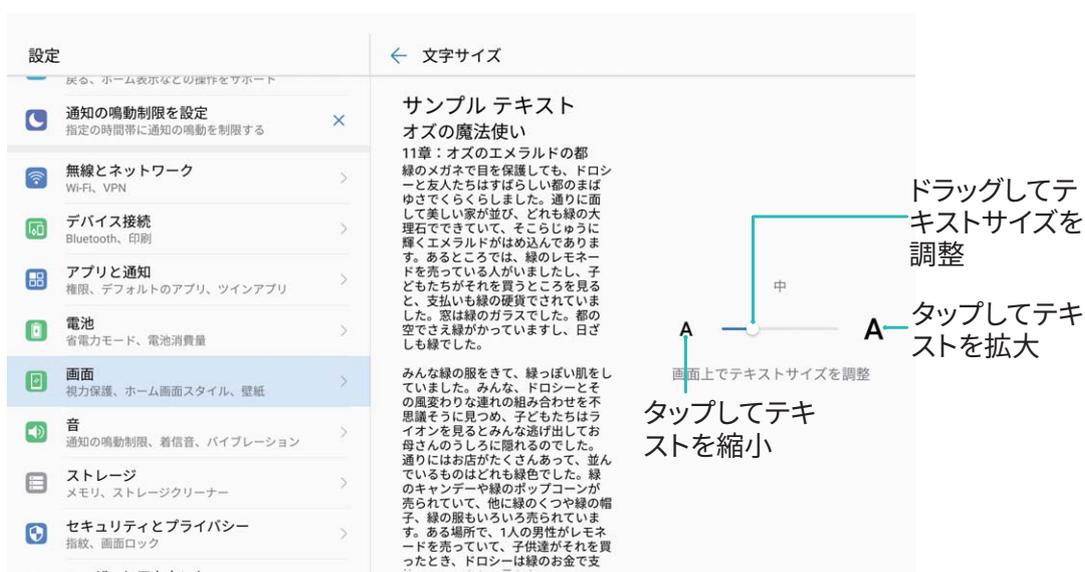
**視力保護モードの色温度の調整:** 視力保護モードを有効にすると、ブルーライトが一部カットされ、画面が軽く黄色がかった色になります。色温度は必要に応じて調整できます。**視力保護** を有効にしてから色温度スライダーを調整すると、画面の色を寒色系または暖色系にすることができます。

## 画面設定の変更

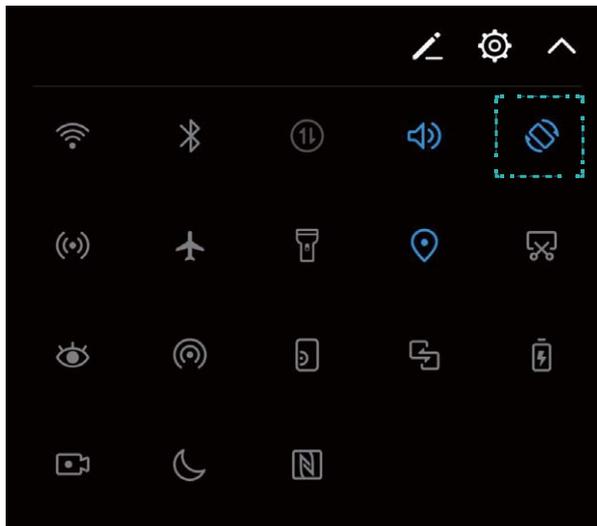
必要に応じてフォントサイズを変更し、画面の明るさを調整できます。

 **設定** を開いて **画面** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **画像と文字サイズの変更**: **表示モード** をタップし、必要に応じて画面モードを選択します。
- **文字サイズの変更**: **文字サイズ** をタップし、使用するサイズを選択します。



- **画面の明るさの調整**: **画面の明るさ** で、**自動** の横のチェックボックスをオンにします。このオプションが有効な場合、端末では周囲の明るさに基づいて画面の明るさが自動的に調整されます。明るさを手動で調整するには、明るさのスライダーをドラッグするか、ステータスバーで下にスワイプして通知パネルを開き、明るさの設定にアクセスします。
- **画面の自動回転を有効にする**: **画面の自動回転** を有効にします。あるいは、ステータスバーを下にスワイプし、ショートカットパネルを開いて  をオンにします。



- **色温度の調整**: 色温度 をタップします。プリセットオプション(デフォルト、暖色、寒色)を選択して OK をタップします。設定が適用されます。あるいは、スライダーをタップまたはドラッグして、色温度を手動で調整します。視力保護 が有効なときには、色温度を変更できません。
- **画面解像度の自動調整**: 画面の解像度 をタップし、スマート解像度 を有効にします。画面解像度が自動的に調整され、消費電力を節約します。
- **スクリーンセーバーを有効にする**: スクリーンセーバー をタップして スクリーンセーバー を有効にし、写真 と 長さ を設定します。充電中は端末に写真のスライドショーが表示され、端末がスタンバイモードになります。

# ストレージ

## ストレージクリーナー

### メモリのクリーンアップによるパフォーマンス向上

メモリのクリーンアップを使用すると、キャッシュ、大容量ファイルや不要なファイル、未使用のアプリファイル等をすばやく削除して、システムパフォーマンスを向上させ、端末を最高の状態に保つことができます。

システムのパフォーマンスが低下したり、ストレージの空き容量が少なくなると、端末管理アプリからクリーンアップの通知が表示されます。画面の指示に従って、端末のメモリをクリーンアップし、ストレージの空き容量を確保することができます。

**クリーンアップ**: 端末の使用に影響を与えずに、不要なファイルとシステムキャッシュをスキャンしてメモリと内部ストレージの空き容量をすばやく確保できます。

**ディープクリーンアップ**: 大容量のファイル、ビデオ、画像、アプリの残存ファイル、音楽ファイル、不要なインストールパッケージ、未使用ファイル、サイズが大きいファイルなどをスキャンし、そのスキャン結果に基づいてクリーンアップが推奨されます。これにより、重要なファイルを誤って削除することなく、ストレージの空き容量を確保できます。

### ストレージクリーナーの有効化

ストレージの空き容量が少なくなると、端末は時間の経過とともに動作が遅くなる場合があります。メモリのクリーンアップを使用してストレージの空き容量を確保し、システム性能を向上させ、端末のスムーズな動作を維持できます。

 **端末管理** を開き、**クリーンアップ** をタップし、スキャンの結果に基づいてメモリとキャッシュをクリーンアップして、端末の性能を向上させます。クリーンアップ後もストレージの空き容量が少ない場合、スキャンの結果とクリーンアップの推奨事項に基づいて、ディープクリーンアップを実行し、より多くのストレージの空き容量を確保することができます。

# スマートアシスタント

## ユーザー補助

### 色補正を有効にする

色補正設定では、端末で色覚異常の影響を補正できます。

 色補正を有効にすると、色覚が正常なユーザーには一部の色がわかりづらくなる場合があります。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **ユーザー補助** > **色補正** に移動し、**色補正** を有効にします。**補正モード** をタップし、必要な色補正モードを選択します。

# システム

## ナビゲーションバーとナビゲーションメニュー

### ナビゲーションメニュー:ワンタップで端末を管理

アプリを閉じたりホーム画面に戻ったりするには、端末の下部にあるナビゲーションバーを使用する必要があります。これに加えて、ナビゲーションメニューを使って同じ操作を行うことができるようになり、端末がさらに使いやすくなりました。

事前に設定したジェスチャーを使って前の画面やホーム画面に戻ったり、アプリを切り替えたりできます。

### ナビゲーションメニュー:どこからでも端末の機能にアクセス

端末で頻繁に使用する機能に素早くアクセスできるようにするには、ナビゲーションメニューをオンにします。

 **設定** を開きます。システム > システムナビゲーション > ナビゲーションメニュー をタップして、ナビゲーションメニュー を有効にします。ナビゲーションメニューが画面に表示されます。その後、任意の位置までドラッグします。ナビゲーションメニューでは次の操作が可能です。

- **戻る**:ナビゲーションメニューを1回タップすると1つ前のステップに戻り、2回タップすると2つ前のステップに戻ります。
- **ホーム**:ナビゲーションメニューを長押しして離すと、ホーム画面に移動します。
- **アプリの切り替え**:ナビゲーションメニューを長押しして左右にスワイプすると、アプリを切り替えることができます。

## 言語と入力方法

### 入力方法の変更

好みに応じて、端末の入力方法を変更できます。

 **設定** を開きます。システム > 言語と文字入力 > デフォルトのキーボード > 入力方法の設定 に移動して、該当する入力方法を有効にします。言語と文字入力 に戻って デフォルトのキーボード をタップし、入力方法を選択します。

## 一般設定

### システム言語の変更

端末のシステム言語の変更は、簡単に行うことができます。

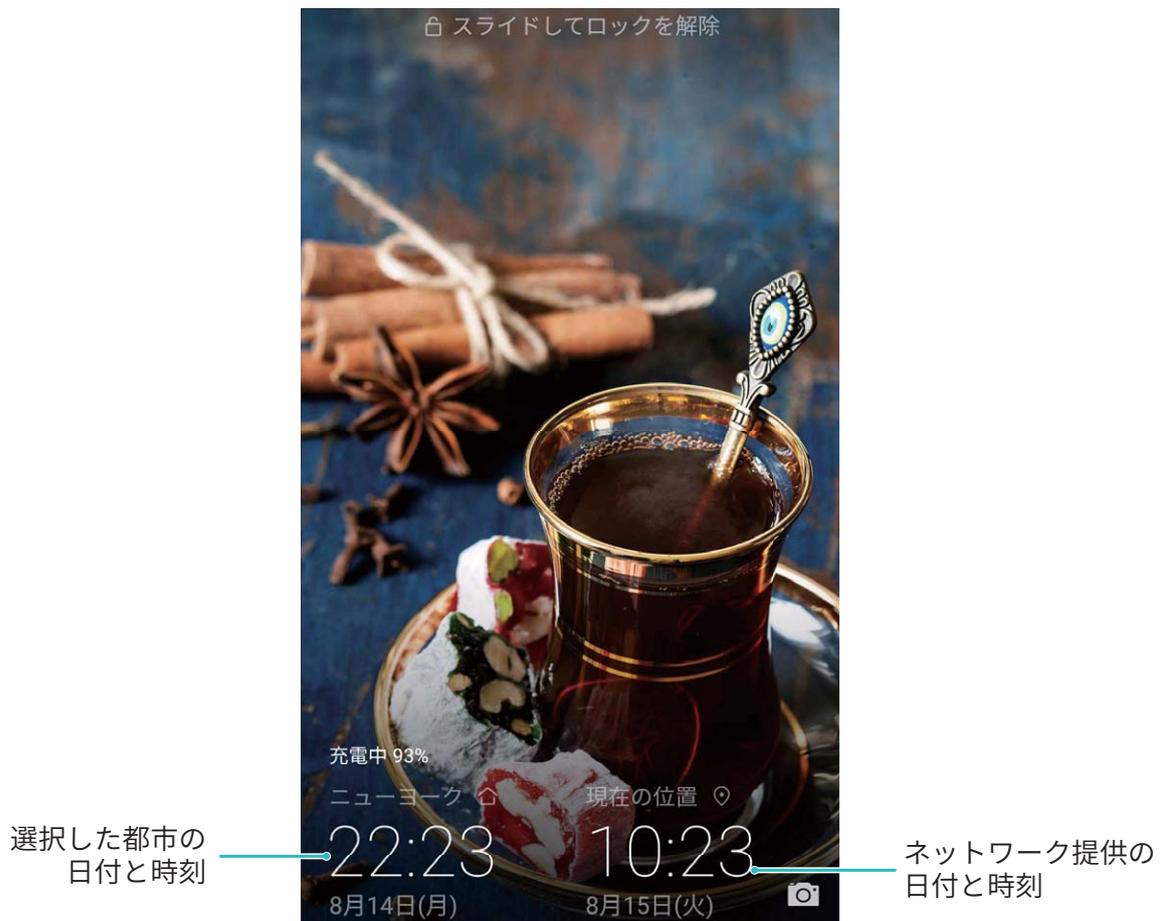
 **設定** を開いて システム > 言語と文字入力 > 言語 に移動し、システム言語を選択します。言語リストから言語が見つからない場合、言語を追加 をタップして言語を追加します。

## システムの時刻と日付の設定

海外への旅行時やSIMカードの変更時は、端末には現地のモバイルネットワークから提供された時刻と日付が自動的に表示されます。手動で時刻と日付を調整したり、時刻形式を変更したり、ロック画面にデュアルクロックを設定したりすることもできます。

 **設定** を開いて**システム** > **日付と時刻** に移動します。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **時刻と日付の変更**: **日付と時刻の自動設定** を有効にすると、端末の時刻と日付をモバイルネットワークと同期できます。**日付と時刻の自動設定** を無効にすると、時刻と日付を手動で設定できます。
- **タイムゾーンの変更**: **タイムゾーンを自動設定** を有効にすると、端末のタイムゾーンをモバイルネットワークと同期できます。**タイムゾーンを自動設定** を無効にすると、タイムゾーンを手動で設定できます。
- **時刻形式の変更**: **24時間表示** を有効にすると、時刻形式を24時間に設定できます。**24時間表示** を無効にすると、時刻形式を12時間に設定できます。
- **ロック画面でのデュアルクロック設定**: 海外にいる場合、端末には現地のモバイルネットワークから提供された現地の時刻と日付が自動的に表示されます。**デュアルクロック** を有効にして **ホーム都市** を設定すると、ロック画面にデュアルクロックを表示できます。一方には現地の時刻、もう一方には自国の時刻が表示されます。



## 端末でのドキュメントや写真の印刷

端末をWi-Fi経由でプリンターに接続すると、ドキュメントや写真を簡単に印刷できます。

- Mopriaでは、端末からMopria認証プリンターに直接印刷できます。プリンターは端末にWi-Fi経由で接続します。
- ご利用のプリンターがMopria認証プリンターではない場合、プリンターメーカーからご利用のモデル用のプラグインを取得してください。

### 1 端末とプリンターを同じWi-Fiネットワークに接続します。

- **プリンターのアクセスポイントへの接続:** プリンターに無線アクセスポイントがある場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってアクセスポイントを有効にし、パスワードを設定します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてプリンターのアクセスポイントを選択し、画面の指示に従って接続を確立します。
- **Wi-Fi Directでの接続:** プリンターがWi-Fi Directに対応している場合、プリンターのマニュアルの指示に従ってこの機能を有効にします。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にして  をタップし、検出されたデバイスのリストから使用するプリンターを選択します。
- **ルーターへの接続:** プリンターのWi-Fiを有効にして宅内のルーターに接続します。端末で  **設定** を開いて **無線とネットワーク** > **Wi-Fi** に移動します。Wi-Fi を有効にしてルーターを選択し、画面の指示に従って設定を完了します。

### 2 **設定** を開きます。 **デバイス接続** > **印刷** > **デフォルト印刷サービス** に移動して **デフォルト印刷サービス** が有効になっていることを確認します。検索結果からプリンターを選択するか、**その他** > **プリンターの追加** をタップして画面の指示に従い手動でプリンターを追加します。

### 3 これで端末から直接印刷できます。

- **画像の印刷:** **ギャラリー** に移動します。印刷したい画像を開き、**その他** > **印刷またはPDF出力** に移動して、画面の指示に従い画像をプリンターに送信します。
- **Webページの印刷:** 印刷したいWebページをブラウザで開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **ドキュメントの印刷:** オフィスアプリ等で印刷したいドキュメントを開いて、メニューから印刷オプションを選択します。
- **メモの印刷:**  **メモ帳** を開きます。印刷したいメモを開き、 > **印刷** に移動して、画面の指示に従いメモをプリンターに送信します。

## グローブモードの有効化

グローブモードを使用すると、冬に手袋を着けているときでも簡単に端末を使用できます。

-  **設定** > **スマートアシスト** に移動して **グローブモード** を有効にします。



## 電源 ON/OFF の時間帯指定

電源の自動ON/OFF機能を使用して、設定した時間に端末の電源をONまたはOFFにすることができます。

 **設定** を開いて **スマートアシスト** > **電源ON/OFFタイマー** に移動し、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を有効にして、電源をON/OFFにする時間と繰り返し設定を設定します。指定した時間に端末の電源が自動的にONまたはOFFになります。

電源ON/OFFの時間帯指定を無効にするには、**電源OFFタイマー** と **電源ONタイマー** を無効にします。

## 安全なフライトと電池節約のための機内モードの有効化

機内モードを有効にすると、電池の消費も抑えることができます。

 機内では、乗務員の指示に従って端末の電源を切るか、機内モードにしてください。

機内モードを有効にすると、端末は自動的に通話、モバイルデータ通信サービス、Bluetooth、Wi-Fiを無効にします。ただし、BluetoothとWi-Fiは機内モードでも手動で有効にできます。

ショートカットスイッチを使用した機内モードの有効化／無効化：ステータスバーを下にスワイプします。

通知パネルから  をタップし、ショートカットパネルを開いて  をタップします。

設定メニューからの機内モードの有効化／無効化： **設定** を開いて **無線とネットワーク** をタップし、**機内モード** を有効／無効にします。

機内モードを有効にすると、 アイコンがステータスバーに表示されます。

## アカウントの管理と更新

複数のメールアカウントやアプリ通知、記録を複数の端末やコンピュータと同期したい場合があります。端末を使用すると、他の端末やコンピュータなどさまざまなデバイスで、複数のメールやアプリのアカウントをリアルタイムに管理および更新できます。

- サードパーティのアプリが端末にインストールされている場合にのみ、サードパーティのアプリのアカウントを作成できます。
- 同期できる情報のタイプはアカウントのタイプによって異なります。

 **設定** を開いて **ユーザーとアカウント** をタップします。ここから、以下の操作を行うことができます。

- **アカウントの追加**: **アカウントを追加** をタップしてアカウントタイプを選択してから、画面の指示に従いアカウント詳細を入力してアカウントを追加します。
- **アカウントの削除**: 削除したいアカウントを選択してから、画面の指示に従いアカウントを削除します。
- **アカウントの同期**:  をタップして **データの自動同期** を選択し、画面の指示に従って **OK** をタップします。**データの自動同期** を選択しない場合、アカウントを手動で選択して  をタップすることで同期できます。

## メモリおよびストレージの情報の確認

端末のメモリとストレージ情報を確認することで、メモリとストレージの使用量を監視し、クリーンアップ実行の必要性を判断できます。

 **設定** を開き、**ストレージ** をタップしてメモリまたは内部ストレージを表示し、次の操作を実行できます。

**空き容量の確保**: **ストレージクリーナー** を選択して **クリーンアップ** 画面を表示し、ワンタップでメモリをクリーンアップして空き容量を確保できます。

## 製品情報の表示

ご利用の端末について詳細を知りたい場合、型番、バージョン番号、IMEI番号、ハードウェア設定、製品仕様、法的情報といった端末の製品情報を表示することができます。

**製品情報の表示**:  **設定** に移動して **システム** > **端末情報** をタップすると、端末の型番、バージョン番号、IMEI番号、ハードウェア情報、ステータス情報、法的情報などの情報を表示できます。

**端末名の変更**:  **設定** を開いて **システム** > **端末情報** > **端末名** をタップすると、端末の名前を変更できます。

## スマート設定を使用して設定を素早く発見

スマート設定を使用すると、設定を簡単に見つけることができます。端末の使用状況に応じて設定の推奨も行われるため、すぐに設定を有効／無効にできます。

 **設定** を開きます。端末側で使用状況に応じて設定を推奨します。検索バーにキーワードや同義語を入力すると、端末に関連する設定がすべて表示されます。



設定の検索

本書は参考用です。色、サイズ、および画面のレイアウトを含む（ただしこれらに限定されない）実際の製品は異なる場合があります。この取扱説明書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示または非明示の保証を行うものではありません。

注意：ご利用の端末で最後にログインしたGoogleアカウントを覚えておいてください。初期化実行時やmicroSDカード経由での更新時に該当する操作が信頼できないと判断された場合、Googleの盗難防止メカニズムでは、ID認証のため、端末で最後にログインしたGoogleアカウントを起動ナビゲーション画面に入力することが求められます。ID認証後にのみ、ご利用の端末の電源を正常にONにすることができます。

ご利用の国や地域の最新のホットラインおよびメールアドレスについては、<http://consumer.huawei.com/en/support/hotline> をご確認ください。

モデル：BLA-L09

EMUI 8.0\_02

**Qualcomm**<sup>®</sup>  
**aptX**<sup>™</sup>

